

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )							
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )							
	2 目	事務局費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )							
実施計画掲載ページ		P 31	中 事 業		学校施設整備保全計画策定事業費									
事業コード		002-001-003-01352	事 業 名		学校施設整備保全計画策定事業									
目的及び事業内容		石巻市公共施設等総合管理計画に基づき、学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、施設に求められる機能・性能を確保するため、学校施設に係る個別施設計画として、「石巻市学校施設整備保全計画（以下「保全計画）」」を策定する。												
取組実績		<p>保全計画を策定するため、令和元年度に実施した学校施設の老朽化実態調査に基づく学校施設整備の基本方針、全体計画、整備年次計画等の検討を行い、保全計画の策定を完了した。</p> <p>1 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R2予算額</th> <th>R2事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>9,507,000</td> <td>9,506,200</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R2予算額	R2事業費	委託料	9,507,000	9,506,200
内訳	R2予算額	R2事業費												
委託料	9,507,000	9,506,200												
成 果		令和2年度は、令和元年度に実施した構造躯体及び構造躯体以外の劣化状況の評価を基に保全計画に記載すべき学校施設整備の基本方針、全体計画、整備年次計画等の検討を行い、今後の学校施設の整備の方向性を示す保全計画を策定することができた。												
成果に係る評価		今後は、保全計画を基に、トータルコストの縮減と予算の平準化を図りながら、計画的に施設整備を実施し、児童生徒の安全安心な教育環境の実現を目指していく。												
(単位：円)														
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳										
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
		9,507,000	9,506,200					9,506,200						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	事務局費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )	
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業		GIGAスクール構想推進事業費			
事業コード		002-001-003-00240	事 業 名		情報教育環境整備事業（小学校）（中学校）（高等学校）			
目的及び事業内容		子どもたちが未来社会を自立的に生き、持続可能な社会の創り手として社会形成に参画するための能力を育成するとともに、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時において、ICTの活用により全ての子どもの学びを保障できる環境を確保するため、学校内通信ネットワークと児童生徒1人1台端末を整備する。						
取組実績		<p>GIGAスクール構想推進に係る次の事業を実施した。</p> <p>1 児童生徒1人1台端末整備 1人1台タブレット端末の整備 小・中・高等学校 53校（児童生徒用端末 10,073台、教員指導用端末 799台）計 10,872台 端末導入に係る研修 小・中・高等学校 53校で実施</p> <p>2 遠隔学習配信のための機器整備 遠隔学習配信用カメラ・マイクの整備 小・中・高等学校 53校 計 174台</p> <p>3 校内通信環境等の整備 (1) 無線アクセスポイントの増設 アクセスポイントに係る機器設置 小・中学校 51校 53か所設置 アクセスポイント新設に伴う既存機器の設定変更 小・中学校 51校</p> <p>(2) 充電保管庫整備 タブレット端末用充電保管庫の整備 小・中・高等学校 52校（20台用 73台、40台用 317台）計 390台</p>						
成 果		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒1人1台端末の整備が完了し、多様な子どもたちへの個別最適化された学びの実現が図られた。</li> <li>学校の臨時休業等の緊急時においても、学校と家庭の連絡や遠隔学習を行うための機器整備を行い、子どもたちの学びを保障できる環境構築が図られた。</li> </ul>						
成果に係る評価		本事業により児童生徒1人1台のタブレット端末整備が完了したことから、今後は安定的な維持管理に努めるとともに、当該タブレットと一体的に使用できる電子黒板等周辺機器の整備を進め、効果的な利活用を促進する必要がある。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	191,842,000		191,818,566		137,646,807	48,600,000		5,571,759

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )																									
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																									
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																									
実施計画掲載ページ		P 23	中 事 業		教育指導奨励費																											
事業コード		002-001-002-00237	事 業 名		小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業																											
目的及び事業内容		小・中学校の文化活動及び体育活動の充実を図るとともに、各種大会へ出場する際の交通費、宿泊費の一部助成等により保護者負担を軽減する。 ・補助金の交付について、平成23年度から文化活動と体育活動を一体化した。 ・平成29年度から、県大会及び東北大会50%、全国大会70%だった補助率を75%に改定した。 ・平成30年度から、地区大会と県大会以上に分かれていた体育活動の補助金を一本化した。																														
取組実績		<p>補助金の交付</p> <p>音楽コンクール県大会以上に参加した小・中学校に対し交通費等の一部及び楽器輸送費を助成した。</p> <p>・県大会参加回数 5回（3校） ・東北大会参加回数 1回（1校） ・補助金交付額 433,635円</p> <p>体育活動各種大会に参加した中学校に対し、交通費等の一部を助成した。</p> <p>・地区大会参加回数 35回（18校） ・県大会参加回数 17回（13校） ・東北大会参加回数 0回（0校） ・全国大会参加回数 1回（1校） ・補助金交付額 8,844,137円</p>																														
成 果		<p>音楽コンクールにおける県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な指標項目</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>6校（11件）</td> <td>8校（13件）</td> <td>3校（6件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>726,640円</td> <td>1,137,563円</td> <td>433,635円</td> </tr> </table> <p>体育活動における県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な指標項目</td> <td>H30 (地区大会含む)</td> <td>R1 (地区大会含む)</td> <td>R2 (地区大会含む)</td> </tr> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>17校（140件）</td> <td>19校（126件）</td> <td>18校（53件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>24,450,615円</td> <td>22,472,140円</td> <td>8,844,137円</td> </tr> </table>							主な指標項目	H30	R1	R2	補助対象校（補助件数）	6校（11件）	8校（13件）	3校（6件）	補助金交付額	726,640円	1,137,563円	433,635円	主な指標項目	H30 (地区大会含む)	R1 (地区大会含む)	R2 (地区大会含む)	補助対象校（補助件数）	17校（140件）	19校（126件）	18校（53件）	補助金交付額	24,450,615円	22,472,140円	8,844,137円
主な指標項目	H30	R1	R2																													
補助対象校（補助件数）	6校（11件）	8校（13件）	3校（6件）																													
補助金交付額	726,640円	1,137,563円	433,635円																													
主な指標項目	H30 (地区大会含む)	R1 (地区大会含む)	R2 (地区大会含む)																													
補助対象校（補助件数）	17校（140件）	19校（126件）	18校（53件）																													
補助金交付額	24,450,615円	22,472,140円	8,844,137円																													
成果に係る評価		体育活動等各種大会参加経費を補助することで保護者の負担軽減が図られた。 令和2年度は、コロナ禍により大会の中止や縮小等があったことから補助金交付額は減額となっている。 今後も、小・中学校の文化活動及び体育活動の充実を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、本事業を継続して実施することが必要である。																														
（単位：円）																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																											
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	10,848,000		9,277,772				6,048,000	3,229,772																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																	
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																	
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																	
実施計画掲載ページ		P 26		中 事 業	奨学金資金費																																			
事業コード		002-001-003-00230		事 業 名	奨学金貸与事業																																			
目的及び事業内容		石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学資を貸与し、有能な人材の育成を図る。 ・奨学金の貸与・償還																																						
取組実績		<p>1 奨学金の貸与</p> <p>(1) 奨学生の新規募集を行い、奨学生選考委員会にて10名の新規奨学生を決定した。 平成27年度より大学生、専修学校専門課程、高等専門学校第4学年以上の貸与額を35,000円から45,000円に変更した。</p> <p>(2) 貸与区分（月額）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校在学</td> <td>15,000円</td> <td>高専在学</td> <td>第3学年まで 第4学年以上</td> <td>15,000円 45,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>45,000円</td> <td>専修学校在学（専門課程）</td> <td></td> <td>45,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 貸与者数 58名 (4) 貸与金額 29,655,000円</p> <p>2 奨学金の償還 滞納者に対し督促書あるいは催告書を郵送したほか、電話及び郵便等により個別に催促し、償還促進を図った。また、収入状況等を確認しながら、助言等を行うことにより償還に対する理解が得られるよう努めた。</p>							区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 第4学年以上	15,000円 45,000円	大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）		45,000円																		
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																																					
高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 第4学年以上	15,000円 45,000円																																				
大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）		45,000円																																				
成 果		<p>経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。</p> <p>1 貸与状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)</td> <td>91名 (26名)</td> <td>72名 (14名)</td> <td>58名 (10名)</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>46,395,000円</td> <td>37,440,000円</td> <td>29,655,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 償還状況（令和2年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>令和2年度（現年）分</th> <th>滞納（過年度）分</th> <th>繰上償還分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調 定 額</td> <td>30,773,800円</td> <td>59,865,600円</td> <td>1,938,000円</td> </tr> <tr> <td>償 還 額</td> <td>26,332,700円</td> <td>16,780,000円</td> <td>1,938,000円</td> </tr> <tr> <td>滞 納 額</td> <td>4,441,100円</td> <td>43,085,600円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>償 還 率</td> <td>85.6%</td> <td>28.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H30	R1	R2	奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	91名 (26名)	72名 (14名)	58名 (10名)	貸与金額	46,395,000円	37,440,000円	29,655,000円	項 目	令和2年度（現年）分	滞納（過年度）分	繰上償還分	調 定 額	30,773,800円	59,865,600円	1,938,000円	償 還 額	26,332,700円	16,780,000円	1,938,000円	滞 納 額	4,441,100円	43,085,600円	0円	償 還 率	85.6%	28.0%	100.0%
主な指標項目	H30	R1	R2																																					
奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	91名 (26名)	72名 (14名)	58名 (10名)																																					
貸与金額	46,395,000円	37,440,000円	29,655,000円																																					
項 目	令和2年度（現年）分	滞納（過年度）分	繰上償還分																																					
調 定 額	30,773,800円	59,865,600円	1,938,000円																																					
償 還 額	26,332,700円	16,780,000円	1,938,000円																																					
滞 納 額	4,441,100円	43,085,600円	0円																																					
償 還 率	85.6%	28.0%	100.0%																																					
成果に係る評価		市内の生徒及び学生より奨学生を募集し、石巻市奨学生選考委員会において公正な審査を行ったところ、10名の奨学生を選考し、修学に必要な学資を貸与することができた。今後も奨学生の募集について、市報やホームページへの掲載、市内学校等への周知を継続し、学生の修学支援を図ることとする。償還金の滞納対策については、滞納者の所在地把握や面談等の実施により、滞納者数及び滞納額ともに前年度より減少することができた。今後も個別相談等の実施などにより滞納者の状況把握に努め、償還促進を図る必要がある。																																						
（単位：円）																																								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																	
		32,111,000	31,861,406			29,655,000	2,206,406																																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																					
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																					
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																					
実施計画掲載ページ		P 23		中 事 業	いじめ・生徒指導問題対策費																							
事業コード		002-001-002-00235		事 業 名	いじめ・生徒指導問題対策事業																							
目的及び事業内容		いじめやその他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期発見・解決を図る。 1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策会議の実施 2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決に係る研修会、講演会の実施 3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 4 「S t o p いじめ！石巻市子どもサミット」の実施																										
取組実績		<p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策会議の実施 市内のいじめの諸問題、生徒指導問題について、各3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 いじめ防止標語（小）、いじめ防止メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>3 「S t o p いじめ！石巻市子どもサミット」は、市内全中学校のいじめの防止の取組を紙上发表にて行った。</p> <p>4 いじめの重大事案に対応するため、石巻市いじめ問題対策調査委員会を設置し、情報交換、重大事案が起きた際の対応検討等を行った。</p>																										
成 果		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>いじめの認知件数</th> <th>解消件数</th> <th>解消率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 学 校</td> <td>77件</td> <td>51件</td> <td>66.2%</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>46件</td> <td>22件</td> <td>47.8%</td> </tr> <tr> <td>高 校</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>123件</td> <td>73件</td> <td>59.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記は文部科学省実施の令和2年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査による。</p> <p>※『いじめが「解消している」状態とは、①いじめに係る行為が止んでいること、被害者に対する心理的又は物理的な影響を与える行為が止んでいる状態が相当の期間継続していること。この相当の期間とは、少なくとも3か月を目安とする。②被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと、いじめに係る行為が止んでいるかどうかを判断する時点において、被害児童生徒がいじめの行為により心身の苦痛を感じていないと認められること。』 平成25年10月11日文部科学大臣決定（最終改定 平成29年3月14日）いじめの防止等のための基本的な方針より抜粋</p>							区 分	いじめの認知件数	解消件数	解消率	小 学 校	77件	51件	66.2%	中 学 校	46件	22件	47.8%	高 校	0件	0件	0%	計	123件	73件	59.3%
区 分	いじめの認知件数	解消件数	解消率																									
小 学 校	77件	51件	66.2%																									
中 学 校	46件	22件	47.8%																									
高 校	0件	0件	0%																									
計	123件	73件	59.3%																									
成果に係る評価		いじめの認知件数については各学校において、意識を高くして児童生徒の見守りし、組織的に早期発見、早期解決に向けて取り組んでいる。コロナ禍における偏見や差別、誹謗や中傷、いじめ防止の事前指導を徹底したこと、換気や消毒のため教員が子どもの近くにいたこと、児童生徒同士の望ましい人間関係づくりの効果など様々な要因により認知件数は前年度より減少した。解消率は、12月に発生した事案の経過観察を丁寧に行っていることから解消率の減少につながっている。今後も、未然防止に向けての取組が必要であり、いじめについては積極的に認知し、学校全体で組織的に解決、解消に努めることが大切である。SNS等のネットトラブルのように、表面化しにくい問題も懸念される。今後も、児童生徒同士の望ましい人間関係づくりの推進や道徳教育の充実にも全力で取り組むよう各学校に働き掛ける。																										
（単位：円）																												
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																					
		1,410,000	394,919				394,919																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )											
	1 項	教育総務費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )											
	3 目	教育指導奨励費		( 1 )	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )											
実施計画掲載ページ		P 36	中 事 業	外国青年英語指導費														
事業コード	002-003-001-00225	事 業 名	国際理解教育推進事業															
目的及び事業内容		幼稚園、小・中学校及び高等学校における A L T (外国語指導助手) を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。 1 市立中学校、高等学校における外国語教育の充実 2 市立小学校における外国語活動の充実 3 市立幼稚園、こども園、けやき教室における国際理解教育の推進																
取組実績		1 市立中学校・高等学校 市立全ての幼・小・中・高を15のブロックに分け、それぞれに1名ずつ A L T を配置した。2名の J E T - A L T と13名の民間 A L T (業務委託) を配置しており、J E T プログラムの A L T については、部活動等課外活動にも意欲的に取り組み、授業以外の場面でも生徒と積極的に接した。A L T の入った授業の割合は中学校で約33%、高校で約20%となっており、週に1～2度は A L T の指導を受けている。 2 市立小学校 中・高学年で行われている外国語活動の時間に合わせて A L T を配置した。学級担任や外国語担当教員と共同し、児童が楽しみながら外国語を使用し、コミュニケーション能力の基礎を養えるような授業づくりに努めた。A L T の入った授業の割合は小学校中学年で73%、高学年で49%となっており、1～2週間に1度は A L T の指導を受けている。 3 市立幼稚園・こども園・けやき教室 月1回程度配置し、英語を使った活動等を行い、英語に対する関心を高める機会を設定した。  ※ J E T プログラム…「語学指導等を行う外国青年招致事業」の略称 外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会 ( C L A I R ) の協力の下に実施する事業。																
成 果		A L T を幼稚園・こども園・小学校・中学校・高等学校・けやき教室に配置し、外国語活動や外国語教育、国際理解教育を推進することができた。引き続き高い水準で授業を「楽しい」と感じる生徒の割合を維持できており、外国語や国際理解に関する学習に対する関心や意欲を高めることに大いに貢献している。 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合 ( 中学1・2年生 )</td> <td>78.1%</td> <td>82.3%</td> <td>89.2%</td> <td>91.0%</td> </tr> </table>							主な指標項目	H29	H30	R1	R2	A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合 ( 中学1・2年生 )	78.1%	82.3%	89.2%	91.0%
主な指標項目	H29	H30	R1	R2														
A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合 ( 中学1・2年生 )	78.1%	82.3%	89.2%	91.0%														
成果に係る評価		児童生徒が常に英語を母国語とする人の本場の英語に触れる学習環境を作るために、各校に1人の A L T を配置することが望ましいが、予算や人員確保の面からは難しい。しかし、グローバル化の進展や小学校高学年の英語の教科化等に対応するために、学校のクラス数や児童・生徒数、地理的条件等に応じたブロックの見直しを検討し、今後も効率的な配置を進めていきたい。 授業では担任教員との T T (ティームティーチング) により、子どもたちが異文化への興味・関心を高め、身の回りにある様々な素材を活用して自ら英語力を高めていこうとする意欲を培うことで国際理解教育の充実を図っていく。																
(単位: 円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	71,969,000	71,092,191				71,092,191												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P 23	中 事 業	子どもの未来づくり事業費				
事業コード	002-001-002-00232	事 業 名	石巻・子どもの未来づくり事業					
目的及び事業内容		石巻市立小・中学校長会と連携し、児童生徒の学力の定着と向上を通じ、未来を生き抜く力の育成を図る。 1 子どもの未来づくり推進委員会の設置 2 小・中学校長会との連携による「子どもの未来づくり推進地区連絡協議会」の設置 3 学習指導の改善を図る研修会の開催						
取組実績		1 子どもの未来づくり推進委員会の設置取組 (1) 学力調査結果の分析等に基づき、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成の在り方等について検討し、中学校区ごとに家庭学習の進め方について、リーフレットを作成し働き掛けた。 (2) 子どもの未来づくりフォーラムの代替事業として全小中学校が学校自慢新聞を作成し、児童生徒の活動を報告できた。子どもの未来づくり講演会・実践報告会を1回実施し、子どもたちの志を高める取組の共有ができた。 (3) 家庭学習・生活習慣リーフレットの内容及び活用状況を検証し、内容を改善していくことを確認した。 (4) 子どもの未来づくり推進地区・実践校の取組状況や成果を「事業報告書、実践事例集」にまとめ活用を図った。 (5) 志を強くもって生き抜くための具体的な実践として、小・中学校が連携して体験活動の交流会等を実施した。 2 小・中学校との連携及び子どもの未来づくり推進地区の取組 (1) 学力向上のため、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成等の実践研究を実施した。 (2) 地区内での情報共有や共同実践について話し合った。 (3) 実践報告会において、各地区の取組について発表し、情報を共有した。 3 教員の指導力向上、学習指導の改善を図る取組 (1) 大学教授による学習指導の改善を図る研修会を6回実施した。						
成 果		1 8地区内での合同の研修会や授業参観を実施し、小中だけでなく、小小の連携も図られ、地区内での共通理解が深まり、9年間を見通した指導が効果的になった。 子どもの未来づくりフォーラムの代替として実施した「学校自慢新聞」では、各校における児童生徒の取組を記事にし、学校の W E B ページにも載せることで、子どもたちの頑張りを地域や保護者にも知ってもらうことができ、学校の取組の様子を広く知ってもらえるきっかけとなった。また、この新聞の記事を基に各校に取材に向き、インタビューした内容を石巻市教育委員会の W E B ページに掲載することにより、特徴的な取組を広く紹介することができた。 2 各校の小中連携主任が中心となり、それぞれの地域の実態に応じた小中の連携が図られた。 3 学習指導の改善を図る研修会に基づく取組は、市内全ての小・中学校で実践したことを子どもの未来づくり実践報告会で発表し、各学校の参考になった。						
成果に係る評価		新型コロナウイルス感染症防止を踏まえたうえで6回実施した「学習指導の改善を図る研修会」の内容が全小・中学校で実践され更に推進された。小・中学校で、教員が互いに授業参観をし合ったり、合同授業検討会等を実施したりして、子どもたちの主体的な学びを目指す授業改善が行われた。また、家庭学習習慣の形成についても、家庭学習カードの活用やリーフレット「5つのトライ」を小学校入学児童に配布し、小中9年間を見通した実践を地区ごとに行った。その結果、児童生徒対象のアンケートにおいて、家庭学習の定着率が向上した。 人間関係づくりを基盤にした授業の改善は、児童生徒の学び力の育成に効果的であり、子どもの未来づくり実践報告会において、成果があった取組を全小・中学校で共有し、さらに充実した実践に結びつける必要がある。						
(単位: 円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	3,583,000	2,486,312				1,400,000 1,086,312		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																	
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																	
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	適応指導教室運営費																				
事業コード		002-001-002-00227	事 業 名	適応指導教室運営事業																				
<p>目的及び事業内容</p> <p>不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p>																								
<p>取組実績</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携</p> <p>通所児童生徒や保護者との定期的教育相談や懇談会を行ったほか、機会を捉えての相談等も行い児童生徒の悩み等に対し、随時受容的に対応した。また、在籍校との情報共有を積極的に行った。</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導</p> <p>(1) 通所児童生徒の実態や学年を踏まえ、個に応じた指導・支援を行った。</p> <p>(2) 在籍校との連携を深め、学級担任との連絡を密に行ったほか、懇談会や適応指導教室での定期検査受験や学校で使用しているプリントでの学習などにより、学校と児童生徒との結びつきを強化しながら指導・支援を行った。</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p> <p>絵手紙教室、英会話教室、書道教室、調理実習、スポーツ教室、清掃活動等の体験活動を通して仲間とともに活動する楽しさや一体感の醸成が図られた。</p>																								
<p>成 果</p> <p>児童生徒に寄り添いながら、通所児童生徒の個々の状況に応じてカウンセリングや相談を行ったり、それぞれの進度に応じた学習支援を行ったりすることにより、学習することの楽しさや自己有用感を味わわせることができた。また、様々な体験活動を通して、仲間とともに活動することによる一体感や協調性を醸成し、他者とのコミュニケーション能力を高めることによって、自分に自信をもつことができた児童生徒がいた。年3回の定期的な懇談会の開催や随時の相談を行ったり、保護者や在籍校と密に連携を図ったりすることにより、児童生徒の些細な変化に迅速に対応することができた。適応指導教室の親身な相談活動によって、再登校の意欲を高め、部分登校や再登校（学校復帰）を果たした生徒もいた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">主な指標項目</th> <th style="width: 10%;">H30</th> <th style="width: 10%;">R1</th> <th style="width: 10%;">R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数</td> <td style="text-align: center;">83件</td> <td style="text-align: center;">49件</td> <td style="text-align: center;">77件</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の再登校率</td> <td style="text-align: center;">15.8%</td> <td style="text-align: center;">13.6%</td> <td style="text-align: center;">17.6%</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の部分登校率（再登校者を含む）</td> <td style="text-align: center;">78.9%</td> <td style="text-align: center;">77.2%</td> <td style="text-align: center;">76.4%</td> </tr> </tbody> </table>									主な指標項目	H30	R1	R2	不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	83件	49件	77件	通所児童生徒の再登校率	15.8%	13.6%	17.6%	通所児童生徒の部分登校率（再登校者を含む）	78.9%	77.2%	76.4%
主な指標項目	H30	R1	R2																					
不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	83件	49件	77件																					
通所児童生徒の再登校率	15.8%	13.6%	17.6%																					
通所児童生徒の部分登校率（再登校者を含む）	78.9%	77.2%	76.4%																					
<p>成果に係る評価</p> <p>適応指導教室は、通所する不登校傾向、不登校の児童生徒への支援を行うとともに、不登校傾向がある児童生徒への学校訪問や家庭訪問等を行っている「石巻市子どものサポートハウス」と連携して支援を行うなど、それぞれの特徴を生かした対応ができた。これまでに登校できなかった児童生徒が通所に至るなどの実績もあり、年間の延べ通所人数は20人前後となっている。一方で、発達に課題のある児童生徒の通所もあり、その対応が課題である。今後も心のサポーターによる訪問支援などの連携を継続し、きめ細やかな支援の強化とともに、適応指導教室から学校復帰に結びつける効果的な運用について、個に応じた対応を図っていく必要がある。</p>																								
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	8,056,000		7,737,981					7,737,981																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																														
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																														
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																																														
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	特別支援教育事業費																																																	
事業コード		002-001-002-00228	事 業 名	特別支援教育支援員配置事業																																																	
<p>目的及び事業内容</p> <p>通常の学級に在籍している発達障害がある児童生徒の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に特別支援教育支援員を配置する。</p> <p>1 小・中学校への特別支援教育支援員の配置</p> <p>2 当該児童生徒への日常生活支援及び学習指導補助</p>																																																					
<p>取組実績</p> <p>1 支援員の配置状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">年度</th> <th style="width: 10%;">内訳</th> <th style="width: 10%;">H28</th> <th style="width: 10%;">H29</th> <th style="width: 10%;">H30</th> <th style="width: 10%;">R1</th> <th style="width: 10%;">R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">学校数</td> <td>小学校</td> <td style="text-align: center;">27校</td> <td style="text-align: center;">27校</td> <td style="text-align: center;">28校</td> <td style="text-align: center;">30校</td> <td style="text-align: center;">30校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: center;">3校</td> <td style="text-align: center;">4校</td> <td style="text-align: center;">7校</td> <td style="text-align: center;">10校</td> <td style="text-align: center;">13校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">30校</td> <td style="text-align: center;">31校</td> <td style="text-align: center;">35校</td> <td style="text-align: center;">40校</td> <td style="text-align: center;">43校</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人数</td> <td>小学校</td> <td style="text-align: center;">73人</td> <td style="text-align: center;">74人</td> <td style="text-align: center;">72人</td> <td style="text-align: center;">71人</td> <td style="text-align: center;">71人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: center;">3人</td> <td style="text-align: center;">5人</td> <td style="text-align: center;">10人</td> <td style="text-align: center;">14人</td> <td style="text-align: center;">17人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">76人</td> <td style="text-align: center;">79人</td> <td style="text-align: center;">82人</td> <td style="text-align: center;">85人</td> <td style="text-align: center;">88人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 通常の学級における当該児童生徒への支援</p> <p>特別支援教育支援員の声掛けや安全の見守りを必要とする児童生徒が増えており、校内就学支援委員会等で特別支援教育支援員の配置必要であると認めた児童生徒について支援員を配置している。支援の内容は、各校の特別支援教育コーディネーターや担任の指示等により決めている。</p> <p>3 特別支援教育支援員研修会</p> <p>年度初めに「特別支援教育支援員としての心構え」の研修を行う予定としていたが、コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会は中止した。</p> <p>代替として、児童生徒の理解を深め、適切な支援ができるよう「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド」を配布し、支援員を含め、教職員への周知を図った。</p>									年度	内訳	H28	H29	H30	R1	R2	学校数	小学校	27校	27校	28校	30校	30校	中学校	3校	4校	7校	10校	13校	合計	30校	31校	35校	40校	43校	人数	小学校	73人	74人	72人	71人	71人	中学校	3人	5人	10人	14人	17人	合計	76人	79人	82人	85人	88人
年度	内訳	H28	H29	H30	R1	R2																																															
学校数	小学校	27校	27校	28校	30校	30校																																															
	中学校	3校	4校	7校	10校	13校																																															
	合計	30校	31校	35校	40校	43校																																															
人数	小学校	73人	74人	72人	71人	71人																																															
	中学校	3人	5人	10人	14人	17人																																															
	合計	76人	79人	82人	85人	88人																																															
<p>成 果</p> <p>特別支援教育支援員を必要とする学校が増加傾向にある。支援員の見守り等が必要な児童は445名（前年度296名）、生徒は104名（同36名）であった。</p> <p>中学校においては、発達に課題のある生徒の困難さが複雑化、固定化していることが多く、支援員の配置を求める中学校が増えている現状である。</p> <p>令和2年度は、増員した3名を新たに中学校に配置することにより、困難さが見過ごされてしまいがちな生徒の様子を把握したり、教室を離れてクールダウンする生徒への対応が可能になるなどの効果があった。</p> <p>小・中学校に特別支援教育支援員を配置することにより、特別な支援を要する児童生徒が通常学級でほかの児童生徒と共に学ぶことができるようになり、障害のある児童生徒の困り感が和らぎ、充実した学習や生活ができるようになった。</p>																																																					
<p>成果に係る評価</p> <p>令和2年度の支援員配置希望に対する配置率は50.0%で昨年度の49.81%より高くなった。支援員を必要とする児童生徒に対する配置は十分ではないが、各学校の支援員配置に対する満足度は高い。支援員を児童生徒に対する固定配置にするのではなく、必要場面で効果的に活用する形をとる学校が増えてきている。</p> <p>インクルーシブ教育の推進を図りながら、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶことを追求するとともに、それぞれの子どもが、授業内容が分かり学習活動に参加している実感や達成感を持ちながら、生きる力を身に付けていけるような環境整備や仕組みが整ってきている。</p>																																																					
(単位：円)																																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																													
	110,990,000		109,283,207					109,283,207																																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																			
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																			
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																			
実施計画掲載ページ		P24	中 事 業		定住外国人就学支援事業費																					
事業コード		002-001-002-00238	事 業 名		定住外国人就学支援事業																					
目的及び事業内容		石巻市に転入し、就学を希望する外国籍の児童生徒を市立小中学校において円滑に受け入れるため、外国語を話すことができる定住外国人就学支援員を必要とする学校に配置し、当該児童生徒の通訳及び言語習得や学校生活等のサポートを行う。																								
取組実績		<p>支援を要する外国籍の児童生徒に対し、意志疎通が図れる定住外国人就学支援員を配置し、学校での通訳や簡単な日本語指導により、当該児童生徒の学習及び日常生活の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援を必要とする外国籍の児童生徒数(校数)</td> <td>7人(6校)</td> <td>7人(6校)</td> <td>7人(5校)</td> <td>9人(5校)</td> <td>8人(6校)</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>6人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>支援を必要とする児童生徒の母国語は、中国語、ベンガル語、モンゴル語、英語である。ベンガル語、モンゴル語に対応できる人材が見つからないため、ベンガル語を母国語とする児童には英語による支援を行い、モンゴル語を母国語とする児童・生徒に対しては、県が外国人等日本語指導非常勤講師を配置し、支援を行った。支援を要する児童・生徒全員に対する支援体制を整備することができた。</p>							主な指標項目	H28	H29	H30	R1	R2	支援を必要とする外国籍の児童生徒数(校数)	7人(6校)	7人(6校)	7人(5校)	9人(5校)	8人(6校)	配置した支援員数	6人	5人	4人	5人	4人
主な指標項目	H28	H29	H30	R1	R2																					
支援を必要とする外国籍の児童生徒数(校数)	7人(6校)	7人(6校)	7人(5校)	9人(5校)	8人(6校)																					
配置した支援員数	6人	5人	4人	5人	4人																					
成 果		令和2年度は、支援を必要とする児童生徒8人のうち、4人の児童生徒(小学校4人)に対し、支援員をそれぞれ配置し、学校生活におけるコミュニケーションの手伝いや簡単な日本語指導を行い、当該児童生徒及びその家族の不安を取り除くことができた。																								
成果に係る評価		ベンガル語、モンゴル語を母国語とする児童生徒への支援員の確保ができなかった。ベンガル語を母国語とする児童に対しては、英語のできる支援員を配置した。モンゴル語を母国語とする児童・生徒に関しては、県採用の日本語指導非常勤講師が支援にあたった。今後も支援が必要な外国籍の児童生徒が増えてくるのが予想されるので、宮城県国際化協会等の関係機関との連携強化や、ハローワークへの求人等による人材確保を図ることが必要である。																								
(単位:円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	2,773,000	2,510,530				2,510,530																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																									
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																									
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																									
実施計画掲載ページ		P24	中 事 業		学校図書館担当配置事業費																											
事業コード		002-001-002-01076	事 業 名		学校図書館担当職員配置事業																											
目的及び事業内容		<p>各校の図書館担当教諭と協働し、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資する。</p> <p>1 学校図書館担当職員(学校司書)の配置</p> <p>2 学校図書館担当職員(学校司書)研修等の実施</p>																														
取組実績		<p>平成28年度から、学校司書の配置をモデル校において開始した。令和2年度は配置校数を拡大し配置を行った。</p> <p>1 学校図書館担当職員(学校司書)の配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>学 校 数</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>24</td> <td>36</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>内 訳</td> <td>小4・中2</td> <td>小8・中4</td> <td>小15・中9</td> <td>小27・中9</td> <td>小30・中11</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 学校図書館担当職員(学校司書)研修等の実施</p> <p>市図書館司書や外部支援団体の司書を講師とした研修会の開催や県図書館等講習会への参加により、技能向上に努めた。</p> <p>内容: 初任者研修2回(4日間、2日間)、全体研修(実技、情報共有等)1回(1日)</p> <p>県等外部の研修会、研究会への参加1回(市内小学校校内研修1日)</p>							年 度	H28	H29	H30	R1	R2	人 数	3	6	12	12	14	学 校 数	6	12	24	36	41	内 訳	小4・中2	小8・中4	小15・中9	小27・中9	小30・中11
年 度	H28	H29	H30	R1	R2																											
人 数	3	6	12	12	14																											
学 校 数	6	12	24	36	41																											
内 訳	小4・中2	小8・中4	小15・中9	小27・中9	小30・中11																											
成果に係る評価		<p>1 配置36校に加え、新たに5校の学校に学校図書館担当職員(学校司書)を配置することができた。</p> <p>2 初任者研修により基礎的知識の習得のほか、全体研修での図書紹介POP作成などの技術や、外部研修会での実践事例を学ぶことなどにより、学校司書の資質向上につなげることができた。</p> <p>3 学校司書の配置により図書館機能が向上し、前年度より図書の貸出数を増やすことができた。</p> <p>■図書貸出実績(H30年度既配置24校と比較)</p> <p>H30年度 70,777冊 R1年度 79,796冊 R2年度 98,998冊</p>																														
成果に係る評価		<p>未整理だった図書の分類整理をはじめ、図書カードの整備、定期的な壁面掲示物の更新や推奨コーナーの設置、授業で使用する図書の準備など、学校司書の取組により図書館機能が向上し、全体の児童生徒の利用貸出し数の増加や、図書館担当教諭の業務軽減につなげることができたと考える。</p> <p>特に昨年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも貸出数を増やしていることは大きな成果であった。</p> <p>今後も学校図書館に対し求められる3つの役割「①読書活動の拠点となること(読書センター)」「②授業に役立つ資料を備え、学習支援を行うこと(学習センター)」「③情報活用能力を育むこと(情報センター)」が十分に果たせるよう、引き続き学校司書の能力の向上を図るとともに配置校の拡大に努める。</p>																														
(単位:円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	18,721,000	18,134,797				18,134,797																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )	
	3 目	教育指導奨励費		(1)	広い視野を持つ人材を はぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P37	中 事 業		サイエンスラボ事業費			
事業コード		002-003-001-01138	事 業 名		サイエンスラボ事業			
目的及び事業内容		児童生徒が科学への興味・関心を持ち、自ら自然を調べようとする態度や能力の育成を目指すとともに、教員の理科指導力の向上、石巻市の理科教育の充実を図る。 1 科学巡回教室の実施 2 教材・教員の開発及び教員への提供 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 4 「親と子の科学教室」の実施 5 企業や研究機関との連携						
取組実績		1 科学巡回教室、科学イベントの実施 「原子・分子の学習」、「宇宙の学習」、「科学実験」、「ものづくり」等を行い、市内21小学校で延べ48回、3中学校で延べ10回、5幼稚園で延べ7回実施し、合計1,511名が参加した。 2 教材・教員の開発及び教員への提供 原子・分子の模型の作製や太陽系の惑星の大きさを示す模型の作製を行い科学巡回教室で活用した。 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 「科学巡回教室」で学校を訪問した際に、担当教師と情報交換等を行った。 4 「親と子の科学教室」の実施 女川町教育委員会、東松島市矢本東町づくり協議会と連携し計3回実施した。 5 企業や研究機関との連携 パナソニック㈱ 次世代育成プログラムとして、5小学校でLED工作教室を実施した。						
成 果		1 市内小学校に加え、中学校、幼稚園についても幅広く科学巡回教室を開催した。分かりやすく楽しいプログラムを作成し、事後アンケートでは「楽しかった」97.6%、「分かった」97.4%と肯定的な意見が多かった。 2 原子・分子の模型は、子どもたちにその世界をイメージさせるのに有効であり、太陽系の惑星の模型は、地球との距離をイメージさせるのに役立った。 3 サイエンススーパーバイザーが、地域の要請に応じて科学イベントを行い、科学への興味・関心を高めることができた。 4 LED工作教室では、オリジナルランプづくりを通して、ものづくりの楽しさを実感するとともに環境への意識を高めることができた。						
成果に係る評価		○本事業5年目となり、その趣旨や内容が各学校や関係機関に浸透し、各方面での活用が図られた。科学巡回教室では、小学校に加え、中学校や幼稚園、けやき教室でも実施した。今後内容やプログラムを検討・充実させていく必要がある。 ○2人のサイエンススーパーバイザーが見通しを持って業務に従事している。教材教具の開発や教員への相談活動、研修会については、より事業内容の充実に向けていく。 ○関係機関との連携により、事業に広がりや深まりを持たせることができた。今後企業等と連携し、子どもたちに科学や自然の魅力を伝えるとともに、理科教育の充実資する取組を展開していく。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	4,977,000		4,891,009					4,891,009

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第 節			( )	
	8 目	東日本大震災関係費		( )			( )	
実施計画掲載ページ			中 事 業		学び支援コーディネーター等配置事業費			
事業コード			事 業 名		学び支援コーディネーター等配置事業			
目的及び事業内容		東日本大震災により、地域コミュニティの崩壊や仮設住宅居住など住環境が変化し、教育環境、特に家庭学習の習慣形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等の配置を行い、児童生徒に基礎基本を確実に定着させ、学力の全体的な底上げを図るもの。 1 地域に必要な学習の場をコーディネートする「学び支援コーディネーター」の配置 2 児童生徒の学習支援や保護者の学習相談等に携わる「学び相談員」「学び支援員」の配置 3 長期休業中と平日の放課後の学習支援のために学習の場・機会の提供						
取組実績		1 「放課後学び教室」の開催 (会場：市内各小中学校の教室等(小学校15校、中学校10校)) (1) 開催日時 令和2年6月～令和3年2月末 15:00～17:00 ※学校の実情に応じて計画を立てて学習支援を実施した。 (2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生 (3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・実施回数等 実施回数：1,059回(小学生 805回、中学生 254回) 参加者数：21,647名(小学生 18,753名、中学生 2,894名 延べ人数) 学び相談員・支援員：1,836名(延べ人数)						
成 果		1 家庭では十分に学習できなかった児童生徒も、放課後学び教室に参加することで学習習慣が身に付き、学習への自信と意欲をもつようになってきている。アンケートでは参加した児童生徒のうち、8割以上が「主体的に学習に取り組んだ」「楽しく学ぶことができた」と肯定的な回答をしているだけでなく、家庭での学習時間も増加するなどの成果があった。 2 学び相談員や支援員が児童生徒一人一人を理解し、温かく学習を見守り、困っているときには適切に対応したことにより、児童生徒が「分かる喜び」を得ることができた。						
成果に係る評価		新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業により、「放課後学び教室」の開設が例年の5月下旬から6月になり、また、8月5日及び6日にささえあいセンターを会場に予定していた「夏休み学び教室」が中止となるなど、事業の中止と変更があったが、児童生徒アンケートや保護者アンケート、学校からの報告等によると、本事業が適切かつ効果的に実施され、成果を上げていることが読み取れた。開設校は「被災の影響」が開設条件となっているので、増加はしない傾向にある。 「仮設住宅の再編等に係る学習支援によるコミュニティ復興支援事業」は令和2年度で終了するが、「学校を核とした地域力強化プラン(宮城県学校・家庭・地域連携協力推進事業)」において、引き続き同事業が実施できるよう検討している。						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	5,697,000		5,198,895		5,198,000			895

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																										
	1 項	教育総務費				( 1 )	未来の人を育てる																										
	8 目	東日本大震災関係費				( 3 )	子どものケアの実施																										
実施計画掲載ページ		P208	中 事 業		スクールカウンセラー配置事業費																												
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名		スクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																												
目的及び事業内容		<p>カウンセラーの相談活動により、児童生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、児童生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 スクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員・学区内小学生等の要望に応じたカウンセリングの実施 3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施</p>																															
取組実績		<p>1 スクールカウンセラーの配置（任用は宮城県） 県外スクールカウンセラーや新規を含め、全小中学校に配置した。</p> <p>2 カウンセラーの配置状況 (1) 1人あたり 中学校各校年間20～40回、小学校各校年間12～40回 (2) 1回あたりの時間 6～8時間</p> <p>3 カウンセラーの活動内容 面談 カウンセリング研修等の実施 カウンセリングルームの環境整備 各学級巡回 各種ケース会議 おたよりの作成 等 令和2年度の4・5月の臨時休業期間中は、児童生徒の臨時登校日に合わせた勤務日に調整し、カウンセリング業務や電話相談を行った。</p>																															
成 果		<p>全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、教職員が相談できる体制が整備されている。相談者が専門的なカウンセリングを受けることによって、震災後の心のケアも含め、学校や家族の内在的な問題等の解決の一助としての役割を担っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>5,740件</td> <td>6,304件</td> <td>6,192件</td> <td>5,376件</td> <td>5,044件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>6,399人</td> <td>7,027人</td> <td>6,706人</td> <td>6,157人</td> <td>5,705人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">R2相談人数割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童生徒</td> <td>68.4%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>17.1%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>14.5%</td> </tr> </tbody> </table>						主な指標項目	H28	H29	H30	R1	R2	相談件数	5,740件	6,304件	6,192件	5,376件	5,044件	相談人数	6,399人	7,027人	6,706人	6,157人	5,705人	R2相談人数割合		児童生徒	68.4%	教職員	17.1%	保護者	14.5%
主な指標項目	H28	H29	H30	R1	R2																												
相談件数	5,740件	6,304件	6,192件	5,376件	5,044件																												
相談人数	6,399人	7,027人	6,706人	6,157人	5,705人																												
R2相談人数割合																																	
児童生徒	68.4%																																
教職員	17.1%																																
保護者	14.5%																																
成果に係る評価		<p>平成29年度から全小中学校にスクールカウンセラーを配置している。相談活動のみならず、配置校内での情報交換やケース会議、教職員向けの研修会、相談しやすい環境づくり等も実施し、教職員の力量の向上や組織的かつ適切な対応のための組織づくりに生かすことができた。諸問題の未然防止と早期対応、震災後の心のケアの面からも、スクールカウンセラーによる相談体制の充実と連携を図っていくことが引き続き重要である。ほとんどの学校から配置継続の要望が出ていることも受け、県に有資格者による継続配置を求めていく。</p>																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	442,000	380,236			380,236																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																														
	1 項	教育総務費				( 1 )	未来の人を育てる																														
	8 目	東日本大震災関係費				( 3 )	子どものケアの実施																														
実施計画掲載ページ		P208	中 事 業		スクールソーシャルワーカー配置事業費																																
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名		スクールソーシャルワーカー配置事業																																
目的及び事業内容		<p>小・中学校及び高等学校における相談体制や関係機関との連携体制の充実を図り、不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題行動の早期対応や早期解決を図る。</p> <p>1 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（家庭や学校等）を考慮し、面談などの働きかけを行う。 2 児童相談所などの関係諸機関とのネットワークを構築し、連携や調整に努める。 3 小・中学校及び高等学校において、校内で支援体制やチーム体制を整備することを支援する。 4 小・中学校及び高等学校の教職員・保護者への相談や研修会等での啓発活動・情報提供に努める。</p>																																			
取組実績		<p>1 スクールソーシャルワーカーについて（令和2年度5名配置） 児童生徒や家庭の状況を踏まえ、ケースごとに児童相談所や市の相談機関などの関係機関と連携し対応した。また、震災後の児童生徒の心のケアについても、学校に配置されているスクールカウンセラーや児童精神科医とも連携し、専門的な見地をもとにした適切な対応を働きかけた。 4月、5月の臨時休業期間中は、学校での情報交換や継続児童生徒の家庭訪問等を行った。</p> <p>2 5名の配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>拠点校</th> <th>担当校（拠点校舎）</th> <th>勤務時間、日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>石巻小、二俣小、石巻市教育委員会</td> <td>小学校14校、中学校8校</td> <td>1日 6時間、週3日</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>向陽小、青葉中</td> <td>小学校 8校、中学校4校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>万石浦中、桃生中</td> <td>小学校 8校、中学校5校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>渡波中、石巻市教育委員会</td> <td>小学校 3校、中学校2校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>桜坂高校</td> <td>高校1校</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 勤務総日数延べ427日 4 連携した機関：保健・医療の関係機関（59件）、児童家庭福祉の関係機関（76件）、教育支援センター等の学校外の教育機関（16件）フリースクール等（33件）、その他の機関（38件）合計222件</p>							拠点校	担当校（拠点校舎）	勤務時間、日数	1	石巻小、二俣小、石巻市教育委員会	小学校14校、中学校8校	1日 6時間、週3日	2	向陽小、青葉中	小学校 8校、中学校4校	1日 6時間、週2日	3	万石浦中、桃生中	小学校 8校、中学校5校	1日 6時間、週2日	4	渡波中、石巻市教育委員会	小学校 3校、中学校2校	1日 6時間、週2日	5	桜坂高校	高校1校	1日 6時間、週1日						
	拠点校	担当校（拠点校舎）	勤務時間、日数																																		
1	石巻小、二俣小、石巻市教育委員会	小学校14校、中学校8校	1日 6時間、週3日																																		
2	向陽小、青葉中	小学校 8校、中学校4校	1日 6時間、週2日																																		
3	万石浦中、桃生中	小学校 8校、中学校5校	1日 6時間、週2日																																		
4	渡波中、石巻市教育委員会	小学校 3校、中学校2校	1日 6時間、週2日																																		
5	桜坂高校	高校1校	1日 6時間、週1日																																		
成 果		<p>1 スクールソーシャルワーカーの業務内容が学校及び関係機関に理解され、連携がスムーズになった。 2 学校、適応指導教室、福祉部関係課、国府台病院児童精神科医師、関係団体等と連携を図ることにより、問題を抱える児童生徒等に対し、家庭訪問や巡回相談、支援関係者会議等で速やかにケース対応することができた。 3 全ての学校にスクールソーシャルワーカーを割り振り、継続的、定期的に巡回することで教職員・家庭への認知度や信頼関係が高まり、ケースの掘り起こしを含め、丁寧に対応することができた。</p> <p>○相談後の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>問題が解決</th> <th>支援中で好転</th> <th>支援中</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年度相談件数（計406件）</td> <td>50件</td> <td>134件</td> <td>169件</td> <td>53件</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>12%</td> <td>33%</td> <td>41%</td> <td>14%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○令和2年度活動の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">訪問回数</th> <th colspan="2">ケース会議</th> </tr> <tr> <th>学校</th> <th>家庭</th> <th>関係機関等</th> <th>教職員等</th> <th>関係機関等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>754回</td> <td>355回</td> <td>66回</td> <td>57回（20件）</td> <td>80回（37件）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対応学校数・・・要請のあった53校（小学校33校、中学校19校、高等学校1校）</p>							問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	R2年度相談件数（計406件）	50件	134件	169件	53件	割合	12%	33%	41%	14%	訪問回数			ケース会議		学校	家庭	関係機関等	教職員等	関係機関等	754回	355回	66回	57回（20件）	80回（37件）
	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																																	
R2年度相談件数（計406件）	50件	134件	169件	53件																																	
割合	12%	33%	41%	14%																																	
訪問回数			ケース会議																																		
学校	家庭	関係機関等	教職員等	関係機関等																																	
754回	355回	66回	57回（20件）	80回（37件）																																	
成果に係る評価		<p>相談件数のうち最も多いのは家庭環境（児童虐待を含む）であり、そのうち解決・好転は41%、次に多いのが不登校で、解決・好転は46%であった。関係機関との連携件数は222件で、関係機関との連携強化が図られ、児童生徒及び家庭への適切な支援につながっていると考える。不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題の未然防止や早期解決のために今後も事業を継続する必要がある。</p>																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	12,881,000	12,313,650	12,313,650																																		



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																												
	1 項	教育総務費				( 1 )	未来の人を育てる																												
	8 目	東日本大震災関係費				( 3 )	子どものケアの実施																												
実施計画掲載ページ		P208	中 事 業	ハイスクールカウンセラー配置事業費																															
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名	ハイスクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																															
目的及び事業内容		<p>カウンセラーによる相談活動を通して、生徒・保護者・教職員の精神的安定を図るとともに、問題行動等の未然防止や解決による生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 2 生徒、保護者及び教職員へのカウンセリングの実施 3 学校におけるカウンセリング講座等の支援活動</p>																																	
取 組 実 績		<p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 市立桜坂高等学校に1名配置 2 生徒・保護者・教職員の要望に応じたカウンセリングの実施 1日6時間、年間60日の勤務を原則とし、週2日(火・木)の勤務体制でカウンセリングを実施した。 3 カウンセリング講座等の支援活動 (1) 生徒を対象としたカウンセリング講話を各学年で実施 (2) 教職員を対象とした事例検討会、カウンセリングマインドの技術の習得をねらいとした研修会の実施 (3) 教育相談情報交換会・ケース会議(3回)の実施</p>																																	
成 果		<p>学校でも家庭でも相談をする相手がなく、一人で悩みを解決できずにいる生徒たちがカウンセリングを受けることにより、カウンセラーとの関わりの中で、問題を解決する糸口や対処法を見つけ、学校生活を送れるようになっていくケースが多かった。また、保護者の利用については、子どもへの接し方や、保護者自身の不安(経済的・時間的・精神的なゆとりがない)などについて、カウンセラーと相談していく中でよい方向へ向かうケースがあった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>233件</td> <td>268件</td> <td>302件</td> <td>252件</td> <td>229件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>324人</td> <td>333人</td> <td>420人</td> <td>340人</td> <td>349人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R2相談人数内訳</th> <th>生 徒</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜坂高校</td> <td>126人</td> <td>221人</td> <td>2人</td> <td>349人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※生徒の相談内容は、多い順に「友人・人間関係：37人」、「家庭関係：34人」、「学校生活：30人」である。 ※教職員の相談は、221人の全てが「情報交換」である。 ※「震災関係」の相談は、生徒2人であった。</p>						主な指標項目	H28	H29	H30	R1	R2	相談件数	233件	268件	302件	252件	229件	相談人数	324人	333人	420人	340人	349人	R2相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計	桜坂高校	126人	221人	2人	349人
主な指標項目	H28	H29	H30	R1	R2																														
相談件数	233件	268件	302件	252件	229件																														
相談人数	324人	333人	420人	340人	349人																														
R2相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計																															
桜坂高校	126人	221人	2人	349人																															
成果に係る評価		<p>令和2年度の相談内容についての生徒の傾向は、令和元年度と同様に「友人・人間関係」、「家庭関係」、「学校生活」が多かった。また、相談件数は減少傾向であるが、相談人数は例年並みである。生徒の相談人数は126人であったが、カウンセラーと相談を行ったほとんどの生徒が、相談後は担任を中心とした教員のサポートを受けながら、学校生活を続けていくことができている。 多様化する生徒の悩みを受入れ、ともに解決の糸口や対処法を考えていくハイスクールカウンセラー配置事業の効果はとて大きく、今後も継続が必要である。</p>																																	
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	1,882,000	1,881,600			1,881,600																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																											
	1 項	教育総務費				( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																											
	8 目	東日本大震災関係費				( 1 )	被災者への生活支援																											
実施計画掲載ページ		P182	中 事 業	震災奨学金給付事業費																														
事業コード		002-101-001-00355	事 業 名	震災奨学金給付事業																														
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により親が死亡又は行方不明となり、父母のない児童生徒に対して震災奨学金を給付することにより、安定した修学の機会を提供し、もって有能な人材を育成する。</p>																																
取 組 実 績		<p>1 対象者への給付 4月と9月に月額金、2月に中学校3年生と高校3年生に一時金を給付した。 (1) 対象者 震災当時石巻市内に住所を有していた親が、震災により死亡又は行方不明となり、両親がいなくなった小・中・高校生。 (2) 給付額 ア 月額(年額) 小学校等に在学する者 10,000円(120,000円) 中学校等に在学する者 20,000円(240,000円) 高等学校等に在学する者 30,000円(360,000円) イ 一時金 中学校3年生 300,000円 高校3年生 500,000円 (3) 給付の期間 対象者が高等学校等を卒業するまで給付する。ただし、学校教育法に規定する修業年限内とする。</p>																																
成 果		<p>令和2年度は小学生2名、中学生2名、高校生7名の計11名の震災孤児に奨学金を給付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>2</td> <td>240,000円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>2</td> <td>480,000円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>7</td> <td>2,460,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11</td> <td>3,180,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>一時金として、中学生1名、高校生2名の震災孤児に給付をした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>1</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>2</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3</td> <td>1,300,000円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	人数	給付額	小学生	2	240,000円	中学生	2	480,000円	高校生	7	2,460,000円	合計	11	3,180,000円	区分	人数	給付額	中学生	1	300,000円	高校生	2	1,000,000円	合計	3	1,300,000円
区分	人数	給付額																																
小学生	2	240,000円																																
中学生	2	480,000円																																
高校生	7	2,460,000円																																
合計	11	3,180,000円																																
区分	人数	給付額																																
中学生	1	300,000円																																
高校生	2	1,000,000円																																
合計	3	1,300,000円																																
成果に係る評価		<p>震災奨学金を給付することにより、震災孤児の修学を支援し、安定した修学機会の提供に寄与することができていることから、今後も給付事業を継続する必要がある。</p>																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	4,540,000	4,480,000			4,480,000																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	
	1 項	教育総務費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる	
	8 目	東日本大震災関係費		( )		( 3 )	子どものケアの実施	
実施計画掲載ページ		P208	中 事 業	震災心のサポート事業費				
事業コード	004-103-002-00526	事 業 名	心のケア充実事業（震災心のサポート事業）〔復興基金〕					
目的及び事業内容	<p>1 児童精神科医による子ども支援関係者会議及び健康実態調査業務 震災により、心に深い傷を受けた園児、児童生徒等に対し、医療専門家等を交えた子ども関係者会議及び健康実態調査を行い、よりきめ細やかな心のケアを実施する。</p> <p>2 震災心の支援室業務 震災により、死亡又は行方不明となった児童生徒の御遺族に対して、相談員、臨床心理士による個別相談等の支援活動を実施する。</p>							
取 組 実 績	<p>1 児童精神科医による子ども支援関係者会議及び健康実態調査業務 (1) 園児、児童生徒に対する健康実態調査の実施・・・市立幼稚園、小・中学校及び高等学校の全園児、児童生徒に対して震災直後から「健康実態調査」を行い、震災後の園児、児童生徒の心身の健康状態やトラウマに関するデータを集約した。結果については、すべての園・学校に個別に児童精神科医が説明をしながらフィードバックを行い、校内での支援・指導に役立てた。</p> <p>(2) 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立・・・関係機関が集まり、児童精神科の医師がスーパーバイザーとなって問題を抱える子どもたちに対するケース会議を年4回行った。</p> <p>2 震災心の支援室業務 (1) 相談員・臨床心理士による個別訪問や電話、来室による相談を継続して行った。 (2) 支援室よりの発行 (3) 支援室会議、サポート会議を月1回開催</p>							
成 果	<p>1 児童精神科医による子ども支援関係者会議及び健康実態調査業務 (1)【健康実態調査】児童精神科医が、平成23年度から継続して健康実態調査を行い、データに基づいた支援や指導のアドバイスをを行った。震災のトラウマについては、平成25年度以降で大きな変化が見られないことから全体としては落ち着いている状態である。フィードバックの際は、1月～2月の5日間をかけて学校ごとにオンラインで面談し、全体の傾向や配慮を要する児童生徒への対応についての助言があり、教員の指導に大いに生かされている。 (2)【子ども支援関係者会議】10月、12月、各月1回2日間、計4回開催し、関係機関が出席して問題を抱える児童生徒のケース会議を行い、支援に役立てている。 (メンバー) 国府台病院児童精神科医師、精神科医師、ソーシャルワーカー、児童相談所、虐待防止センター、健康推進課等関係課、スクールソーシャルワーカー、学校教育課、当該学校職員等</p> <p>2 震災心の支援室業務 (1) 個別訪問、電話、来室により御遺族から継続的に話を聞くことができた。 (2) 月に一度サポート会議を開催し精神科医等から助言を得て支援に生かされている。 (3) 御遺族の要望等に対して適切なサポートを行うことができた。</p>							
成果に係る評価	<p>1 児童精神科医による子ども関係者会議及び健康実態調査業務 各学校、園では、関係者会議及び健康実態調査の結果を児童生徒の対応に生かしている。特に、児童精神科医による子ども関係者会議については、配慮を要する児童生徒の対応について、専門医の意見や助言を得ることができ、児童生徒、保護者、教員にとってニーズの高いものであることから、今後も継続的な事業の検討が必要である。</p> <p>2 震災心の支援室業務 御遺族の生活状況も変化し、高齢化、独居等心配される課題もある。それぞれの心情に寄り添いながら、今後も他の機関と連携し状況に応じたきめ細やかなサポートの継続が必要である。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	4,952,000		4,761,414				4,761,414	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	
	1 項	教育総務費		第 1 節		( 1 )	未来の人を育てる	
	3 8 目	教育指導奨励費 東日本大震災関係費		( 3 )		( 3 )	子どものケアの実施	
実施計画掲載ページ		P27、P208	中 事 業	学校安全推進費、学校安全総合支援事業費、防災教育充実事業費				
事業コード	002-001-003-01305 004-103-002-00528	事 業 名	防災教育充実事業〔復興基金〕					
目的及び事業内容	<p>地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な地域環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応力の育成を促進する。</p> <p>1 地域ぐるみの防災教育の推進 2 児童生徒の災害対応力を育成するための教材等の作成</p>							
取 組 実 績	<p>1 学校防災推進会議 有識者、学校関係者、市担当部局、関係機関担当で構成する学校防災推進会議において、本市の学校防災の今後の在り方について協議を行った。また、学校防災について、より専門的に調査・研究するため、3つのワーキンググループを設置し、学校防災の推進に向けた活動を行った。 【取組内容】 「防災研修」：安全担当主幹教諭や防災主任を対象とした研修会の実施、学校防災フォーラムの開催、クロスロードゲーム石巻版児童生徒編の活用、復興・防災マップの広域化 「防災管理」：学校防災マニュアルの点検及び改善指導、大川小学校事故検証報告書の提言に関する取組状況調査の実施、地域防災連絡会の活動と充実 「防災教育」：防災合言葉の募集、防災教育副読本活用の促進及び活動状況の確認</p> <p>2 緊急地震速報受信機を活用した避難訓練 児童生徒が災害から命を守り抜くための「主体的に行動する態度」を育成するため、緊急地震速報受信機を導入し、緊急地震速報を活用した避難訓練を実施した。</p> <p>3 防災教育副読本を活用した授業実践 本市の実態に即した防災教育推進のため、市内全ての小中学校で防災教育副読本を活用した防災教育を展開した。 ＜令和3年度版防災教育副読本発行部数＞ 小学校：1年生 1,200冊、4年生 1,200冊 中学校：1年生 1,300冊</p>							
成 果	<p>1 学校防災推進会議では、3つのワーキンググループごとに、具体的な事業を展開した。 「防災研修」では、学校防災上の課題を学校・地域・行政が連携して解決に向けて取り組むことの重要性を再確認することができた。また、復興・防災マップの作成を通じて、地域の復興を実感するとともに、地域の災害履歴や防災に関する知識の育成を図ることができた。 「防災管理」では、学校防災マニュアルの点検及び改善の指導を行い、学校防災マニュアルの充実が図られた。また、地域防災連絡会の設置促進を図り、令和2年度には全ての学校区で地域防災連絡会が設置され、学校及び地域の防災力を強化することができた。 「防災教育」では、防災合言葉コンクールを開催し、優秀作品を市報に掲載した。市全体の防災意識の高揚を図ることができた。</p> <p>2 各学校では、立地条件や過去の災害状況等を踏まえた避難訓練が実施され、児童生徒らは円滑かつ迅速な避難行動をとることができている。また、緊急地震速報受信機(37校：36機【雄勝小・中併設のため1機】)においては、受信機を活用した訓練が実施され、より臨場感をもって訓練に取り組むことができた。</p> <p>3 防災教育副読本は全ての小中学校で活用されており、発達段階に応じた系統的な指導により、児童生徒に必要な知識や能力を身に付けさせることができた。また、防災学習の時間は、小学校、中学校共にしっかりと確保されており、災害に対する知識や災害対応力が向上している。</p>							
成果に係る評価	<p>東日本大震災では、大規模震災時における「公助」の限界が明らかとなり、「自助」、「共助」の力を向上させる防災教育への関心が高まっている。 今後、震災を体験していない児童生徒及び教職員が増え、街の復興も進み、目に見える震災の被害が少なくなっていく中で、児童生徒らに震災の事実や教訓を語り継いでいく必要がある。 児童生徒が「自分の命を自分で守る」ことができるよう、今後も継続して防災教育副読本を活用した防災教育の推進と、児童生徒の主体的な行動を伴った更なる避難訓練の実施が不可欠である。 今後は、「地域防災連絡会」の活動の充実を図り、学校と地域が一体となった防災活動を推進し、地域ぐるみの防災体制の強化を目指していく。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,906,000		3,337,349		990,000		1,995,349	352,000

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )															
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )															
	1 目	学校管理費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )															
実施計画掲載ページ		P 25	中 事 業	小学校管理費（教育総務課）																		
事業コード	002-001-003-00217	事 業 名	遠距離通学支援事業（小学校）																			
目的及び事業内容	小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行 ・遠距離通学費補助金の交付																					
取組実績	小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施した。																					
	1 スクールバス等の運行 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>R1</td> <td>10校</td> <td>366人</td> <td>102,442,199 円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>11校</td> <td>424人</td> <td>120,704,732 円</td> </tr> </tbody> </table> ※スクールバス等対象校（R2） 稲井小学校、東浜小学校、飯野川小学校、二俣小学校、雄勝小学校、万石浦小学校 中津山第一小学校、桃生小学校、北上小学校、鮎川小学校、大原小学校								区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	R1	10校	366人	102,442,199 円	R2	11校	424人	120,704,732 円
	区分	年度	学校数	対象人数	事業費																	
スクールバス等	R1	10校	366人	102,442,199 円																		
	R2	11校	424人	120,704,732 円																		
2 遠距離通学費補助金の交付 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学費補助金</td> <td>R1</td> <td>2校</td> <td>34人</td> <td>1,522,600 円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>2校</td> <td>35人</td> <td>1,408,210 円</td> </tr> </tbody> </table> ※遠距離通学費補助金対象校（R2） 大谷地小学校、二俣小学校								区分	年度	学校数	対象人数	補助額	遠距離通学費補助金	R1	2校	34人	1,522,600 円	R2	2校	35人	1,408,210 円	
区分	年度	学校数	対象人数	補助額																		
遠距離通学費補助金	R1	2校	34人	1,522,600 円																		
	R2	2校	35人	1,408,210 円																		
成 果	小学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった児童のため、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減が図られた。																					
成果に係る評価	通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる児童の安全・安心の確保を図るため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適正な通学支援を実施することが必要である。 なお、令和2年度については、北上小学校が移転新築されたことから、被災児童通学支援事業（小学校）から本事業で新たにスクールバスの運行を開始した。																					
（単位：円）																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																	
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源														
	125,379,000		122,112,942		11,994,000			110,118,942														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )																			
	2 項	小学校費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )																			
	1 目	学校管理費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )																			
実施計画掲載ページ		P 37	中 事 業	小学校管理費（学校教育課）																						
事業コード	002-003-001-00234	事 業 名	小学校外国語活動指導補助員活用事業																							
目的及び事業内容	小学校に外国語指導補助員を配置することによって、3・4学年の外国語活動及び学習指導要領の改訂に伴って教科化された5・6年生の外国語科の学習の充実と教員の指導力向上を図る。																									
取組実績	小学校外国語活動指導補助員による外国語活動の授業実践 配置を希望する28校のうち24校に補助員を配置した。補助員の入った授業の割合は中学年で平均25.5%、高学年で47.5%となっている。外国語活動指導補助員とALTとを併用し、授業において手厚く担任を補助することができた。補助員は、担任とのチームティーチングの中で教材の提示、児童への個別支援等を行い、授業時間以外にも活動のアイデアを担任に提供するなどした。																									
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置を希望する学校数</td> <td>27校</td> <td>26校</td> <td>28校</td> <td>29校</td> <td>28校</td> </tr> <tr> <td>配置した補助員数</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H28	H29	H30	R1	R2	配置を希望する学校数	27校	26校	28校	29校	28校	配置した補助員数	10人	9人	12人	12人	12人
	主な指標項目	H28	H29	H30	R1	R2																				
配置を希望する学校数	27校	26校	28校	29校	28校																					
配置した補助員数	10人	9人	12人	12人	12人																					
成 果	1 児童の興味・関心の向上 (1) 外国語が堪能で異文化に対する理解も深い補助員と一緒に外国語の活動に取り組むことで、児童の外国語学習に対する興味・関心を高め、外国語によるコミュニケーションに対して積極的な態度を養うことができた。（外国語・外国語活動の授業が楽しいと感じる児童の割合…87.4%） (2) 担任と補助員が外国語を使う自然な場面設定を行い、デモンストレーションを行うことで、児童は英語を使う具体的なイメージをもって活動に取り組むことができた。 2 コミュニケーション能力の向上 学級担任と補助員の共同による授業は、実際の場面で使われる生きた英語を聞くことや話す機会を増やし、児童のコミュニケーション能力を向上させる上で効果的であった。 3 担任の指導力の向上 補助員と学級担任が授業の構想や進め方について意見交換をすることで、お互いのアイデアをよりよいものにすることができ、学級担任の指導力の向上を図ることができた。																									
成果に係る評価	外国語の運用能力が十分ではない学級担任が少なくない状況で、英語が堪能で異文化への造詣が深い補助員の存在は心強く、授業内容の充実や指導力の向上に結び付いている。児童にとっても、補助員は英語使用者としてのよきモデルとなっており、英語学習に対する興味・関心の喚起に繋がっている。新学習指導要領により、5・6年生の外国語が教科化されたことに伴い、補助員の役割はますます重要になっているが、現場のニーズに対して人材がやや不足しており、未配置の学校もある。ハローワークなどを活用し、人材確保に努めていく必要がある。																									
（単位：円）																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																		
	6,375,000		5,272,753					5,272,753																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																															
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																															
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業		小学校保健費																																	
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名		健康診断・検査等実施事業（小学校） 学校医・薬剤師配置事業（小学校）																																	
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医の配置</li> <li>・学校薬剤師の配置</li> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																																				
取組実績		<p>1 学校医の配置 小学校33校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や就学時健康診断の健診業務を実施した。</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>28 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>4 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>27 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 小学校33校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>27 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1・4年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>2・4・6年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>							内 科 医	28 人	耳 鼻 科 医	5 人	眼 科 医	4 人	歯 科 医	27 人	薬 剤 師	27 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1・4年生	耳鼻科健診	2・4・6年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年		
内 科 医	28 人	耳 鼻 科 医	5 人																																			
眼 科 医	4 人	歯 科 医	27 人																																			
薬 剤 師	27 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1・4年生																																			
耳鼻科健診	2・4・6年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年																																					
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、児童の健全な育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>・定期健康診断 小学生 6,306人 ・心臓病検診 1年生 1,054人 4年生 1,027人 ・飲料水水質検査 小学校 33校</p>																																				
成果に係る評価		<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、児童に対して的確な疾病等の予防指導を行っていく上で重要である。今後も学校医、学校、保護者等相互の連携を密にし、児童の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。</p> <p>なお、定期健康診断については、学校保健安全法施行規則により、毎学年6月30日までにを行うこととされているが、令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で4月～5月が臨時休業としたため、実施体制が整わず6月30日までに実施できなかったが、12月末までには全校で実施することができた。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	36,737,000		35,481,656		450,000			35,031,656																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業		小学校保健費			
事業コード		002-001-002-00220	事 業 名		就学時健康診断実施事業			
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、就学予定児に対して、あらかじめ健康診断を行うことにより、健康状況を把握し、必要な助言・指導を行うことを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学時健康診断の実施</li> </ul>						
取組実績		<p>1 就学時健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、視力検査、聴力検査</p> <p>2 就学時健康診断の合同開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻小・山下小⇒中央公民館</li> <li>・住吉小・開北小⇒開北小学校</li> <li>・万石浦小・東浜小・牡鹿地区小学校⇒万石浦小学校</li> <li>・河北・雄勝・北上地区小学校⇒河北総合センター</li> <li>・河南地区小学校⇒遊楽館</li> <li>・桃生地区小学校⇒桃生公民館</li> </ul>						
成 果		<p>就学予定児の保護者に対し、必要な助言・指導を行うことにより、小学校等への円滑な就学が図られた。</p> <p>また、合同開催を実施したことにより、学校医の負担軽減が図られた。</p> <p>1 就学時健康診断 954人</p>						
成果に係る評価		<p>就学予定児の健康状態を把握し、保護者に対して必要な助言・指導を行い、次年度の小学校入学に備えるため、今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>また、学校医の負担を軽減するため、旧市内一部の地区において合同開催を実施しているが、今後についても少子化による就学予定児童の減少や、専門医確保の問題等を踏まえ、合同実施の検討を進めていく必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,587,720		3,272,800					3,272,800

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )							
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )							
	1 目	学校管理費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )							
実施計画掲載ページ		P 30	中 事 業	小学校施設維持整備費										
事業コード		002-001-003-01421	事 業 名	住吉小学校屋内運動場屋根改修事業										
目的及び事業内容		住吉小学校の屋内運動場は、老朽化による雨漏りが著しく、学習活動に支障を来していることから、屋根の外部塗装工事を実施し、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるように整備を図る。												
取組実績		<p>老朽化が著しく進行している住吉小学校の屋内運動場の屋根について、外部塗装工事等を実施した。</p> <p>1 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <tr> <td>内訳</td> <td>R2予算額</td> <td>R2事業費</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>16,404,000</td> <td>16,403,432</td> </tr> </table>							内訳	R2予算額	R2事業費	修繕料	16,404,000	16,403,432
内訳	R2予算額	R2事業費												
修繕料	16,404,000	16,403,432												
成 果		老朽化が著しく進行していた住吉小学校の屋内運動場については、屋根の外部塗装工事等を実施したことにより、児童の安全・安心かつ良好な教育環境の確保が図られた。												
成果に係る評価		市内の学校施設は、建設後相当年数経過しており、老朽化が進行している。今後は、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」を基に、計画的な整備を図っていく。												
(単位：円)														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源								
	16,404,000	16,403,432				16,403,432								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																					
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																					
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																					
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業	小学校教育用コンピューター関係費																																								
事業コード		002-001-003-00240	事 業 名	情報教育環境整備事業（小学校）																																								
目的及び事業内容		国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内小学校の教育用コンピューター、タブレット及び周辺機器を更新する。																																										
取組実績		<p>小学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">整備年度</th> <th colspan="3">整備内容</th> </tr> <tr> <th>教育用コンピューター</th> <th>電子黒板</th> <th>タブレット（学習者用）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>石巻地区 8校：185台</td> <td>石巻地区 8校：25台</td> <td>石巻地区 8校：52台</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>石巻地区 8校：232台</td> <td>石巻地区 8校：40台</td> <td>石巻地区 8校：56台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>河北地区 3校：66台</td> <td>河北地区 3校：9台</td> <td>河北地区 3校：21台</td> </tr> <tr> <td>桃生地区 3校：61台</td> <td>桃生地区 3校：9台</td> <td>桃生地区 3校：21台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>河南地区 6校：127台</td> <td>河南地区 6校：21台</td> <td>河南地区 6校：42台</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区 3校：32台</td> <td>牡鹿地区 3校：6台</td> <td>牡鹿地区 3校：13台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>雄勝地区 1校：9台</td> <td>雄勝地区 1校：4台</td> <td>雄勝地区 1校：6台</td> </tr> <tr> <td>北上地区 1校：24台</td> <td>北上地区 1校：8台</td> <td>北上地区 1校：6台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H30年度、R2年度については以前に更新したりリース料金等の支払いのみ。 ※教育用コンピューター…P C室用P C、教材作成用P C、普通教室/特別教室用P C</p>							整備年度	整備内容			教育用コンピューター	電子黒板	タブレット（学習者用）	H26	石巻地区 8校：185台	石巻地区 8校：25台	石巻地区 8校：52台	H27	石巻地区 8校：232台	石巻地区 8校：40台	石巻地区 8校：56台	H28	河北地区 3校：66台	河北地区 3校：9台	河北地区 3校：21台	桃生地区 3校：61台	桃生地区 3校：9台	桃生地区 3校：21台	H29	河南地区 6校：127台	河南地区 6校：21台	河南地区 6校：42台	牡鹿地区 3校：32台	牡鹿地区 3校：6台	牡鹿地区 3校：13台	R1	雄勝地区 1校：9台	雄勝地区 1校：4台	雄勝地区 1校：6台	北上地区 1校：24台	北上地区 1校：8台	北上地区 1校：6台
整備年度	整備内容																																											
	教育用コンピューター	電子黒板	タブレット（学習者用）																																									
H26	石巻地区 8校：185台	石巻地区 8校：25台	石巻地区 8校：52台																																									
H27	石巻地区 8校：232台	石巻地区 8校：40台	石巻地区 8校：56台																																									
H28	河北地区 3校：66台	河北地区 3校：9台	河北地区 3校：21台																																									
	桃生地区 3校：61台	桃生地区 3校：9台	桃生地区 3校：21台																																									
H29	河南地区 6校：127台	河南地区 6校：21台	河南地区 6校：42台																																									
	牡鹿地区 3校：32台	牡鹿地区 3校：6台	牡鹿地区 3校：13台																																									
R1	雄勝地区 1校：9台	雄勝地区 1校：4台	雄勝地区 1校：6台																																									
	北上地区 1校：24台	北上地区 1校：8台	北上地区 1校：6台																																									
成 果		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。</li> <li>情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。</li> <li>各教科等においてデジタルコンテンツを活用することにより、分かりやすい授業が実現できた。</li> </ul>																																										
成果に係る評価		電子黒板等の整備台数を増やしたことにより、多くの教員が指導者用デジタルコンテンツを活用する機会が増え、ICT活用能力の向上が図られた。令和2年度にG I G Aスクール構想推進事業で児童一人ひとりにタブレットを整備しており、今後は当該タブレットと一体的に使用できる周辺機器の整備を進める必要があるため、事業を継続する必要がある。																																										
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	61,281,819	61,261,200				61,261,200																																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																					
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																					
実施計画掲載ページ		P 25	中 事 業	小学校教育振興助費																								
事業コード	002-001-003-00222	事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）																									
目的及び事業内容	<p>経済的な事情により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者の経済的な負担を軽減し、児童の就学の機会を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費の助成</li> <li>・特別支援教育就学奨励費の助成</li> </ul>																											
取組実績	<p>1 就学援助費 小学校：認定者数 940名 / 児童数 6,318名 (14.88%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>11,691,145 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>1,228,360 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>294,933 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>1,276,500 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>4,646,460 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>2,232,998 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>37,107,960 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>592,920 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>59,071,276 円</td></tr> </table>								学用品費	11,691,145 円	校外活動費（宿泊なし）	1,228,360 円	校外活動費（宿泊あり）	294,933 円	通学費	0 円	新入学学用品費	1,276,500 円	新入学準備金	4,646,460 円	修学旅行費	2,232,998 円	給食費	37,107,960 円	医療費	592,920 円	計	59,071,276 円
	学用品費	11,691,145 円																										
校外活動費（宿泊なし）	1,228,360 円																											
校外活動費（宿泊あり）	294,933 円																											
通学費	0 円																											
新入学学用品費	1,276,500 円																											
新入学準備金	4,646,460 円																											
修学旅行費	2,232,998 円																											
給食費	37,107,960 円																											
医療費	592,920 円																											
計	59,071,276 円																											
<p>2 特別支援教育就学奨励費 小学校：認定者数 119名 / 児童数 6,318名 (1.88%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>339,015 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>22,789 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>15,665 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>289,687 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>229,995 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>58,728 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>1,394,262 円</td></tr> <tr><td>交流学习交通費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>通級指導教室通学費</td><td>63,633 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,413,774 円</td></tr> </table>								学用品費	339,015 円	校外活動費（宿泊なし）	22,789 円	校外活動費（宿泊あり）	15,665 円	通学費	289,687 円	新入学学用品費	229,995 円	修学旅行費	58,728 円	給食費	1,394,262 円	交流学习交通費	0 円	通級指導教室通学費	63,633 円	計	2,413,774 円	
学用品費	339,015 円																											
校外活動費（宿泊なし）	22,789 円																											
校外活動費（宿泊あり）	15,665 円																											
通学費	289,687 円																											
新入学学用品費	229,995 円																											
修学旅行費	58,728 円																											
給食費	1,394,262 円																											
交流学习交通費	0 円																											
通級指導教室通学費	63,633 円																											
計	2,413,774 円																											
成 果	<p>経済的な事情により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。</p> <p>なお、平成29年度から実施している新入学準備金については、91名の児童の保護者に助成を行い、就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。</p> <p>また、給食費については、臨時休業期間中において相当額の助成を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。</p>																											
成果に係る評価	<p>経済的な事情により就学が困難な児童や特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての児童の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。</p>																											
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	63,338,000	61,485,050	1,434,000				60,051,050																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																																											
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																											
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																											
実施計画掲載ページ		P 27	中 事 業	小学校図書整備事業費																																														
事業コード	002-001-003-00239	事 業 名	学校図書整備事業（小学校）																																															
目的及び事業内容	<p>文部科学省は、更なる学校図書館の整備充実のため、平成29年度から令和3年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備等5か年計画」として策定し、蔵書の計画的な更新を図ることとした。学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人形形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小学校の学校図書を整備するもの。</p>																																																	
取組実績	<p>市内全ての小学校において、図書の新規購入及び保有冊数に応じた蔵書の計画的な更新を図り、充足率の向上に努めた。</p> <p>令和2年度においては、前年度と比較して整備冊数は減ったものの、児童の読書活動や学びを支援する図書など優良な図書を購入することができた。</p> <p>&lt;小学校図書の整備冊数&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>15,692冊</td> <td>24,499冊</td> <td>22,154冊</td> <td>19,722冊</td> <td>18,436冊</td> </tr> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>								H28	H29	H30	R1	R2	15,692冊	24,499冊	22,154冊	19,722冊	18,436冊																																
	H28	H29	H30	R1	R2																																													
15,692冊	24,499冊	22,154冊	19,722冊	18,436冊																																														
成 果	<p>学校図書館図書標準に対する充足率が未達成となった学校があったが、学校図書の整備充実に向けたことにより、各学校の児童の発達段階に応じたさまざまな図書の整備ができ、読書活動や学習活動に積極的に活用され、児童が読書に親しみ、生活に必要な国語の理解や能力が養われた。</p> <p>&lt;小学校図書充足率達成状況&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>達成率</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>16校</td> <td>26校</td> <td>28校</td> <td>31校</td> <td>30校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>17校</td> <td>6校</td> <td>5校</td> <td>2校</td> <td>3校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>2校</td> <td>2校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>35校</td> <td>34校</td> <td>33校</td> <td>33校</td> <td>33校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合（A/B）</td> <td>45.71%</td> <td>76.47%</td> <td>84.84%</td> <td>93.94%</td> <td>90.91%</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※各年度末時点</p> <p>◎学校図書館図書標準に対する充足率について 平成5年に文科省で定めた公立の義務教育諸学校において学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。</p>								達成率	H28	H29	H30	R1	R2	100%以上（A）	16校	26校	28校	31校	30校	75%以上-100%未満	17校	6校	5校	2校	3校	50%以上-75%未満	2校	2校	0校	0校	0校	50%未満	0校	0校	0校	0校	0校	合計(B)	35校	34校	33校	33校	33校	100%以上達成校の割合（A/B）	45.71%	76.47%	84.84%	93.94%	90.91%
達成率	H28	H29	H30	R1	R2																																													
100%以上（A）	16校	26校	28校	31校	30校																																													
75%以上-100%未満	17校	6校	5校	2校	3校																																													
50%以上-75%未満	2校	2校	0校	0校	0校																																													
50%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																													
合計(B)	35校	34校	33校	33校	33校																																													
100%以上達成校の割合（A/B）	45.71%	76.47%	84.84%	93.94%	90.91%																																													
成果に係る評価	<p>令和2年度は3校が充足率100%に満たなかったが、これは破損したり、老朽化した図書を整理したためである。</p> <p>ほとんどの学校が、長期間廃棄を行っておらず、蔵書のうち3~4割が更新の必要な図書（平成29年度石巻市立小中学校調査結果）であると見込まれることから、今後も老朽化した図書や古い内容の図書について継続的・計画的に更新し、児童が興味を持ち、良質な知識を得られるよう学校図書の一層の充実を図っていきたい。</p>																																																	
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	22,500,000	22,433,479				20,242,000	2,191,479																																											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																																																						
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																																						
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																																						
実施計画掲載ページ		P28	中 事 業	小学校施設老朽化対策事業費																																																									
事業コード		002-001-003-01027	事 業 名	小学校校舎老朽化対策事業																																																									
目的及び事業内容		老朽化が著しく進行している学校施設について屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。																																																											
取組実績		<p>老朽化が著しく進行している小学校3校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。</p> <p>1 実施校 (1) 工事 稲井小学校、鹿妻小学校（令和元年度からの繰越事業） 釜小学校（令和3年度へ繰越）</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">費目</th> <th colspan="2">R2予算額</th> <th colspan="2">現年度分</th> <th colspan="2">R2事業費</th> <th colspan="2">R3繰越</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>21,600,000</td> <td>14,500,000</td> <td>7,100,000</td> <td>11,550,000</td> <td>0</td> <td>6,600,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>732,040,000</td> <td>285,040,000</td> <td>447,000,000</td> <td>403,717,700</td> <td>251,457,700</td> <td>152,260,000</td> <td>294,740,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>753,690,000</td> <td>299,540,000</td> <td>454,150,000</td> <td>415,317,700</td> <td>263,007,700</td> <td>152,310,000</td> <td>301,340,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							費目	R2予算額		現年度分		R2事業費		R3繰越		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	消耗品費	50,000	0	50,000	50,000	0	50,000			監理	21,600,000	14,500,000	7,100,000	11,550,000	0	6,600,000			工事	732,040,000	285,040,000	447,000,000	403,717,700	251,457,700	152,260,000	294,740,000		計	753,690,000	299,540,000	454,150,000	415,317,700	263,007,700	152,310,000	301,340,000	
費目	R2予算額		現年度分		R2事業費		R3繰越																																																						
	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																																					
消耗品費	50,000	0	50,000	50,000	0	50,000																																																							
監理	21,600,000	14,500,000	7,100,000	11,550,000	0	6,600,000																																																							
工事	732,040,000	285,040,000	447,000,000	403,717,700	251,457,700	152,260,000	294,740,000																																																						
計	753,690,000	299,540,000	454,150,000	415,317,700	263,007,700	152,310,000	301,340,000																																																						
成 果		老朽化が著しく進行している小学校3校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。釜小学校については、工事作業期間の確保に時間を要したこと等により、工期がやむを得ず延長となったが、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。																																																											
成果に係る評価		令和2年度は小学校3校の工事を実施したことで、施設の延命化を図るとともに児童の教育環境の改善が図られた。 市内の学校施設は老朽化が進んでいるが、今後は、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、計画的に事業を継続していく。																																																											
予算の執行状況		(単位：円)																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
	753,690,000	415,317,700	104,528,000	295,100,000		15,689,700																																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																													
	2 項	小学校費		第 節			(1)	未来の人を育てる																													
	4 目	東日本大震災関係費		( )			(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																													
実施計画掲載ページ		P205	中 事 業	被災児童通学支援事業費																																	
事業コード		004-101-001-00480	事 業 名	通学支援事業（小学校）																																	
目的及び事業内容		東日本大震災により学校が被災したため、代替え校への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として、対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・代替え校スクールバスの運行 ・仮設住宅スクールバス等の運行 ・通学路安全対策スクールバス等の運行																																			
取組実績		<p>東日本大震災により、学校が被災したため代替え校への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として、対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施していたが、令和2年度は通学路の危険箇所の安全対策として、2校へ通学支援を実施した。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>延べ学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替え校スクールバス</td> <td>0 校</td> <td>0 人</td> <td>0 円 ※R1年度で終了</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス等</td> <td>0 校</td> <td>0 人</td> <td>0 円 ※H30年度で終了</td> </tr> <tr> <td>通学路安全対策バス等</td> <td>2 校</td> <td>42 人</td> <td>17,054,910 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2 校</td> <td>42 人</td> <td>17,054,910 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(支援状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>万石浦小学校</td> <td>通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>湊小学校</td> <td>通学路安全対策のためスクールバス運行</td> <td>41 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※代替え校スクールバス（R1参考） 北上小学校 ※仮設住宅スクールバス等利用児童在籍校（H30参考） 中里小学校、二俣小学校、雄勝小学校、北上小学校</p>							区分	延べ学校数	対象人数	金額	代替え校スクールバス	0 校	0 人	0 円 ※R1年度で終了	仮設住宅スクールバス等	0 校	0 人	0 円 ※H30年度で終了	通学路安全対策バス等	2 校	42 人	17,054,910 円	計	2 校	42 人	17,054,910 円	学校名	状 況	人数	万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行	1 人	湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行	41 人
区分	延べ学校数	対象人数	金額																																		
代替え校スクールバス	0 校	0 人	0 円 ※R1年度で終了																																		
仮設住宅スクールバス等	0 校	0 人	0 円 ※H30年度で終了																																		
通学路安全対策バス等	2 校	42 人	17,054,910 円																																		
計	2 校	42 人	17,054,910 円																																		
学校名	状 況	人数																																			
万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行	1 人																																			
湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行	41 人																																			
成 果		東日本大震災により学校が被災したため、通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、利用状況に応じたスクールバス等の運行による通学支援を実施したことにより、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。																																			
成果に係る評価		東日本大震災により通学支援が必要となった児童の安全・安心を図るために、継続が求められる事業であるが、通学路の復旧状況を見極め継続するか判断していく。 なお、湊小学校については、通学路が復旧したことにより、令和3年7月31日でスクールバスの運行を終了する予定である。																																			
予算の執行状況		(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	18,730,000	17,054,910	9,742,000			7,312,910																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																				
	2 項	小学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																				
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																				
実施計画掲載ページ		P205	中 事 業	被災児童就学支援事業費																							
事業コード		004-101-001-00481	事 業 名	就学援助事業（小学校）																							
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった児童の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、児童の就学の機会を確保する。（支給対象者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯</li> <li>・世帯収入が著しく減少した世帯</li> <li>・原子力発電所の事故により避難してきた世帯</li> </ul>																									
取組実績		<p>1 就学援助費 小学校：認定者数 1,164名 / 児童数 6,318名 (18.42%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>15,696,990 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>1,930,823 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>511,161 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>2,655,120 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>5,667,660 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>2,842,753 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>57,565,195 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>9,230 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>86,878,932 円</td></tr> </table>						学用品費	15,696,990 円	校外活動費(宿泊なし)	1,930,823 円	校外活動費(宿泊あり)	511,161 円	通学費	0 円	新入学学用品費	2,655,120 円	新入学準備金	5,667,660 円	修学旅行費	2,842,753 円	給食費	57,565,195 円	医療費	9,230 円	計	86,878,932 円
学用品費	15,696,990 円																										
校外活動費(宿泊なし)	1,930,823 円																										
校外活動費(宿泊あり)	511,161 円																										
通学費	0 円																										
新入学学用品費	2,655,120 円																										
新入学準備金	5,667,660 円																										
修学旅行費	2,842,753 円																										
給食費	57,565,195 円																										
医療費	9,230 円																										
計	86,878,932 円																										
成 果		<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった児童の保護者に対して就学援助費を支給することにより、経済的な負担を軽減することができた。</p> <p>平成29年度から実施している新入学準備金については、111名の児童の保護者に助成を行い、就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。</p> <p>被災者の再建状況を踏まえ、被災児童就学援助費の認定基準について検討し、平成30年度より認定基準に所得要件を加え、令和2年度からは一般の就学援助と同等の所得要件とし、均等な教育機会の提供ができるよう見直しを行った。</p>																									
成果に係る評価		<p>東日本大震災により被災し、就学が困難な児童の就学機会を確保するため、これまで被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金及び被災児童生徒就学支援等事業交付金として支援を行ってきた。</p> <p>令和3年度以降の交付金については、交付対象地域を全国から被災3県に地域を限定し、継続される見通しとなったことから、財源確保について関係機関と調整しながら支援を継続していく必要がある。</p> <p>なお、昨年度まで被災で認定を受けていた児童の一部が一般での認定となった影響もあり、認定者数が△454名、28%の減となった。</p>																									
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	91,774,000	86,878,932	83,779,256				3,099,676																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	( )	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち														
	3 項	中学校費		第 1 節		( )	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する														
	1 目	学校管理費		( 3 )		( )	充実した教育を行える環境をつくる														
実施計画掲載ページ		P25	中 事 業	中学校管理費（教育総務課）																	
事業コード		002-001-003-00217	事 業 名	遠距離通学支援事業（中学校）																	
目的及び事業内容		<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等を運行することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等の運行</li> </ul>																			
取組実績		<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等の運行を実施した。</p> <p>スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>R1</td> <td>6校</td> <td>68人</td> <td>54,360,010 円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>6校</td> <td>58人</td> <td>59,987,363 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス等対象校（R2） 荻浜中学校、万石浦中学校、河北中学校、雄勝中学校、北上中学校、牡鹿中学校</p>						区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	R1	6校	68人	54,360,010 円	R2	6校	58人	59,987,363 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																	
スクールバス等	R1	6校	68人	54,360,010 円																	
	R2	6校	58人	59,987,363 円																	
成 果		<p>学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった生徒のため、スクールバス等の運行を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減が図られた。</p>																			
成果に係る評価		<p>通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる生徒の安全・安心の確保を図るため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適正な通学支援を実施することが必要である。</p> <p>なお、令和2年度については、牡鹿中学校の生徒2名が網地島から登校するため、スクールボートの運行を開始した。</p>																			
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	63,349,000	59,987,363	3,162,000				56,825,363														



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																				
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																				
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																				
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業	中学校保健費																							
事業コード	002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名	健康診断・検査等実施事業（中学校） 学校医・薬剤師配置事業（中学校）																								
目的及び事業内容	<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医の配置</li> <li>・学校薬剤師の配置</li> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																										
取組実績	<p>1 学校医の配置 中学校19校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校医の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>17 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>4 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>19 人</td> </tr> </table>								内 科 医	17 人	耳 鼻 科 医	5 人	眼 科 医	4 人	歯 科 医	19 人											
	内 科 医	17 人	耳 鼻 科 医	5 人																							
	眼 科 医	4 人	歯 科 医	19 人																							
	<p>2 学校薬剤師の配置 中学校19校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校薬剤師の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>18 人</td> </tr> </table>								薬 剤 師	18 人																	
薬 剤 師	18 人																										
<p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>1年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td>貧血・脂質検査</td> <td>2年生</td> </tr> </tbody> </table>								項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生	耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年	貧血・脂質検査	2年生
項目	学年	項目	学年																								
内科健診	全学年	結核検診	全学年																								
眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生																								
耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年																								
歯科健診	全学年	貧血・脂質検査	2年生																								
<p>4 飲料水水質検査の実施 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>																											
成 果	<p>各健康診断・検査を行い、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <table border="1"> <tr> <td>・定期健康診断</td> <td>中学生</td> <td>3,316人</td> </tr> <tr> <td>・心臓病検診</td> <td>1年生</td> <td>1,118人</td> </tr> <tr> <td>・飲料水水質検査</td> <td>中学校</td> <td>19校</td> </tr> </table>								・定期健康診断	中学生	3,316人	・心臓病検診	1年生	1,118人	・飲料水水質検査	中学校	19校										
・定期健康診断	中学生	3,316人																									
・心臓病検診	1年生	1,118人																									
・飲料水水質検査	中学校	19校																									
成果に係る評価	<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、生徒に対して的確な疾病等の予防指導を行っていく上で重要である。今後も学校医、学校、保護者等相互の連携を密にし、生徒の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。 なお、定期健康診断については、学校保健安全法施行規則により、毎学年6月30日までにを行うこととされているが、令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で4月～5月が臨時休業としたため、実施体制が整わず6月30日までに実施できなかったが、12月末までには全校で実施することができた。</p>																										
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	22,465,000	21,504,382	324,000			21,180,382																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																												
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																												
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )																												
実施計画掲載ページ		P28	中 事 業	中学校教育用コンピューター関係費																															
事業コード	002-001-003-00240	事 業 名	情報教育環境整備事業（中学校）																																
目的及び事業内容	<p>国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。 市内中学校の教育用コンピューター、タブレット及び周辺機器を更新する。</p>																																		
取組実績	<p>中学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">整備年度</th> <th colspan="3">整備内容</th> </tr> <tr> <th>教育用コンピューター</th> <th>電子黒板</th> <th>タブレット（指導者用）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>石巻地区 2校： 55台</td> <td>石巻地区 2校： 6台</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>河北地区 2校： 71台 桃生地区 1校： 39台</td> <td>河北地区 2校： 9台 桃生地区 1校： 6台</td> <td>河北地区 2校： 9台 桃生地区 1校： 6台</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>河南地区 2校： 82台 牡鹿地区 1校： 19台</td> <td>河南地区 2校： 15台 牡鹿地区 1校： 3台</td> <td>河南地区 2校： 15台 牡鹿地区 1校： 3台</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>石巻地区 7校： 278台</td> <td>石巻地区 7校： 68台</td> <td>石巻地区 7校： 68台</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>石巻地区 2校： 88台 雄勝地区 2校： 12台 北上地区 1校： 24台</td> <td>石巻地区 2校： 22台 雄勝地区 1校： 4台 北上地区 1校： 5台</td> <td>石巻地区 2校： 82台 雄勝地区 1校： 8台 北上地区 1校： 21台</td> </tr> </tbody> </table>								整備年度	整備内容			教育用コンピューター	電子黒板	タブレット（指導者用）	H26	石巻地区 2校： 55台	石巻地区 2校： 6台	—	H28	河北地区 2校： 71台 桃生地区 1校： 39台	河北地区 2校： 9台 桃生地区 1校： 6台	河北地区 2校： 9台 桃生地区 1校： 6台	H29	河南地区 2校： 82台 牡鹿地区 1校： 19台	河南地区 2校： 15台 牡鹿地区 1校： 3台	河南地区 2校： 15台 牡鹿地区 1校： 3台	H30	石巻地区 7校： 278台	石巻地区 7校： 68台	石巻地区 7校： 68台	R01	石巻地区 2校： 88台 雄勝地区 2校： 12台 北上地区 1校： 24台	石巻地区 2校： 22台 雄勝地区 1校： 4台 北上地区 1校： 5台	石巻地区 2校： 82台 雄勝地区 1校： 8台 北上地区 1校： 21台
	整備年度	整備内容																																	
教育用コンピューター		電子黒板	タブレット（指導者用）																																
H26	石巻地区 2校： 55台	石巻地区 2校： 6台	—																																
H28	河北地区 2校： 71台 桃生地区 1校： 39台	河北地区 2校： 9台 桃生地区 1校： 6台	河北地区 2校： 9台 桃生地区 1校： 6台																																
H29	河南地区 2校： 82台 牡鹿地区 1校： 19台	河南地区 2校： 15台 牡鹿地区 1校： 3台	河南地区 2校： 15台 牡鹿地区 1校： 3台																																
H30	石巻地区 7校： 278台	石巻地区 7校： 68台	石巻地区 7校： 68台																																
R01	石巻地区 2校： 88台 雄勝地区 2校： 12台 北上地区 1校： 24台	石巻地区 2校： 22台 雄勝地区 1校： 4台 北上地区 1校： 5台	石巻地区 2校： 82台 雄勝地区 1校： 8台 北上地区 1校： 21台																																
<p>※H27年度、R2年度については以前に更新したリース料金等の支払いのみ。 ※教育用コンピューター…PC室用PC、教材作成用PC、普通教室/特別教室用PC</p>																																			
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。</li> <li>・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。</li> <li>・各教科等においてデジタルコンテンツを活用することにより、分かりやすい授業が実現できた。</li> </ul>																																		
成果に係る評価	<p>電子黒板等の整備台数を増やしたことにより、多くの教員が指導者用デジタルコンテンツを活用する機会が増え、ICT活用能力の向上が図られた。令和2年度にGIGAスクール構想推進事業で生徒一人ひとりにタブレットを整備しており、今後は当該タブレットと一体的に使用できる周辺機器の整備を進める必要があるため、事業を継続する必要がある。</p>																																		
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	55,300,000	55,292,160				55,292,160																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )																					
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																					
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																					
実施計画掲載ページ		P 25	中 事 業	中学校教育振興助費																								
事業コード	002-001-003-00222	事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）																									
目的及び事業内容	<p>経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者の経済的な負担を軽減し、生徒の就学の機会を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費の助成</li> <li>・特別支援教育就学奨励費の助成</li> </ul>																											
取組実績	<p>1 就学援助費 中学校：認定者数 451名 / 生徒数 3,323名 (13.57%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>10,314,870 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>150,734 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>134,810 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>1,680,000 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>8,340,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>4,079,239 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>24,475,755 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>401,130 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>49,576,538 円</td></tr> </table>								学用品費	10,314,870 円	校外活動費（宿泊なし）	150,734 円	校外活動費（宿泊あり）	134,810 円	通学費	0 円	新入学学用品費	1,680,000 円	新入学準備金	8,340,000 円	修学旅行費	4,079,239 円	給食費	24,475,755 円	医療費	401,130 円	計	49,576,538 円
	学用品費	10,314,870 円																										
校外活動費（宿泊なし）	150,734 円																											
校外活動費（宿泊あり）	134,810 円																											
通学費	0 円																											
新入学学用品費	1,680,000 円																											
新入学準備金	8,340,000 円																											
修学旅行費	4,079,239 円																											
給食費	24,475,755 円																											
医療費	401,130 円																											
計	49,576,538 円																											
	<p>2 特別支援教育就学奨励費 中学校：認定者数 68名 / 生徒数 3,323名 (2.05%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>409,320 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>5,685 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>5,400 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>471,098 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>463,840 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>127,939 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>957,081 円</td></tr> <tr><td>交流学習交通費</td><td>298,700 円</td></tr> <tr><td>職場実習交通費</td><td>6,059,100 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>8,798,163 円</td></tr> </table>								学用品費	409,320 円	校外活動費（宿泊なし）	5,685 円	校外活動費（宿泊あり）	5,400 円	通学費	471,098 円	新入学学用品費	463,840 円	修学旅行費	127,939 円	給食費	957,081 円	交流学習交通費	298,700 円	職場実習交通費	6,059,100 円	計	8,798,163 円
学用品費	409,320 円																											
校外活動費（宿泊なし）	5,685 円																											
校外活動費（宿泊あり）	5,400 円																											
通学費	471,098 円																											
新入学学用品費	463,840 円																											
修学旅行費	127,939 円																											
給食費	957,081 円																											
交流学習交通費	298,700 円																											
職場実習交通費	6,059,100 円																											
計	8,798,163 円																											
成 果	<p>経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。</p> <p>なお、平成29年度から実施している新入学準備金については、139名の生徒の保護者に助成を行い、就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。</p> <p>また、給食費については、臨時休業期間中において相当額の助成を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。</p>																											
成果に係る評価	<p>経済的な事情により就学が困難な生徒や特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての生徒の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。</p>																											
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	60,924,000	58,374,701	3,658,000				54,716,701																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )																																											
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																											
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																											
実施計画掲載ページ		P 27	中 事 業	中学校図書整備事業費																																														
事業コード	002-001-003-00239	事 業 名	学校図書整備事業（中学校）																																															
目的及び事業内容	<p>文部科学省は、更なる学校図書館の整備充実のため、平成29年度から令和3年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備等5か年計画」として策定し、蔵書の計画的な更新を図ることとした。学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人形形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																																	
取組実績	<p>市内全ての中学校において、図書の新規購入及び保有冊数に応じた蔵書の計画的な更新を図り、充足率の向上に努めた。</p> <p>令和2年度においては、前年度と比較して整備冊数は減ったものの、生徒の読書活動や学習活動に役立つ質の高い図書を購入することができた。</p> <p>&lt;中学校図書の整備冊数&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>9,523冊</td> <td>9,056冊</td> <td>11,950冊</td> <td>19,821冊</td> <td>10,007冊</td> </tr> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>								H28	H29	H30	R1	R2	9,523冊	9,056冊	11,950冊	19,821冊	10,007冊																																
	H28	H29	H30	R1	R2																																													
9,523冊	9,056冊	11,950冊	19,821冊	10,007冊																																														
成 果	<p>各学校で読書活動及び学習活動に役立つ図書の購入ができ、すべての中学校において、学校図書館図書標準に対する充足率を達成することができた。</p> <p>整備した図書で、読書活動や学習活動に積極的に活用され、知識の幅が広がり、学びが深まった。</p> <p>&lt;中学校図書充足率達成状況&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>達成率</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>6校</td> <td>7校</td> <td>11校</td> <td>16校</td> <td>19校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>7校</td> <td>7校</td> <td>8校</td> <td>3校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>6校</td> <td>5校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>20校</td> <td>19校</td> <td>19校</td> <td>19校</td> <td>19校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合（A/B）</td> <td>30.00%</td> <td>36.84%</td> <td>57.89%</td> <td>84.21%</td> <td>100.00%</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※各年度末時点</p> <p>◎学校図書館図書標準に対する充足率について 平成5年に文科省で定めた公立の義務教育諸学校において学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。</p>								達成率	H28	H29	H30	R1	R2	100%以上（A）	6校	7校	11校	16校	19校	75%以上-100%未満	7校	7校	8校	3校	0校	50%以上-75%未満	6校	5校	0校	0校	0校	50%未満	1校	0校	0校	0校	0校	合計(B)	20校	19校	19校	19校	19校	100%以上達成校の割合（A/B）	30.00%	36.84%	57.89%	84.21%	100.00%
達成率	H28	H29	H30	R1	R2																																													
100%以上（A）	6校	7校	11校	16校	19校																																													
75%以上-100%未満	7校	7校	8校	3校	0校																																													
50%以上-75%未満	6校	5校	0校	0校	0校																																													
50%未満	1校	0校	0校	0校	0校																																													
合計(B)	20校	19校	19校	19校	19校																																													
100%以上達成校の割合（A/B）	30.00%	36.84%	57.89%	84.21%	100.00%																																													
成果に係る評価	<p>令和2年度末にすべての学校が充足率100%を達成できた。</p> <p>ほとんどの学校が、長期間廃棄を行っておらず、蔵書のうち3~4割が更新の必要な図書（平成29年度石巻市立小中学校調査結果）であると見込まれることから、今後も老朽化した図書や古い内容の図書について継続的・計画的に更新し、生徒にとって正しい情報や資料に触れられるよう学校図書の一層の充実を図っていきたい。</p>																																																	
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	16,300,000	16,223,204				15,000,000	1,223,204																																											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )								
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )								
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )								
実施計画掲載ページ		P 29		中 事 業	中学校施設老朽化対策事業費										
事業コード		002-001-003-001028		事 業 名	中学校校舎老朽化対策事業										
目的及び事業内容															
老朽化が著しく進行している学校施設について屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。															
取組実績															
老朽化が著しく進行している中学校2校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。															
1 実施校															
(1) 工事 北上中学校（令和元年度からの繰越事業）、山下中学校（令和3年度へ繰越）															
2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)															
		R2予算額		繰越分		現年度分		R2事業費		繰越分		現年度分		R3繰越	
費目		R2予算額		繰越分		現年度分		R2事業費		繰越分		現年度分		R3繰越	
消耗品費		50,000		0		50,000		50,000		0		50,000		0	
監理		16,400,000		6,500,000		9,900,000		5,720,000		5,720,000		0		9,900,000	
工事		436,731,000		109,220,000		327,511,000		232,305,200		100,785,200		131,520,000		195,991,000	
計		453,181,000		115,720,000		337,461,000		238,075,200		106,505,200		131,570,000		205,891,000	
成 果															
老朽化が著しく進行している中学校2校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。															
山下中学校については、外壁補修箇所が想定以上に多く、改修期間が延びたことにより、工期がやむを得ず延長となったが、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。															
成果に係る評価															
令和2年度は中学校2校の工事を実施したことで、施設の延命化を図るとともに生徒の教育環境の改善が図られた。															
市内の学校施設は老朽化が進んでいるが、今後は、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、計画的に事業を継続していく。															
(単位：円)															
予算の執行状況		予算額		決算額		決算額の財源内訳									
						国(県)支出金		地方債		その他		一般財源			
		453,181,000		238,075,200		25,649,000		89,700,000				122,726,200			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる					
	3 項	中学校費		第 節			( 1 )	未来の人を育てる					
	4 目	東日本大震災関係費		( )			( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興					
実施計画掲載ページ		P 205		中 事 業	被災生徒通学支援事業費								
事業コード		004-101-001-00480		事 業 名	通学支援事業（中学校）								
目的及び事業内容													
東日本大震災により学校が被災したため、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として、対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。													
・仮設住宅スクールバス等の運行 ・通学路安全対策スクールバスの運行													
取組実績													
東日本大震災により、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として、対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施していたが、令和2年度は通学路の危険箇所の安全対策として、2校へ通学支援を実施した。													
(支援実績)													
		延べ学校数		対象人数		金 額							
仮設住宅スクールバス等		0 校		0 人		0 円		※H30年度終了					
通学路安全対策バス		1 校		28 人		19,750,016 円							
計		1 校		28 人		19,750,016 円							
(支援状況)													
通学路安全対策バス													
学校名		状 況											
湊中学校		通学路安全対策のためスクールバス運行											
※仮設住宅スクールバス等利用生徒在籍校（H30参考）													
湊中学校、雄勝中学校、北上中学校													
成 果													
東日本大震災により被災した通学路の危険箇所の安全対策として、対象となる地区から通学する生徒に対し、利用状況に応じたスクールバスの運行による通学支援を実施したことにより、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。													
成果に係る評価													
東日本大震災により通学支援が必要となった生徒の安全・安心を図るために、継続が求められる事業であるが、通学路の復旧状況を見極め継続するか判断していく。													
なお、湊中学校については、通学路が復旧したことにより、令和3年7月31日でスクールバスを終了する予定である。													
(単位：円)													
予算の執行状況		予算額		決算額		決算額の財源内訳							
						国(県)支出金		地方債		その他		一般財源	
		20,629,000		19,750,016		9,978,000						9,772,016	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																				
	3 項	中学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																				
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																				
実施計画掲載ページ		P205	中 事 業	被災生徒就学支援事業費																							
事業コード		004-101-001-00481	事 業 名	就学援助事業（中学校）																							
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった生徒の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、生徒の就学の機会を確保する。（支給対象者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯</li> <li>・世帯収入が著しく減少した世帯</li> <li>・原子力発電所の事故により避難してきた世帯</li> </ul>																									
取組実績		<p>1 就学援助費 中学校：認定者数 615名 / 生徒数 3,323名 (18.51%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>14,895,990 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>197,611 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>247,946 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>2,640,000 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>9,060,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>5,267,254 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>34,782,279 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>2,090 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>67,093,170 円</td></tr> </table>						学用品費	14,895,990 円	校外活動費(宿泊なし)	197,611 円	校外活動費(宿泊あり)	247,946 円	通学費	0 円	新入学学用品費	2,640,000 円	新入学準備金	9,060,000 円	修学旅行費	5,267,254 円	給食費	34,782,279 円	医療費	2,090 円	計	67,093,170 円
学用品費	14,895,990 円																										
校外活動費(宿泊なし)	197,611 円																										
校外活動費(宿泊あり)	247,946 円																										
通学費	0 円																										
新入学学用品費	2,640,000 円																										
新入学準備金	9,060,000 円																										
修学旅行費	5,267,254 円																										
給食費	34,782,279 円																										
医療費	2,090 円																										
計	67,093,170 円																										
成 果		<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった生徒の保護者に対して就学援助費を支給することにより、経済的な負担を軽減することができた。</p> <p>平成29年度から実施している新入学準備金については、151名の生徒の保護者に助成を行い、就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。</p> <p>被災者の再建状況を踏まえ、被災生徒就学援助費の認定基準について検討し、平成30年度より認定基準に所得要件を加え、令和2年度からは一般の就学援助と同等の所得要件とし、均等な教育機会の提供ができるよう見直しを行った。</p>																									
成果に係る評価		<p>東日本大震災により被災し、就学が困難な生徒の就学機会を確保するため、これまで被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金及び被災児童生徒就学支援等事業交付金として支援を行ってきた。</p> <p>令和3年度以降の交付金については、交付対象地域を全国から被災3県に地域を限定し、継続される見通しとなったことから、財源確保について関係機関と調整しながら支援を継続していく必要がある。</p> <p>なお、昨年度まで被災で認定を受けていた生徒の一部が一般での認定となった影響もあり、認定者数が△288名、32%の減となった。</p>																									
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	73,373,000	67,093,170	61,824,509			5,268,661																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	( )																													
	4 項	高等学校費		第 1 節		( )																													
	1 目	学校管理費		( 2 )		( )																													
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業	高等学校保健費																															
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名	健康診断・検査等実施事業（高等学校） 学校医・薬剤師配置事業（高等学校）																															
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、桜坂高等学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医の配置</li> <li>・学校薬剤師の配置</li> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																																	
取組実績		<p>1 学校医の配置 桜坂高等学校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校医の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr><td>内 科 医</td><td>1 人</td><td>耳 鼻 科 医</td><td>1 人</td></tr> <tr><td>眼 科 医</td><td>1 人</td><td>歯 科 医</td><td>2 人</td></tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 桜坂高等学校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校薬剤師の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr><td>薬 剤 師</td><td>1 人</td></tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th>学年</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科健診</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>眼科健診</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>耳鼻科健診</td><td>1年生</td></tr> <tr><td>歯科健診</td><td>全学年</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th>学年</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>結核検診</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>心臓病検診</td><td>1年生</td></tr> <tr><td>尿検査</td><td>全学年</td></tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 桜坂高等学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>						内 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	1 人	眼 科 医	1 人	歯 科 医	2 人	薬 剤 師	1 人	項目	学年	内科健診	全学年	眼科健診	全学年	耳鼻科健診	1年生	歯科健診	全学年	項目	学年	結核検診	全学年	心臓病検診	1年生	尿検査	全学年
内 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	1 人																																
眼 科 医	1 人	歯 科 医	2 人																																
薬 剤 師	1 人																																		
項目	学年																																		
内科健診	全学年																																		
眼科健診	全学年																																		
耳鼻科健診	1年生																																		
歯科健診	全学年																																		
項目	学年																																		
結核検診	全学年																																		
心臓病検診	1年生																																		
尿検査	全学年																																		
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、保護者、桜坂高等学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断 全学年 430人</li> <li>・心臓病検診 1年生 133人</li> <li>・飲料水水質検査 高等学校 1校</li> </ul>																																	
成果に係る評価		<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、生徒に対して的確な疾病等の予防指導を行っていく上で重要である。今後も学校医、学校、保護者等相互の連携を密にし、生徒の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。</p> <p>なお、定期健康診断については、学校保健安全法施行規則により、毎学年6月30日までにを行うこととされているが、令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で4月～5月が臨時休業としたため、実施体制が整わず6月30日までに実施できなかったが、10月末までには実施することができた。</p>																																	
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	2,520,000	1,997,668				1,997,668																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																														
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																														
	1 目	学校管理費		( 4 )	魅力ある高等学校教育を推進する		( )																																														
実施計画掲載ページ		P 32	中 事 業	魅力ある学校づくり事業費																																																	
事業コード		002-001-004-01118	事 業 名	桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業																																																	
目的及び事業内容		<p>【事業内容】 生徒の人間力を高め、一人一人の夢を実現させるために、桜坂高校が掲げる「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実践し、必要な事業を実施する。</p> <p>【事業目的】 県内唯一の公立女子高等学校として、特色ある教育活動に取り組むことで、石巻市の未来を担う人材の育成・輩出を目指すとともに、桜坂高校の魅力を広く P R することで募集定員を確保する。</p>																																																			
取組実績		<p>1 各種講座等</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 小笠原流礼法指導</td> <td>全学年</td> <td>各 1 回実施</td> </tr> <tr> <td>(2) 公務員試験講座</td> <td></td> <td>13 回実施</td> </tr> <tr> <td>(3) 進学就職のための各種講座</td> <td>年間</td> <td>11 回実施</td> </tr> <tr> <td>ア 模擬面接</td> <td></td> <td>8 回実施</td> </tr> <tr> <td>イ ビジネスマナー講座</td> <td></td> <td>1 回実施</td> </tr> <tr> <td>ウ 社会人の常識とマナー</td> <td></td> <td>1 回実施</td> </tr> <tr> <td>エ メイクアップ講座</td> <td></td> <td>1 回実施</td> </tr> <tr> <td>(4) 先輩の話を聞く会</td> <td>1、2 年生</td> <td>1 回実施</td> </tr> <tr> <td>(5) 親教育講話</td> <td>3 年生</td> <td>1 回実施</td> </tr> <tr> <td>(6) 桜坂タイム関連講座</td> <td>各学年</td> <td>年間 40 回実施</td> </tr> <tr> <td>ア まちなかポスタープロジェクト</td> <td></td> <td>1 学年 14 回</td> </tr> <tr> <td>イ さくらプロジェクト</td> <td></td> <td>2 学年 13 回</td> </tr> <tr> <td>ウ ミライブラリー</td> <td></td> <td>2 学年 3 回</td> </tr> <tr> <td>エ 市役所プロジェクト</td> <td></td> <td>3 学年 10 回</td> </tr> <tr> <td>(7) 高大連携出前講座</td> <td></td> <td>3 回実施</td> </tr> </table> <p>2 進路ガイダンス参加 オープンキャンパス、夢ナビライブ、就職説明会等(中止) ※例年ハローワーク主催の合同企業説明会が中止となったため、本校独自に合同企業説明会を開催 1 回実施</p> <p>3 石巻専修大学体験授業 施設見学及び模擬授業受講 1 学年 1 日実施</p>							(1) 小笠原流礼法指導	全学年	各 1 回実施	(2) 公務員試験講座		13 回実施	(3) 進学就職のための各種講座	年間	11 回実施	ア 模擬面接		8 回実施	イ ビジネスマナー講座		1 回実施	ウ 社会人の常識とマナー		1 回実施	エ メイクアップ講座		1 回実施	(4) 先輩の話を聞く会	1、2 年生	1 回実施	(5) 親教育講話	3 年生	1 回実施	(6) 桜坂タイム関連講座	各学年	年間 40 回実施	ア まちなかポスタープロジェクト		1 学年 14 回	イ さくらプロジェクト		2 学年 13 回	ウ ミライブラリー		2 学年 3 回	エ 市役所プロジェクト		3 学年 10 回	(7) 高大連携出前講座		3 回実施
(1) 小笠原流礼法指導	全学年	各 1 回実施																																																			
(2) 公務員試験講座		13 回実施																																																			
(3) 進学就職のための各種講座	年間	11 回実施																																																			
ア 模擬面接		8 回実施																																																			
イ ビジネスマナー講座		1 回実施																																																			
ウ 社会人の常識とマナー		1 回実施																																																			
エ メイクアップ講座		1 回実施																																																			
(4) 先輩の話を聞く会	1、2 年生	1 回実施																																																			
(5) 親教育講話	3 年生	1 回実施																																																			
(6) 桜坂タイム関連講座	各学年	年間 40 回実施																																																			
ア まちなかポスタープロジェクト		1 学年 14 回																																																			
イ さくらプロジェクト		2 学年 13 回																																																			
ウ ミライブラリー		2 学年 3 回																																																			
エ 市役所プロジェクト		3 学年 10 回																																																			
(7) 高大連携出前講座		3 回実施																																																			
成 果		<p>1 各種講座等について 生徒の将来の夢の実現のため、各方面から講師を招いて講座等を実施した。特に、礼法指導の基礎を学び、品格教育の充実が図られたことや、公務員を志望する生徒のための公務員試験講座や、コミュニケーション能力を高めるための講座などに加え、地域に貢献できる人材の育成を図るための事業として、総合的な学習の時間において「桜坂タイム」を全学年で実施し、成果をまとめたことは、魅力ある学校づくり事業の推進につながったと言える。</p> <p>2 進路ガイダンスの参加について ハローワーク主催の合同企業説明会が中止となったため、本校独自に開催したところ参加企業からも好評で本校生徒からの採用率は 100% となった。</p> <p>3 石巻専修大学体験授業について 1 年次より大学施設見学や高等教育の授業を聴講することにより、主体的に学びに向かう力の養成の一助となった。</p>																																																			
成果に係る評価		<p>本事業を実施し、「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実践することにより「魅力ある学校づくり」を推進することができた。 令和 3 年度入学者選抜においては、学励探求コース・キャリア探求コースともに定員割れが続いている状況であるが、本事業の推進を図り、より一層、教育活動を充実させ「学校の魅力向上」を図るとともに、「学校の魅力発信」に努め、桜坂高校の魅力に石巻市内外に強力に P R し、定員の確保を図る必要がある。</p>																																																			
(単位：円)																																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																													
	2,409,000		2,180,847					2,180,847																																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業	高等学校教育用コンピュータ関係費																			
事業コード		002-001-003-00240	事 業 名	情報教育環境整備事業(高等学校)																			
目的及び事業内容		<p>国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内高等学校の教育用コンピュータ、タブレット及び周辺機器を更新する。</p>																					
取組実績		<p>高等学校教育用コンピュータ整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">整備年度</th> <th colspan="3">整備内容</th> </tr> <tr> <th>教育用コンピュータ</th> <th>電子黒板</th> <th>タブレット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>市立女子高 : 86 台</td> <td>市立女子高(桜坂高) : 17 台</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>桜坂高 : 3 台</td> <td>桜坂高 : 2 台</td> <td>桜坂高 : 123 台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成 26 年度に市立女子商高へ整備した P C 室用コンピュータ 86 台は、平成 27 年 3 月に市立女子高(現桜坂高)へ移設。 ※電子黒板 17 台については高等学校統合整備事業費(備品購入費)で整備。 ※平成 28 年度～令和 2 年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。</p>							整備年度	整備内容			教育用コンピュータ	電子黒板	タブレット	H26	市立女子高 : 86 台	市立女子高(桜坂高) : 17 台	—	H27	桜坂高 : 3 台	桜坂高 : 2 台	桜坂高 : 123 台
整備年度	整備内容																						
	教育用コンピュータ	電子黒板	タブレット																				
H26	市立女子高 : 86 台	市立女子高(桜坂高) : 17 台	—																				
H27	桜坂高 : 3 台	桜坂高 : 2 台	桜坂高 : 123 台																				
成 果		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が I C T の活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。</li> <li>情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。</li> <li>各教科等においてデジタルコンテンツを活用することにより、分かりやすい授業が実現できた。</li> </ul>																					
成果に係る評価		<p>高等学校の教育用コンピュータは、学校の教育課程に則した機器を検討・選定し、計画的に整備している。令和 2 年度に G I G A スクール構想推進事業で生徒一人ひとりにタブレットを整備しており、今後は当該タブレットと一体的に使用できる周辺機器の整備を進める必要があるため、事業を継続する必要がある。</p>																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																		
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	6,960,000		6,870,600					6,870,600															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																															
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																															
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																															
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業		幼稚園保健費																																	
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名		健康診断・検査等実施事業（幼稚園） 学校医・薬剤師配置事業（幼稚園）																																	
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、市立幼稚園及び湊こども園、北上こども園に幼稚園医等を配置し定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、幼児の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園医の配置</li> <li>・幼稚園薬剤師の配置</li> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																																				
取組実績		<p>1 幼稚園医の配置 市立幼稚園及びこども園に幼稚園医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した幼稚園医の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>5 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>4 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> </table> <p>2 幼稚園薬剤師の配置 市立幼稚園及びこども園に薬剤師を委嘱し、飲料水の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した幼稚園薬剤師の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>5 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> <tr> <td>内科健診</td> <td>全幼児</td> <td>結核検診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全幼児</td> <td>尿検査</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>全幼児</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全幼児</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 市立幼稚園及びこども園の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>							内 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	3 人	眼 科 医	4 人	歯 科 医	5 人	薬 剤 師	5 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全幼児	結核検診	全幼児	眼科健診	全幼児	尿検査	全幼児	耳鼻科健診	全幼児			歯科健診	全幼児		
内 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	3 人																																			
眼 科 医	4 人	歯 科 医	5 人																																			
薬 剤 師	5 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全幼児	結核検診	全幼児																																			
眼科健診	全幼児	尿検査	全幼児																																			
耳鼻科健診	全幼児																																					
歯科健診	全幼児																																					
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、保護者、市立幼稚園及びこども園に対して的確な指導と助言が行われ、幼児の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、施設内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された施設環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断 幼児 129人</p> <p>2 飲料水水質検査 幼稚園（4園）、こども園（2園） 6園</p>																																				
成果に係る評価		<p>市立幼稚園及びこども園に幼稚園医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、幼児に対して的確な疾病等の予防指導を行っていく上で重要である。今後も幼稚園医、市立幼稚園及びこども園、保護者等相互の連携を密にし、幼児の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。 なお、定期健康診断については、学校保健安全法施行規則により、毎学年6月30日までにを行うこととされているが、令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で実施体制が整わず、6月30日までに実施できなかったが、12月末までには全園で実施することができた。</p>																																				
（単位：円）																																						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																															
		2,528,000	2,329,730				2,329,730																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )																																									
	5 項	幼稚園費		第 節			( )																																									
	1 目	幼稚園費		( )			( )																																									
実施計画掲載ページ			中 事 業		私立幼稚園施設等利用支援事業費																																											
事業コード			事 業 名		私立幼稚園施設等利用支援事業																																											
目的及び事業内容		<p>「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」が令和元年10月1日から施行され、私立幼稚園（新制度未移行幼稚園）の保育料等が上限額まで無償となることに伴い、幼稚園又は保護者に対し利用料等を給付し、保護者の負担軽減を図るとともに、私立幼稚園の健全な運営に資する。 【一人あたり上限単価】・保育料 25,700円 ・預かり保育料 11,300円 ・副食費 4,500円</p>																																														
取組実績		<p>私立幼稚園（新制度未移行幼稚園）及び保護者に対し給付を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>費目</th> <th>保育料</th> <th>預かり保育料</th> <th>副食費</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>施設代理受領</th> <th>保護者へ償還払い</th> <th>施設代理受領</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>穀町幼稚園</td> <td>42,184,200円</td> <td>1,403,600円</td> <td>1,209,501円</td> </tr> <tr> <td>法山寺幼稚園</td> <td>27,789,570円</td> <td>1,165,450円</td> <td>163,380円</td> </tr> <tr> <td>石巻カトリック幼稚園</td> <td></td> <td>2,372,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻みづほ幼稚園</td> <td>62,525,530円</td> <td>3,749,400円</td> <td>711,459円</td> </tr> <tr> <td>ひばり幼稚園</td> <td>87,378,810円</td> <td>4,594,150円</td> <td>1,191,807円</td> </tr> <tr> <td>長浜幼稚園</td> <td>46,260,000円</td> <td>3,940,200円</td> <td>760,102円</td> </tr> <tr> <td>広域（石巻市外）幼稚園</td> <td>9,829,320円</td> <td>377,550円</td> <td>145,180円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>275,967,430円</td> <td>17,602,350円</td> <td>4,181,429円</td> </tr> </tbody> </table>							費目	保育料	預かり保育料	副食費	区分	施設代理受領	保護者へ償還払い	施設代理受領	穀町幼稚園	42,184,200円	1,403,600円	1,209,501円	法山寺幼稚園	27,789,570円	1,165,450円	163,380円	石巻カトリック幼稚園		2,372,000円		石巻みづほ幼稚園	62,525,530円	3,749,400円	711,459円	ひばり幼稚園	87,378,810円	4,594,150円	1,191,807円	長浜幼稚園	46,260,000円	3,940,200円	760,102円	広域（石巻市外）幼稚園	9,829,320円	377,550円	145,180円	合計	275,967,430円	17,602,350円	4,181,429円
費目	保育料	預かり保育料	副食費																																													
区分	施設代理受領	保護者へ償還払い	施設代理受領																																													
穀町幼稚園	42,184,200円	1,403,600円	1,209,501円																																													
法山寺幼稚園	27,789,570円	1,165,450円	163,380円																																													
石巻カトリック幼稚園		2,372,000円																																														
石巻みづほ幼稚園	62,525,530円	3,749,400円	711,459円																																													
ひばり幼稚園	87,378,810円	4,594,150円	1,191,807円																																													
長浜幼稚園	46,260,000円	3,940,200円	760,102円																																													
広域（石巻市外）幼稚園	9,829,320円	377,550円	145,180円																																													
合計	275,967,430円	17,602,350円	4,181,429円																																													
成 果		<p>義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。</p> <p>（給付内訳） 施設等利用給付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>保育料</th> <th>預かり保育料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2（4月～3月分）</td> <td>275,967,430円</td> <td>17,602,350円</td> </tr> </tbody> </table> <p>補足給付費補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>副食費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2（4月～3月分）</td> <td>4,181,429円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	保育料	預かり保育料	R2（4月～3月分）	275,967,430円	17,602,350円	区分	副食費	R2（4月～3月分）	4,181,429円																														
区分	保育料	預かり保育料																																														
R2（4月～3月分）	275,967,430円	17,602,350円																																														
区分	副食費																																															
R2（4月～3月分）	4,181,429円																																															
成果に係る評価		<p>幼児教育・保育の無償化に伴い、私立幼稚園に対して保育料を給付することにより、安定した運営に寄与することができた。 また、保護者に対して、預かり保育料や副食費を補助給付することにより、保護者の負担軽減が図られた。</p>																																														
（単位：円）																																																
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																									
		301,332,954	297,751,209	232,683,855			65,067,354																																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																	
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																	
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																	
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	私立幼稚園運営費助成費																				
事業コード		002-001-002-00224	事 業 名	私立幼稚園運営費助成事業																				
目的及び事業内容		<p>市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減を図る。</p> <p>・私立幼稚園運営費の助成</p> <table border="1"> <tr><td>幼稚園割</td><td>1園</td><td>160,000円</td></tr> <tr><td>職員割</td><td>1人</td><td>30,000円</td></tr> <tr><td>園児割</td><td>1人</td><td>1,200円</td></tr> </table>							幼稚園割	1園	160,000円	職員割	1人	30,000円	園児割	1人	1,200円							
幼稚園割	1園	160,000円																						
職員割	1人	30,000円																						
園児割	1人	1,200円																						
取組実績		<p>市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>運営費補助金</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>穀町幼稚園</td><td>781,600円</td></tr> <tr><td>法山寺幼稚園</td><td>535,600円</td></tr> <tr><td>石巻カトリック幼稚園</td><td>818,800円</td></tr> <tr><td>石巻みづほ幼稚園</td><td>1,008,400円</td></tr> <tr><td>ひばり幼稚園</td><td>1,195,600円</td></tr> <tr><td>長浜幼稚園</td><td>730,000円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>5,070,000円</td></tr> </tbody> </table>							区分	運営費補助金	穀町幼稚園	781,600円	法山寺幼稚園	535,600円	石巻カトリック幼稚園	818,800円	石巻みづほ幼稚園	1,008,400円	ひばり幼稚園	1,195,600円	長浜幼稚園	730,000円	合計	5,070,000円
区分	運営費補助金																							
穀町幼稚園	781,600円																							
法山寺幼稚園	535,600円																							
石巻カトリック幼稚園	818,800円																							
石巻みづほ幼稚園	1,008,400円																							
ひばり幼稚園	1,195,600円																							
長浜幼稚園	730,000円																							
合計	5,070,000円																							
成 果		<p>義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。</p> <p>(助成内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>運営費補助金</th><th>園数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30</td><td>5,232,000円</td><td>6園</td></tr> <tr><td>R1</td><td>5,185,200円</td><td>6園</td></tr> <tr><td>R2</td><td>5,070,000円</td><td>6園</td></tr> </tbody> </table>							区分	運営費補助金	園数	H30	5,232,000円	6園	R1	5,185,200円	6園	R2	5,070,000円	6園				
区分	運営費補助金	園数																						
H30	5,232,000円	6園																						
R1	5,185,200円	6園																						
R2	5,070,000円	6園																						
成果に係る評価		<p>私立幼稚園の健全な運営と施設の充実を図るとともに、幼児教育の質の向上を図るため、今後も継続して本事業を実施し、本市の義務教育就学前における幼児教育を推進する必要がある。令和3年度から子ども・子育て支援新制度に移行した2園（穀町幼稚園、石巻カトリック幼稚園）については、国から健全な運営を行うための、適正な公定価格に基づいた施設型給付費を受けていることから、見直しを図り、助成を行わないこととする。</p>																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	5,429,000		5,070,000					5,070,000																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																																																	
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																																																																	
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	地域・家庭の教育力を強化する		( )																																																																	
実施計画掲載ページ		P 33	中 事 業	社会教育事務費																																																																				
事業コード		002-002-001-01255	事 業 名	家庭教育支援事業																																																																				
目的及び事業内容		<p>子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーなどの身近な人々による「家庭教育支援チーム」を組織し、子育ての悩みを抱えるなど孤立しがちな保護者や家庭に対する支援を行い、保護者が自ら進んで子育てを学ぶことの出来る環境を整備する。</p>																																																																						
取組実績		<p>1 親子参加型の活動（子育てサロン）</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年 度</th><th>実施期間</th><th>実施回数</th><th>参加人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30</td><td>H30.4~H31.3</td><td>22回</td><td>延べ 336組 771人</td></tr> <tr><td>R1</td><td>H31.4~R2.3</td><td>20回</td><td>延べ 267組 624人</td></tr> <tr><td>R2</td><td>R2.8~R3.3</td><td>13回</td><td>延べ 63組 148人</td></tr> </tbody> </table> <p>2 親の学び講座（親対象）</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年 度</th><th>実施期間</th><th>実施回数</th><th>参加人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30</td><td>H30.6~H30.11</td><td>16回</td><td>延べ 80人</td></tr> <tr><td>R1</td><td>R1.5~R1.11</td><td>16回</td><td>延べ 104人</td></tr> <tr><td>R2</td><td>R2.10~R3.3</td><td>16回</td><td>延べ 104人</td></tr> </tbody> </table> <p>3 「親のみちしるべ」講座（平成27年度より開始）</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年 度</th><th>実施期間</th><th>実施回数</th><th>参加人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30</td><td>H30.9~H30.10</td><td>2回</td><td>延べ 26人</td></tr> <tr><td>R1</td><td>R1.9~R1.10</td><td>2回</td><td>延べ 24人</td></tr> <tr><td>R2</td><td>R2.10~R2.12</td><td>3回</td><td>延べ 25人</td></tr> </tbody> </table> <p>4 子育てサポーター養成講座（平成26年度より開始）</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年 度</th><th>実施期間</th><th>実施回数</th><th>参加人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30</td><td>H30.5~H30.6</td><td>4回</td><td>延べ 24人</td></tr> <tr><td>R1</td><td>R1.5~R1.6</td><td>4回</td><td>延べ 20人</td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td>0回</td><td>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止</td></tr> </tbody> </table>							年 度	実施期間	実施回数	参加人数	H30	H30.4~H31.3	22回	延べ 336組 771人	R1	H31.4~R2.3	20回	延べ 267組 624人	R2	R2.8~R3.3	13回	延べ 63組 148人	年 度	実施期間	実施回数	参加人数	H30	H30.6~H30.11	16回	延べ 80人	R1	R1.5~R1.11	16回	延べ 104人	R2	R2.10~R3.3	16回	延べ 104人	年 度	実施期間	実施回数	参加人数	H30	H30.9~H30.10	2回	延べ 26人	R1	R1.9~R1.10	2回	延べ 24人	R2	R2.10~R2.12	3回	延べ 25人	年 度	実施期間	実施回数	参加人数	H30	H30.5~H30.6	4回	延べ 24人	R1	R1.5~R1.6	4回	延べ 20人	R2		0回	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																																																					
H30	H30.4~H31.3	22回	延べ 336組 771人																																																																					
R1	H31.4~R2.3	20回	延べ 267組 624人																																																																					
R2	R2.8~R3.3	13回	延べ 63組 148人																																																																					
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																																																					
H30	H30.6~H30.11	16回	延べ 80人																																																																					
R1	R1.5~R1.11	16回	延べ 104人																																																																					
R2	R2.10~R3.3	16回	延べ 104人																																																																					
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																																																					
H30	H30.9~H30.10	2回	延べ 26人																																																																					
R1	R1.9~R1.10	2回	延べ 24人																																																																					
R2	R2.10~R2.12	3回	延べ 25人																																																																					
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																																																					
H30	H30.5~H30.6	4回	延べ 24人																																																																					
R1	R1.5~R1.6	4回	延べ 20人																																																																					
R2		0回	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止																																																																					
成 果		<p>「子育てサロン」は、事業開始から10年が経過し、親子の交流及び心のケア、育児相談の場として定着している。家庭教育支援チーム員は研修等により遊びの方法などの知識を深め、自主的に企画・運営に関わろうとしており、支援チーム員の趣味などを生かした内容を取り入れるなど徐々に内容が充実してきている。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が大幅に減少している。</p> <p>「親の学び講座」は、2講座（1講座につき8回実施）開催しており、受講者が意欲的に参加している。気分転換のために簡単なゲームなどを行いつつ、お互いの悩みを相談しあうことにより、子育てのスキルアップや親同士のコミュニティ形成などの成果が見られる。</p> <p>「親のみちしるべ講座」は、平成27年度より東部教育事務所からの協力依頼を受けて開催しており、小学校就学前における講座開催は、主にワークショップにより親同士のコミュニティ形成に役立っており、入学前の保護者の不安を取り除いている。</p> <p>「子育てサポーター養成講座」は、県教育委員会と東部教育事務所が協力し、地元開催している。内容は、子育て支援の専門家の講話等になっており、参加者が子育ての喜びを改めて感じたり悩みの解決方法に気付くことが出来ている。</p>																																																																						
成果に係る評価		<p>家庭教育支援事業は、子育て世帯の孤立化解消や親子の心のケア、親同士のコミュニティ形成、次世代の子育て支援・家庭教育支援を担う人材の育成が図られており、家庭教育支援チーム員として、活動を始めるなどの成果が見られることから、市民にとって意義のある事業であるため、今後も継続が必要である。</p> <p>子育てサポーター養成講座は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために開催中止としたが、子育てサポーターの育成のため、今後は感染防止対策を講じながら、開催を検討する必要がある。</p>																																																																						
(単位：円)																																																																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																
	565,710		546,569		546,569																																																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																										
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																										
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	青少年を健全に育成する		( )																										
実施計画掲載ページ		P 34	中 事 業	少年指導者育成費																													
事業コード		002-002-002-00261	事 業 名	少年指導者育成事業																													
目的及び事業内容		<p>子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。</p> <p>宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中学生）を養成する。受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳を授与する。</p> <p>ジュニア・リーダーの資質向上のため、各種研修の機会を提供する。</p>																															
取組実績	<p>1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援</p> <p>(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>初級研修会</td> <td>11月22日(日)～23日(月)</td> <td>東松島市大曲地区体育館</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ジュニア・リーダーのスキルアップのための研修事業参加支援及び研修機会の創出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>初級研修会</td> <td>11月22日(日)～23日(月)</td> <td>東松島市大曲地区体育館</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>みやぎジュニア・リーダー交流会</td> <td>12月5日(土)～6日(日)</td> <td>花山青少年自然の家</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援</p> <p>各地区のサークルに所属するジュニア・リーダーは、市内子ども会育成会や各種団体等から派遣の要請を受け、子どもたちの指導を行っている。</p> <p>団体による申請数：4回 派遣したジュニア・リーダー数（延べ）：9人 会員数：39人</p> <p>3 ジュニア・リーダー会員の募集支援</p> <p>市内全中学校の生徒に初級研修会の募集要項を配付した。また、会員によるロコミ活動を修了者に実施した。</p>								No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	初級研修会	11月22日(日)～23日(月)	東松島市大曲地区体育館	3人	No.	事業名	開催日	実施場所	参加者	1	初級研修会	11月22日(日)～23日(月)	東松島市大曲地区体育館	4人	2	みやぎジュニア・リーダー交流会	12月5日(土)～6日(日)	花山青少年自然の家	5人
	No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																												
	1	初級研修会	11月22日(日)～23日(月)	東松島市大曲地区体育館	3人																												
No.	事業名	開催日	実施場所	参加者																													
1	初級研修会	11月22日(日)～23日(月)	東松島市大曲地区体育館	4人																													
2	みやぎジュニア・リーダー交流会	12月5日(土)～6日(日)	花山青少年自然の家	5人																													
成 果	<p>主催である初級研修会は当初例年通り、7月に花山青少年自然の家での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策として中止とした。代わりに令和元年度東松島市と女川町と合同で行った秋季研修会を令和2年度は初級研修会と位置付け実施した。受講者3人とジュニア・リーダー会員1人の参加で目標受講者数30人を大きく下回ったが、受講者3名すべてがジュニア・リーダーサークルに所属することができた。</p> <p>令和2年度の中級研修相当研修会、上級研修会への参加希望者はいなかった。</p>																																
成果に係る評価	<p>ジュニア・リーダーは、子どもや地域の人たちと関わる様々な体験活動や研修等を通して、地域活動へ積極的に参加していく意欲と実践力を身に付ける。</p> <p>サークル会員の新規獲得を含め、各公民館ジュニア・リーダー担当者との情報共有を図り、連携しながら事業実施に向けて支援を行う。また、令和3年度も石巻市・東松島市・女川町のジュニア・リーダーの交流を含めた活動を実施できるように、各市町の担当者との連携を図っていく。</p> <p>ジュニア・リーダーの活動は、子どもたちの健全育成及び子ども会活動の活性化を図ることにつながっているため、今後も事業を継続する必要がある。</p>																																
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	479,000	211,358				211,358																											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )																																																	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		( )																																																	
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する		( )																																																	
実施計画掲載ページ		P 125	中 事 業	芸術文化振興費																																																				
事業コード		005-003-001-00272	事 業 名	青少年文化芸術鑑賞事業																																																				
目的及び事業内容		<p>芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の児童・生徒に対し、優れた芸術を鑑賞、体験してもらうことにより、豊かな情操を養う。</p> <p>青少年劇場小公演、巡回小劇場、文化芸術による子どもの育成事業の開催を通して、希望する小中学校に対して、生の芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供する。</p>																																																						
取組実績	<p>1 巡回小劇場</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月16日</td> <td>貞山小学校</td> <td>演劇公演「角～いじめっこ姫の物語」</td> <td>貞山小学校（児童180人）</td> </tr> <tr> <td>10月26日</td> <td>飯野川中学校</td> <td>音楽公演 Let's Swing ブラックボトムプラスバンド演奏会</td> <td>飯野川中学校（生徒77人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 青少年劇場小公演</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月16日</td> <td>東浜小学校</td> <td>揚琴（ヤンチン）コンサート</td> <td>東浜小学校（児童7人）</td> </tr> <tr> <td>9月16日</td> <td>牡鹿中学校</td> <td>揚琴（ヤンチン）コンサート</td> <td>牡鹿中学校（生徒21人）</td> </tr> <tr> <td>10月26日</td> <td>飯野川小学校</td> <td>はなしの伝統芸能「落語」</td> <td>飯野川小学校（児童61人）</td> </tr> <tr> <td>10月27日</td> <td>鮎川小学校</td> <td>はなしの伝統芸能「落語」</td> <td>鮎川小学校（児童15人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 文化芸術による子供の育成事業（芸術家派遣事業）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月23日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9月11日</td> <td>須江小学校</td> <td>茂木寿哉「陶芸」</td> <td>須江小学校（児童47人）</td> </tr> <tr> <td>10月30日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	9月16日	貞山小学校	演劇公演「角～いじめっこ姫の物語」	貞山小学校（児童180人）	10月26日	飯野川中学校	音楽公演 Let's Swing ブラックボトムプラスバンド演奏会	飯野川中学校（生徒77人）	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	9月16日	東浜小学校	揚琴（ヤンチン）コンサート	東浜小学校（児童7人）	9月16日	牡鹿中学校	揚琴（ヤンチン）コンサート	牡鹿中学校（生徒21人）	10月26日	飯野川小学校	はなしの伝統芸能「落語」	飯野川小学校（児童61人）	10月27日	鮎川小学校	はなしの伝統芸能「落語」	鮎川小学校（児童15人）	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	6月23日				9月11日	須江小学校	茂木寿哉「陶芸」	須江小学校（児童47人）	10月30日			
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																																																				
	9月16日	貞山小学校	演劇公演「角～いじめっこ姫の物語」	貞山小学校（児童180人）																																																				
10月26日	飯野川中学校	音楽公演 Let's Swing ブラックボトムプラスバンド演奏会	飯野川中学校（生徒77人）																																																					
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																																																					
9月16日	東浜小学校	揚琴（ヤンチン）コンサート	東浜小学校（児童7人）																																																					
9月16日	牡鹿中学校	揚琴（ヤンチン）コンサート	牡鹿中学校（生徒21人）																																																					
10月26日	飯野川小学校	はなしの伝統芸能「落語」	飯野川小学校（児童61人）																																																					
10月27日	鮎川小学校	はなしの伝統芸能「落語」	鮎川小学校（児童15人）																																																					
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																																																					
6月23日																																																								
9月11日	須江小学校	茂木寿哉「陶芸」	須江小学校（児童47人）																																																					
10月30日																																																								
成 果	<p>巡回小劇場、青少年劇場小公演、文化芸術による子供の育成事業は、プロの生演奏や芝居を目の前で鑑賞できることから、実施校から高い評価を得ている。優れた文化芸術を生で鑑賞する機会を提供することにより、児童・生徒が鑑賞する楽しさや表現することの喜びを体験し、豊かな情操を育むことができた。</p> <p>実施予定としていた桃生地区小学校の巡回小劇場については、新型コロナウイルス感染症対策として学校側からの要請により中止とした。</p>																																																							
成果に係る評価	<p>関係団体と連携を図りながら、巡回小劇場、青少年劇場小公演、文化芸術による子供の育成事業において、質の高い文化芸術を児童・生徒に提供することができた。</p> <p>優れた文化芸術を生で鑑賞するよい機会であり、子どもたちの豊かな情操を育むために継続が必要な事業であり、今後も関係団体等と連携し、質の高い文化芸術に触れる機会を児童・生徒に提供していきたい。</p>																																																							
(単位：円)																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	1,489,000	1,006,500				1,003,000 3,500																																																		



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																					
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																																					
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	地域・家庭の教育力を強化する		( )																																					
実施計画掲載ページ		P 33	中 事 業	家庭教育学級開設費																																								
事業コード	002-002-001-00278	事 業 名	家庭教育学級開設事業																																									
目的及び事業内容	<p>保護者等を対象に家庭や親のあり方、子育て、子どもの心身の成長、家庭環境等に関する学習機会を提供し、家庭における教育力の向上を図るとともに、参加者相互の交流を通して連帯意識の高揚を図る。</p> <p>実施機関（幼稚園、保育所・学校単位）ごとに、中学校は1回以上、他の実施機関は複数回の開催とする。講話、講演、討議、実技など多様な学習方法により、親のあり方や発達段階に応じて正しい指導ができるようにするなどの学習内容とするとともに、受講生の学習ニーズに配慮し開設する。</p>																																											
取組実績	<p>実施機関のPTA等と協力しながら、地域性や親のニーズに合わせた様々な学習内容により開催されており、また、多くの保護者が集まる効果的な機会を活用して学習の場を提供した。</p> <p>1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の公民館等  2 実施機関 各地区の幼稚園（私立含む）、保育所（私立含む）、小学校、中学校  3 開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開設機関区分</th> <th>実施機関数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>18 機関</td> <td>32 回</td> <td>1,741 人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>1 機関</td> <td>1 回</td> <td>25 人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>2 機関</td> <td>2 回</td> <td>61 人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>4 機関</td> <td>6 回</td> <td>185 人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>3 機関</td> <td>4 回</td> <td>203 人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>1 機関</td> <td>2 回</td> <td>54 人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>4 機関</td> <td>6 回</td> <td>165 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>33 機関</td> <td>53 回</td> <td>2,434 人</td> </tr> </tbody> </table>								開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数	石巻地区	18 機関	32 回	1,741 人	河北地区	1 機関	1 回	25 人	雄勝地区	2 機関	2 回	61 人	河南地区	4 機関	6 回	185 人	桃生地区	3 機関	4 回	203 人	北上地区	1 機関	2 回	54 人	牡鹿地区	4 機関	6 回	165 人	計	33 機関	53 回	2,434 人
	開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数																																								
石巻地区	18 機関	32 回	1,741 人																																									
河北地区	1 機関	1 回	25 人																																									
雄勝地区	2 機関	2 回	61 人																																									
河南地区	4 機関	6 回	185 人																																									
桃生地区	3 機関	4 回	203 人																																									
北上地区	1 機関	2 回	54 人																																									
牡鹿地区	4 機関	6 回	165 人																																									
計	33 機関	53 回	2,434 人																																									
成果	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和元年度と比較すると実施機関は49機関の減、実施回数は109の減であった。受講生の評価ポイントも若干減少となったが、概ね良好な状態である。実施機関においては、それぞれ工夫しながら学習会を設定し、保護者同士の交流の場ともなっており、身近な地域における家庭教育支援の基盤が確立された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">活動指標（実施機関数）</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>82機関</td> <td>82機関</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>84機関</td> <td>33機関</td> <td>39.2%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標（受講生評価ポイント）</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>94ポイント</td> <td>93ポイント</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>94ポイント</td> <td>90ポイント</td> <td>95.7%</td> </tr> </tbody> </table>								区分	活動指標（実施機関数）		達成率等	目標値	実績等	R1	82機関	82機関	100.0%	R2	84機関	33機関	39.2%	区分	成果指標（受講生評価ポイント）		達成率等	目標値	実績等	R1	94ポイント	93ポイント	98.9%	R2	94ポイント	90ポイント	95.7%								
区分	活動指標（実施機関数）		達成率等																																									
	目標値	実績等																																										
R1	82機関	82機関	100.0%																																									
R2	84機関	33機関	39.2%																																									
区分	成果指標（受講生評価ポイント）		達成率等																																									
	目標値	実績等																																										
R1	94ポイント	93ポイント	98.9%																																									
R2	94ポイント	90ポイント	95.7%																																									
成果に係る評価	<p>コロナ禍の影響により、令和2年度の実施機関数及び実施回数は減少したが、各実施機関では内容や実施方法を工夫しながら学習会を実施している。</p> <p>活動指標の実施機関数を増加していくため、未開設の公立保育所及び私立幼稚園・保育園への開設に向けた働き掛けを行っているが、開設には至っていない機関があるため、今後も引き続き働きかけていくこととしている。</p> <p>実施機関では年間行事を踏まえ、それぞれ工夫しながら学習会を実施しており、また、学習内容や学習方法もより多様になってきており、一層の充実を図るため、各実施機関での更なる工夫を働き掛けることが必要である。</p> <p>成果指標の受講生評価においては、若干減少となったが、概ね良好と思われる。</p>																																											
（単位：円）																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	980,000	380,000	380,000																																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P 25	中 事 業	子ども読書活動推進費				
事業コード	002-001-002-00259	事 業 名	ブックスタート事業					
目的及び事業内容	<p>乳幼児期からの家庭における読書活動の推進方策の一環として、3・4か月児健診の機会に乳幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせを行い、乳幼児に絵本との出会いの機会を創出する。また、保護者に対して絵本の選び方や読み聞かせの方法を知らせながら読書活動の啓蒙を図る。</p> <p>3・4か月児健診（本庁、河北、河南地区）時にボランティアの読み聞かせを実施し、ブックスタートパック（絵本、読書の手引き、図書館の案内等）を配布する。また、ボランティアのスキルアップを図るための研修会を開催する。</p>							
取組実績	<p>健康推進課で行っている3・4か月児健診の場において、乳児と保護者に対し、ボランティアが読み聞かせを行い、ブックスタートパックを配付していたが、新型コロナウイルス感染症防止対策として、ボランティアによる読み聞かせは行わず、保健師によるブックスタートパックの配布だけを行った。</p> <p>ボランティアに対する研修会も新型コロナウイルス感染症防止対策のため実施しなかった。</p> <p>ブックスタートパック配布数 808セット  ブックスタートボランティア会員数 17人</p>							
	成果	<p>絵本の読み聞かせをすることはできなかったが、健康推進課保健師の協力によりブックスタートパックを配布することで、保護者に対して乳幼児期からの読書活動の啓蒙を図ることができた。</p>						
成果に係る評価	<p>ブックスタート事業は平成22年度から実施しており、これまでに読み聞かせをしてもらった経験がある方々から伝え聞いて少しずつその認知も広がっており、健診時に絵本を配布されることを楽しみにしている保護者もいる。乳幼児期からの家庭における読書活動の推進に向けて継続が必要な事業である。</p>							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,910,000	1,631,880	81,000		1,500,000	50,880		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )		
	6 項	社会教育費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )		
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		( )		
実施計画掲載ページ		P 38	中 事 業	協働教育推進事業費					
事業コード		002-003-002-00262	事 業 名	ふるさと子どもカレッジ事業					
<p>地域の教育力を活用し、子どもたちに郷土の自然、文化を体験的に学ばせることにより豊かな心を育む教育活動を推進することを目的とし、市内小学校高学年の子どもを対象に参加者を募集し、月1回程度市内全地区及び周辺地域を活動場所に体験活動を実施する。</p>									
取組実績	1 活動実績								
	活動内容				開催日	参加者数			
	1	・開校式 ・雄勝硯生産販売共同組合「硯石ストラップ制作」			9/12	12人			
2	・三輪田窯 亀山英児氏「陶芸体験①」 (会場：河北総合センタービッグバン)			9/19	7人				
3	・三輪田窯 亀山英児氏「陶芸体験②」 (会場：河北総合センタービッグバン)			10/3	6人				
4	・石巻・川のビジターセンター職員「自然観察①沢で生き物観察」 (会場：石巻・川のビジターセンター敷地内)			10/10	6人				
5	・牡鹿半島ビジターセンター職員「くじらについて学ぶ」 (会場：牡鹿半島ビジターセンター、おしかホエールランド)			11/7	11人				
6	・石巻・川のビジターセンター職員「自然観察②海藻押し葉はがき制作」 (会場：石巻・川のビジターセンター)			12/5	2人				
7	・河南ジュニアリーダー「交流会」(会場：石巻市総合体育館) ・陶芸作品の配布 ・閉校式			2/21	12人				
※第2,3回、第4,6回は各1つのテーマをコロナ対策のために2回に分散開催している。					延56人				
※第6回は開催前日の夜、市内でコロナのクラスターが発生したため、参加者数が減少したものと考える。									
2 地区別参加者数									
地区名		石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計
人数		8人	0人	0人	4人	0人	1人	0人	13人
成 果	<p>活動内容についてアンケートを徴したところ、参加者全員から好評を得ている。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用制限等のため、同じ内容を2回に分けて開催するなどの対応が必要となり、すべての地区を訪れることができなかった。 なお、令和2年度より事業PRのために、生涯学習課Facebookページを立ち上げ、事業の様子を発信した。</p>								
成果に係る評価	<p>当事業は、参加する子どもたちにとって、普段交流する機会の少ない他の地区の子どもたちとの交流を図りながら、石巻のことについて実際に見て、触れて、楽しみながら学ぶことのできる機会の提供の場である。また、講師等として参加する地域の人々にとっても、若者と交流できる貴重な機会となっているといった感想をいただくこともある。 このように、これまでの活動で形成された信頼やつながりは、貴重なものであり、今後も続けていくことによって、地域の子ども・大人、相互に学校以外の場で交流の輪をひろげる機会の創出につなげていけるものにしていきたい。 今後も、事業への理解と興味を得られるよう、SNS等を活用し情報発信していくなどの工夫を行うなど、参加者数の増加につながる取組を行う必要がある。</p>								
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	106,000	93,800	93,800						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )	
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		( )	
実施計画掲載ページ		P 38	中 事 業	まちなか実験室事業費				
事業コード		002-003-002-00264	事 業 名	まちなか実験室事業				
<p>子ども達を対象に、科学実験や自然観察、模擬発明、工作等の「遊びや体験の場」として参加型学習教室を開催し、「学ぶ楽しさ・知る喜び」を実感させ、科学に対する興味・関心を高めることにより、創造性と思いやりのある心豊かな子ども達を育成することを目的とする。</p>								
取組実績	1 活動実績							
	開催場所	開催日	講座内容			参加人数	満足度(%) / アンケート回答者数(人)	
	1 雄勝地区-雄勝小学校	11/25	水ロケット/シャボン玉/ヘリウム、二酸化炭素、酸素、窒素の浮力実験			20人	100.0 / 12	
2 石巻地区-げろっばまつり	11/28	紙吹きゴマ/プラトンポ/吹き玉/万華鏡/ストローロケット/びゅんびゅんゴマ/大道仮説実験「バンジーチャイム」			26人	100.0 / 6		
3 河北地区-亀ヶ森冒険遊び場	12/20	水ロケット/シャボン玉/水、アルコール、食塩水の浮き沈み実験/ヘリウムの浮力実験			20人	100.0 / 10		
4 北上地区-北上小学校	12/21	水ロケット/シャボン玉			29人	92.3 / 27		
5 河南地区-前谷地小学校	1/27	「もしも原子が見えたなら」をテーマに模型やシミュレーションソフトを活用して原子、分子について学ぶ/空気中の分子10種類の1億倍模型の製作			17人	100.0 / 17		
6 桃生地区-桃生小学校	1/23 2/1	水蒸気の実験、浮力の実験、双眼鏡製作、野鳥観察(平筒沼)			30人	100.0 / 28		
7 牡鹿地区-(実績なし)	-	-				-	-/	
					延べ142人	98.7 / 100		
※講師・指導者となる団体又は企業への委託事業として実施した。 ※牡鹿地区は調整を試みたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。								
成 果	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域のイベントが少なく、施設利用人数の制限や参加の自粛など様々な理由が重なり、例年に比べ半分程度の参加者数にとどまった。しかし、参加者アンケートでは、「楽しかった」「今回はこんな実験をしてみたい」と、事業目的である、「学ぶ楽しさ・知る喜び」を実感してもらえたのではと思う感想が多く見受けられた。</p>							
成果に係る評価	<p>シャボン玉やプラトンポのような身近な道具を使った遊びをとおした実験や、仕組みを学びながら自作した双眼鏡で実際に野鳥を観察するなどの実験をとおして、事業目的でもある「学ぶ楽しさ・知る喜び」を実感してもらうことができた。 より多くの人に実験室に参加してもらえよう、地域のイベント会場付近等での開催を目標にしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント自体が行われていないことなども考慮し、今後は、地域の施設を活用した実験室など開催方法について検討していく必要がある。また、SNS等を活用したPR活動も積極的に進めていきたい。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	597,000	452,737				452,737		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )																					
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																					
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	地域・家庭の教育力を強化する		( )																					
実施計画掲載ページ		P 33	中 事 業	放課後子ども教室推進事業費																								
事業コード		002-002-001-00617	事 業 名	放課後子ども教室推進事業																								
目的及び事業内容		<p>子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。</p> <p>市内小学校区において、公共施設等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施する。</p>																										
取組実績		<p>1 放課後子ども教室推進事業</p> <p>①「和 کوچکクラブ」（河南地域住民自治協議会と渚地区部会へ運営を依頼） ・登録児童数：33人 ・登録ボランティア数：26人</p> <p>②「上釜子ども教室」（上釜町内会、NPO法人にじろクレヨンへ運営を依頼） ・対象児童：上釜子ども会（自由参加） ・登録ボランティア数：16人</p> <p>③「放課後子ども教室Bremen」（放課後こどもクラブBremenへ運営を依頼） ・対象児童：石巻小学校区児童（自由参加） ・登録ボランティア数：8人</p> <p>2 放課後子ども教室の活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>日数</th> <th>参加児童延べ人数</th> <th>参加ボランティア延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①和 کوچکクラブ (伝統遊び、農作業、創作活動など)</td> <td>28日</td> <td>786人</td> <td>328人</td> </tr> <tr> <td>②上釜子ども教室 (植栽活動、創作活動など)</td> <td>2日</td> <td>54人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>③放課後子ども教室Bremen (創作活動、体験活動など)</td> <td>29日</td> <td>351人</td> <td>111人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1,191人</td> <td>458人</td> </tr> </tbody> </table>							活動内容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延べ人数	①和 کوچکクラブ (伝統遊び、農作業、創作活動など)	28日	786人	328人	②上釜子ども教室 (植栽活動、創作活動など)	2日	54人	19人	③放課後子ども教室Bremen (創作活動、体験活動など)	29日	351人	111人	計		1,191人	458人
活動内容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延べ人数																									
①和 کوچکクラブ (伝統遊び、農作業、創作活動など)	28日	786人	328人																									
②上釜子ども教室 (植栽活動、創作活動など)	2日	54人	19人																									
③放課後子ども教室Bremen (創作活動、体験活動など)	29日	351人	111人																									
計		1,191人	458人																									
成果		<p>和 کوچکクラブは、毎週木曜日の放課後に活動している。和渚小学校1年生から3年生を対象とし、約7割の児童が参加している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として、和渚小学校のホールや特別教室等をお借りして活動した。縦割りでグループを編成し、上級生がリーダーシップを発揮し、下級生の面倒を見ながら活動に取り組んでいる。地域ボランティアの方々は活動を楽しみにし、積極的に参加している。</p> <p>上釜子ども教室は、地域の子どもは地域で育てるという考えのもと、ボランティアの方が、地域の行事などに向けて熱心に活動している。コロナ禍で地域の行事ができないこともあり屋内での活動は見送ったが、屋外で活動を2回行った。</p> <p>放課後子ども教室Bremenは、放課後こどもクラブBremenのスタッフを中心に子どもたちの安全、安心な居場所作りを行っている。子どもたちに様々な活動の場を提供し、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら、昨年度より活動回数を増やして実施した。</p>																										
成果に係る評価		<p>地域の人々の参画を得て、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら、放課後や休日をを活用した学習活動や体験活動、異年齢交流などを行い、できる範囲で子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを行うことができた。子どもたちは積極的に活動し、異年齢交流をとおして思いやりの気持ちが育ち、意欲的に学ぼうとする姿が見られた。地域の人々も協力を惜まず、本事業に参画することに生きがいを見出し、地域の教育力の向上にもつながることから、今後も継続が必要な事業であり、今後はSNS等を活用したPR活動を積極的に行い、更なる拡充を図っていきたい。</p> <p>令和元年度末、1団体と令和2年度の教室開設に向けて話し合いを進めようとしていたが、時期が新型コロナウイルス感染症の流行と重なり、話し合いは中断している。今後も機会を捉えて、教室運営に資する人材や団体についての情報提供を求めていく。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																									
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	1,194,000		841,766		841,766																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )																																																																					
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																																																																					
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	地域・家庭の教育力を強化する		( )																																																																					
実施計画掲載ページ		P 32	中 事 業	協働教育推進事業費																																																																								
事業コード		002-002-001-00260	事 業 名	協働教育推進事業																																																																								
目的及び事業内容		<p>「子どもたちの抱えるいじめ、不登校、学力や体力の低下等の諸問題の解決」並びに「生きる力をはぐくむ教育活動の充実・改善」という課題解決に向けて、「学校・地域・家庭が、それぞれの機能を果たしながら協働し、社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体ではぐくむ協働教育」を推進する。</p> <p>学校・地域・家庭をつなぐ仕組みづくり、協働した教育活動を展開する。</p>																																																																										
取組実績		<p>○ 協働教育推進事業 活動実績（市内15小学校区推進協議会で実施）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区名</th> <th>事業内容</th> <th>事業回数</th> <th>参加ボランティア延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 開北小学校区</td><td>たらこ作り、漫画による町おこし等</td><td>58回</td><td>344人</td></tr> <tr><td>2 大街道小学校区</td><td>石巻市の復興まちづくり、石巻港見学等</td><td>15回</td><td>117人</td></tr> <tr><td>3 雄勝小学校区</td><td>ふるさと雄勝を見つめよう、法印神楽等</td><td>18回</td><td>72人</td></tr> <tr><td>4 中津山第一小学校区</td><td>はねこ踊り、大豆作り等</td><td>14回</td><td>70人</td></tr> <tr><td>5 石巻中学校区</td><td>教育講演会、石中勉強会等</td><td>3回</td><td>32人</td></tr> <tr><td>6 釜小学校区</td><td>紙すき体験、石巻市について等</td><td>66回</td><td>161人</td></tr> <tr><td>7 鹿又小学校区</td><td>鹿又の歴史を聞こう、鹿又音頭伝承等</td><td>28回</td><td>173人</td></tr> <tr><td>8 大原小学校区</td><td>漁業体験、伝承活動（獅子振り）等</td><td>9回</td><td>94人</td></tr> <tr><td>9 万石浦中学校区</td><td>伝統芸能（獅子風流）、地域清掃活動等</td><td>22回</td><td>397人</td></tr> <tr><td>10 河南東中学校区</td><td>リーダー研修会、小中連携中学校体験等</td><td>56回</td><td>112人</td></tr> <tr><td>11 湊小学校区</td><td>カヌー体験、湊小の歴史等</td><td>47回</td><td>205人</td></tr> <tr><td>12 稲井小学校区</td><td>和太鼓の練習、稲井の伝統文化等</td><td>23回</td><td>318人</td></tr> <tr><td>13 飯野川小学校区</td><td>法印神楽、葛西囃子等</td><td>27回</td><td>68人</td></tr> <tr><td>14 河北中学校区</td><td>職業を考える、高齢者宅防災意識喚起等</td><td>4回</td><td>120人</td></tr> <tr><td>15 北上中学校区</td><td>白浜清掃、小中連携読み聞かせ等</td><td>11回</td><td>68人</td></tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>401回</td> <td>2,351人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 協働教育コーディネーターとして、市内全小学校の教職員を対象に計33人を委嘱。（各校1人ずつ）</p> <p>○ 学校支援地域コーディネーターとして、市内各小・中学校区の地域住民等を対象に計17人を委嘱。</p>							学校区名	事業内容	事業回数	参加ボランティア延べ人数	1 開北小学校区	たらこ作り、漫画による町おこし等	58回	344人	2 大街道小学校区	石巻市の復興まちづくり、石巻港見学等	15回	117人	3 雄勝小学校区	ふるさと雄勝を見つめよう、法印神楽等	18回	72人	4 中津山第一小学校区	はねこ踊り、大豆作り等	14回	70人	5 石巻中学校区	教育講演会、石中勉強会等	3回	32人	6 釜小学校区	紙すき体験、石巻市について等	66回	161人	7 鹿又小学校区	鹿又の歴史を聞こう、鹿又音頭伝承等	28回	173人	8 大原小学校区	漁業体験、伝承活動（獅子振り）等	9回	94人	9 万石浦中学校区	伝統芸能（獅子風流）、地域清掃活動等	22回	397人	10 河南東中学校区	リーダー研修会、小中連携中学校体験等	56回	112人	11 湊小学校区	カヌー体験、湊小の歴史等	47回	205人	12 稲井小学校区	和太鼓の練習、稲井の伝統文化等	23回	318人	13 飯野川小学校区	法印神楽、葛西囃子等	27回	68人	14 河北中学校区	職業を考える、高齢者宅防災意識喚起等	4回	120人	15 北上中学校区	白浜清掃、小中連携読み聞かせ等	11回	68人	合計		401回	2,351人
学校区名	事業内容	事業回数	参加ボランティア延べ人数																																																																									
1 開北小学校区	たらこ作り、漫画による町おこし等	58回	344人																																																																									
2 大街道小学校区	石巻市の復興まちづくり、石巻港見学等	15回	117人																																																																									
3 雄勝小学校区	ふるさと雄勝を見つめよう、法印神楽等	18回	72人																																																																									
4 中津山第一小学校区	はねこ踊り、大豆作り等	14回	70人																																																																									
5 石巻中学校区	教育講演会、石中勉強会等	3回	32人																																																																									
6 釜小学校区	紙すき体験、石巻市について等	66回	161人																																																																									
7 鹿又小学校区	鹿又の歴史を聞こう、鹿又音頭伝承等	28回	173人																																																																									
8 大原小学校区	漁業体験、伝承活動（獅子振り）等	9回	94人																																																																									
9 万石浦中学校区	伝統芸能（獅子風流）、地域清掃活動等	22回	397人																																																																									
10 河南東中学校区	リーダー研修会、小中連携中学校体験等	56回	112人																																																																									
11 湊小学校区	カヌー体験、湊小の歴史等	47回	205人																																																																									
12 稲井小学校区	和太鼓の練習、稲井の伝統文化等	23回	318人																																																																									
13 飯野川小学校区	法印神楽、葛西囃子等	27回	68人																																																																									
14 河北中学校区	職業を考える、高齢者宅防災意識喚起等	4回	120人																																																																									
15 北上中学校区	白浜清掃、小中連携読み聞かせ等	11回	68人																																																																									
合計		401回	2,351人																																																																									
成果		<p>令和2年度は新たに5校の新規実施校を加え、合計15校の小・中学校で事業を実施することができた。各実施校では、地域の住民と協働した教育が行われ、児童生徒にとっては、郷土芸能や地産産業などの理解を深める有意義な活動になった。</p> <p>各学校の協働教育コーディネーターからの実践報告をまとめ、市内小・中学校に配布することで協働教育の機運向上を図ることができた。</p> <p>学校支援地域コーディネーターの活動例は下記のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲井中と地域の方をコーディネートしてリサイクルバザー開催について支援を行った。</li> <li>・鹿妻小と地元農家をコーディネートして農村クラブ活動の支援を行った。</li> <li>・開北小とPTAとの間に入り、学校行事として中止となった鼓笛隊演奏会をPTA活動の中で実施することを支援した。</li> </ul>																																																																										
成果に係る評価		<p>実施校15校の成果報告から、学校と地域が連携・協働することにより地域の子どもの健やかな成長を支えていることがうかがえた。</p> <p>学校支援地域コーディネーターについては、コロナ禍により学校行事等の中止や縮小によりこれまでのような活動ができなかったところはあるが、その中でもコーディネーターとして学校の活動を支えたり、学校と地域をつなぐ役割を担ったりして、学校の教育活動の充実に寄与した。</p> <p>各小・中学校区で実践している協働教育の取組については、より多くの方々へ理解してもらい、協力を得られるように、今後も継続して情報を発信していく。</p> <p>今後も学校と地域が連携・協働して、地域全体の子どもたちの成長を支えていくために事業を継続する必要がある。</p>																																																																										
(単位：円)																																																																												
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																																																																									
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																						
	3,092,000		2,143,118		2,143,118																																																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )																					
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を生かして輝ける機会をつくる		( )																					
	4 目	図書館費		( 1 )	市民の主体的な学習活動を支援する		( )																					
実施計画掲載ページ		P 127	中 事 業		図書館活動費																							
事業コード		005-004-001-00276	事 業 名		読書環境整備事業																							
<p>目的及び事業内容</p> <p>図書館法第3条に基づき、必要な資料を収集し市民の利用に供する。公立図書館は「図書・記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、市民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的としている。これらを踏まえ、市民の要望に応えるため、魅力ある図書資料や情報の収集・提供に努め、図書館サービスを推進する。</p>																												
<p>取 組 実 績</p> <p>1 図書の整備          新刊書・児童書・郷土関係資料を中心に、図書館で選定した図書を購入するとともに、市民からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、利用に供した。自館の資料で対応できないリクエストには、宮城県図書館等他館から借受けて対応した。また、古くなり利用の無くなった図書を除籍して、新たに受け入れた資料の保存スペースを確保するなど適正な蔵書管理に努めた。</p> <p>2 調査相談（レファレンス）          利用者の相談や調査研究を援助する業務を行い、関連資料の貸出を行った。</p> <p>3 子どもの読書推進事業          本館・河北分館において、ボランティアとの協働により「おはなし会」を実施、子育て支援センター等各施設において読み聞かせをするとともに、保護者に対して絵本の選び方や読み方を指導し、読書習慣の重要性を周知した。また、令和2年度より子育て支援課が運用している子育て応援アプリ「ISHIMO」から図書館の情報を発信した。</p> <p>4 学校支援事業          学級貸出、学習支援貸出を実施し、また、学校図書室の充実に向け、学校司書の研修を行った。</p> <p>5 講座・教室・企画展の実施          文化の日になむ行事や企画展等を行い、生涯学習機会の提供及び読書の推進を図った。</p>																												
<p>成 果</p> <p>・平成21年度には357,021冊を数えた貸出冊数は、震災の影響により平成23年度には167,048冊まで激減した。その後、回復傾向にあったが令和2年度は216,994冊となっている。</p> <p>・図書の購入については、新刊、話題の図書及び児童書を中心に購入するとともに、郷土資料の収集に努め、市民からのリクエスト図書は購入や他館からの借受けで対応した。</p> <p>・東日本大震災に関する郷土資料を収集し、市民へ提供するとともに、後世に伝えられるように整備を行った。</p> <p>・館内でのレファレンスサービス提供により、市民の利便性向上を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>6,738冊</td> <td>6,634冊</td> <td>6,287冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>290,726冊</td> <td>258,645冊</td> <td>216,994冊</td> </tr> <tr> <td>リクエスト処理件数*</td> <td>14,071件</td> <td>13,109件</td> <td>16,020件</td> </tr> <tr> <td>調査相談サービス</td> <td>2,880件</td> <td>3,250件</td> <td>2,203件</td> </tr> </tbody> </table> <p>*リクエスト処理件数には、利用者の貸出希望により新規に本を購入又は他の図書館から貸出を受けたもののほか所蔵する本への貸出予約を含む。</p>									主な指標項目	H30	R1	R2	図書購入冊数	6,738冊	6,634冊	6,287冊	貸出冊数	290,726冊	258,645冊	216,994冊	リクエスト処理件数*	14,071件	13,109件	16,020件	調査相談サービス	2,880件	3,250件	2,203件
主な指標項目	H30	R1	R2																									
図書購入冊数	6,738冊	6,634冊	6,287冊																									
貸出冊数	290,726冊	258,645冊	216,994冊																									
リクエスト処理件数*	14,071件	13,109件	16,020件																									
調査相談サービス	2,880件	3,250件	2,203件																									
<p>成果に係る評価</p> <p>・令和2年度の貸出冊数については前年度より減少しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による休館（R2.3.4～R2.5.18）の影響と思われる。新型コロナウイルスの影響が今後も見込まれるが、引き続き予防対策を講じながら利用推進が必要である。</p> <p>・休館中に利用者へ提供できるサービスを検討し、事前予約による貸出（R2.5.12～R2.5.18）を行ったことや、開館後も利用者の新型コロナウイルス感染状況への不安から、予約貸出で滞在時間を短縮する動きが出たこと等により、リクエスト処理件数が増加した。</p> <p>・各種事業をとおして、読書習慣の重要性を周知することができた。</p> <p>・学校司書研修での図書館の基本的業務研修、読み聞かせ実技研修などにより、学校司書のスキルアップ及び学校図書室との連携を強化できた。</p>																												
（単位：円）																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																						
	12,000,000	12,000,000				12,000,000																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )																																											
	6 項	社会教育費		第 節			( )																																											
	11 目	河北総合センター費		( )			( )																																											
実施計画掲載ページ			中 事 業		河北総合センター管理費																																													
事業コード			事 業 名		河北総合センター管理運営事業																																													
<p>目的及び事業内容</p> <p>スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。</p>																																																		
<p>取 組 実 績</p> <p>指定管理者による管理運営を実施した。</p> <p>1 施設管理者による施設運営事業          (1) 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団          (2) 指定管理料 81,940,887円 ※コロナ対策事業費252,162円含          (3) 指定期間 H31.4.1～R3.3.31（2年間）</p> <p>2 施設管理運営事業          (1) 利用者のサービス向上          ・ホームページ並びにSNSを活用し、施設の利用案内や利用状況、利用手続きに係る様式、芸術文化活動の開催情報の閲覧など手軽に情報を得られるよう内容の充実を図った。          ・遠隔地の利用者への配慮も充実させ、FAXやEメールなどによる手続きにおける負担軽減に努めた。</p> <p>(2) 快適な施設環境の提供          ・河北警察署等と連携し防犯に努め、保護者の同伴していない小中学生には、17時以降の施設利用を制限し、帰宅を促すことを徹底した。          ・災害状況によっては、避難場所となることが想定されることから、避難所運営における協力及び災害物品などの管理を徹底した。          ・コロナ禍における利用のためのガイドライン等を整備し、安心、安全に施設利用が行える環境整備に努めた。</p> <p>3 利用者の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール（楽屋含む）</td> <td>30,598人</td> <td>27,685人</td> <td>25,101人</td> <td>21,811人</td> <td>6,564人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>35,578人</td> <td>35,062人</td> <td>30,161人</td> <td>26,740人</td> <td>15,862人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>3,780人</td> <td>5,390人</td> <td>4,695人</td> <td>3,664人</td> <td>940人</td> </tr> <tr> <td>柔剣道場</td> <td>8,619人</td> <td>8,446人</td> <td>6,898人</td> <td>6,934人</td> <td>5,674人</td> </tr> <tr> <td>会議室等その他の部屋</td> <td>48,698人</td> <td>49,330人</td> <td>50,391人</td> <td>41,783人</td> <td>14,564人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>127,273人</td> <td>125,913人</td> <td>117,246人</td> <td>100,932人</td> <td>43,604人</td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和元年度は24日間、令和2年度は49日間臨時休館とした。</p>									区 分	H28	H29	H30	R1	R2	ホール（楽屋含む）	30,598人	27,685人	25,101人	21,811人	6,564人	アリーナ	35,578人	35,062人	30,161人	26,740人	15,862人	トレーニング室	3,780人	5,390人	4,695人	3,664人	940人	柔剣道場	8,619人	8,446人	6,898人	6,934人	5,674人	会議室等その他の部屋	48,698人	49,330人	50,391人	41,783人	14,564人	合計	127,273人	125,913人	117,246人	100,932人	43,604人
区 分	H28	H29	H30	R1	R2																																													
ホール（楽屋含む）	30,598人	27,685人	25,101人	21,811人	6,564人																																													
アリーナ	35,578人	35,062人	30,161人	26,740人	15,862人																																													
トレーニング室	3,780人	5,390人	4,695人	3,664人	940人																																													
柔剣道場	8,619人	8,446人	6,898人	6,934人	5,674人																																													
会議室等その他の部屋	48,698人	49,330人	50,391人	41,783人	14,564人																																													
合計	127,273人	125,913人	117,246人	100,932人	43,604人																																													
<p>成 果</p> <p>指定管理者による施設管理運営を行い、スポーツ・文化等の交流活動や地域の各種イベントに対する施設の提供、人的協力により、地域に貢献できる施設として、令和元年度は約10万人の利用があったが、今年度はコロナ禍による臨時休館と各種催事の中止等により、前年比5.7万人減の4.3万人の利用にとどまった。</p>																																																		
<p>成果に係る評価</p> <p>スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及・振興、市民の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、指定管理者による施設管理及び運営が適正に行われた。市民が利用しやすい環境、雰囲気作りを心がけ、利用者の満足度を高めている。</p>																																																		
（単位：円）																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	86,846,000	81,940,887				81,940,887																																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( )																																																				
	6 項	社会教育費		第 節		( )																																																				
	12 目	遊楽館費		( )		( )																																																				
実施計画掲載ページ			中 事 業	遊楽館管理費																																																						
事業コード			事 業 名	遊楽館管理運営事業																																																						
目的及び事業内容		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																								
取 組 実 績	1 指定管理者による施設管理運営事業																																																									
	(1) 遊楽館 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 指定管理料 95,821,546円 指定期間 H31.4.1～R3.3.31 (2年間)																																																									
	(2) 河南室内プール 指定管理者 石巻市スポーツ協会・ミズノグループ 指定管理料 20,987,449円 ※コロナ対策事業費2,440,721円含 指定期間 H29.4.1～R4.3.31 (5年間)																																																									
2 施設管理運営事業																																																										
(1) 遊楽館																																																										
・ホームページ並びにSNSに、施設の利用案内や利用状況、利用手続きに係る様式、芸術文化活動の開催情報等を掲載し、手軽に情報を得られるよう内容の充実を図った。また、デジタルサイネージを利用し、来館者への祭事や利用の案内と併せて地域の天気、防災情報などを提供している。																																																										
・災害時等の職員の緊急配備・連絡体制の強化により、勤務時間内外を問わず即座に施設状況の確認及び関係機関と連携し、安全安心な施設運営を行った。																																																										
(2) 河南室内プール																																																										
・スクール事業の実施など自主事業の宣伝告知に努め、より良いサービスの提供を実施した。																																																										
・様々な運動プログラムを提供し、利用者のニーズに合わせた健康増進を図った。																																																										
3 利用者の推移																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>区 分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">遊楽館</td> <td>ホール(楽屋・リハ室含む)</td> <td>24,460人</td> <td>32,846人</td> <td>28,306人</td> <td>26,312人</td> <td>8,597人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>32,065人</td> <td>26,174人</td> <td>25,833人</td> <td>22,874人</td> <td>15,850人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>6,278人</td> <td>6,425人</td> <td>6,842人</td> <td>6,494人</td> <td>2,097人</td> </tr> <tr> <td>会議室・和室</td> <td>22,721人</td> <td>22,115人</td> <td>21,272人</td> <td>21,632人</td> <td>6,453人</td> </tr> <tr> <td>その他(調理室・多目的室等)</td> <td>10,514人</td> <td>8,007人</td> <td>11,354人</td> <td>11,700人</td> <td>1,496人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>96,038人</td> <td>95,567人</td> <td>93,607人</td> <td>89,012人</td> <td>34,493人</td> </tr> <tr> <td>河南室内プール</td> <td>プール</td> <td>33,427人</td> <td>33,819人</td> <td>31,027人</td> <td>30,335人</td> <td>18,844人</td> </tr> </tbody> </table>							施設名	区 分	H28	H29	H30	R1	R2	遊楽館	ホール(楽屋・リハ室含む)	24,460人	32,846人	28,306人	26,312人	8,597人	アリーナ	32,065人	26,174人	25,833人	22,874人	15,850人	トレーニング室	6,278人	6,425人	6,842人	6,494人	2,097人	会議室・和室	22,721人	22,115人	21,272人	21,632人	6,453人	その他(調理室・多目的室等)	10,514人	8,007人	11,354人	11,700人	1,496人	合計		96,038人	95,567人	93,607人	89,012人	34,493人	河南室内プール	プール	33,427人	33,819人	31,027人	30,335人	18,844人
施設名	区 分	H28	H29	H30	R1	R2																																																				
遊楽館	ホール(楽屋・リハ室含む)	24,460人	32,846人	28,306人	26,312人	8,597人																																																				
	アリーナ	32,065人	26,174人	25,833人	22,874人	15,850人																																																				
	トレーニング室	6,278人	6,425人	6,842人	6,494人	2,097人																																																				
	会議室・和室	22,721人	22,115人	21,272人	21,632人	6,453人																																																				
	その他(調理室・多目的室等)	10,514人	8,007人	11,354人	11,700人	1,496人																																																				
合計		96,038人	95,567人	93,607人	89,012人	34,493人																																																				
河南室内プール	プール	33,427人	33,819人	31,027人	30,335人	18,844人																																																				
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、遊楽館はR2.3月～5月、プールはR2.3月～6月までの期間を臨時休館とした。																																																										
成 果	指定管理者による施設管理運営を行い、市民のニーズを最大限に反映しつつ堅実な運営が維持できた。地域に貢献できる施設となっており、令和元年度は遊楽館で8.9万人超、河南室内プールでは3万人超の利用があったが、今年度はコロナ禍による臨時休館と各種催事の中止により、遊楽館で前年比5.4万人減の3.4万人、プールで前年比1.1万人減の1.9万人の利用にとどまった。																																																									
成果に係る評価	スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及・振興、市民の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、指定管理者による施設管理及び運営が適正に行われた。市民が利用しやすい環境、雰囲気作りを心がけ、利用者の満足度を高めている。																																																									
(単位：円)																																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	116,808,995	116,808,995	2,440,721			114,368,274																																																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( )																			
	6 項	社会教育費		第 節		( )																			
	12 目	遊楽館費		( )		( )																			
実施計画掲載ページ			中 事 業	かなんパークゴルフ場運営費																					
事業コード			事 業 名	かなんパークゴルフ場管理運営事業																					
目的及び事業内容		市民にパークゴルフを通してスポーツの楽しさとふれあいの場を提供し、体力向上や健康増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営を実施する。																							
取 組 実 績	1 年間利用状況																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数</th> <th>開館日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>52,970人</td> <td>287日</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>46,033人</td> <td>271日</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>44,140人</td> <td>292日</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>30,577人</td> <td>266日</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>29,658人</td> <td>232日</td> </tr> </tbody> </table>							年度	利用人数	開館日数	H28	52,970人	287日	H29	46,033人	271日	H30	44,140人	292日	R1	30,577人	266日	R2	29,658人	232日
	年度	利用人数	開館日数																						
H28	52,970人	287日																							
H29	46,033人	271日																							
H30	44,140人	292日																							
R1	30,577人	266日																							
R2	29,658人	232日																							
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月休場 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/1～5/22休場																									
2 指定管理者による管理運営																									
(1) 指定管理者 有限会社ふれあいパーク																									
(2) 指定期間 R2.4.1～R7.3.31 (5年間)																									
(3) 指定管理料 14,895,318円※新型コロナウイルス対策分事業費2,895,318円含む																									
(4) 実施事業																									
ア 利用者への指導、講習会(随時)																									
イ 各種大会の開催																									
ウ 快適なゴルフ場を目指すための施設整備(芝管理、立木の維持、施設の点検維持管理)																									
成 果	令和2年度の利用者数は、近隣にパークゴルフ場がオープンし利用者が分散したこと、新型コロナウイルス感染症の影響による約2ヶ月の臨時休場や利用者による自粛傾向が続いたことなどにより利用者数が伸び悩み、前年比919人減の29,658人となった。利用者数は減少したが、高齢者等の生活習慣病に対する運動療法への活用や公民館の事業などに活用され、一定の市民の健康増進に役立てられた。																								
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症の影響が多大な状況ではあったが、指定管理者において消毒や換気など新型コロナウイルス感染症拡大防止のための衛生管理に努め、可能な範囲で講習会や各種大会の開催なども実施し、利用者が安心して利用できる環境づくりや利用者拡大が図られた。																								
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	14,896,000	14,895,318	2,895,318			12,000,000																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																		
	6 項	社会教育費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																																		
	14 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																		
実施計画掲載ページ		P207	中 事 業	震災復興芸術文化事業費																																					
事業コード		004-101-004-00514	事 業 名	文化芸術事業〔復興基金〕																																					
<p>石巻市芸術文化復興財団への委託により、オーケストラメンバーによるクラシックコンサートなど被災者対象芸術鑑賞事業、パイオルガン体験講座などの被災者対象芸術参加型事業、演劇の移動鑑賞と児童生徒を対象としたアウトリーチ事業など、一般市民対象の復興をテーマにした文化芸術鑑賞等の文化活動を提供し、文化芸術振興を図る。</p>																																									
<p>本市の文化芸術事業を牽引し、そのノウハウに長けた石巻市芸術文化復興財団に委託して実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>件数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 被災者を対象とした芸術鑑賞事業</td> <td>コンサート等</td> <td>2件</td> <td>2回</td> <td>348人</td> </tr> <tr> <td>2 一般市民を対象とした復興をテーマとした文化芸術事業 (1) 市内の小ホール等を利用した事業 (2) 小中学校等でのアウトリーチ事業</td> <td>コンサート等、交響楽団員等の演奏会</td> <td>4件</td> <td>13回</td> <td>831人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>6件</td> <td>15回</td> <td>1,179人</td> </tr> </tbody> </table>								事業名	内容	件数	回数	参加人数	1 被災者を対象とした芸術鑑賞事業	コンサート等	2件	2回	348人	2 一般市民を対象とした復興をテーマとした文化芸術事業 (1) 市内の小ホール等を利用した事業 (2) 小中学校等でのアウトリーチ事業	コンサート等、交響楽団員等の演奏会	4件	13回	831人	合 計		6件	15回	1,179人														
事業名	内容	件数	回数	参加人数																																					
1 被災者を対象とした芸術鑑賞事業	コンサート等	2件	2回	348人																																					
2 一般市民を対象とした復興をテーマとした文化芸術事業 (1) 市内の小ホール等を利用した事業 (2) 小中学校等でのアウトリーチ事業	コンサート等、交響楽団員等の演奏会	4件	13回	831人																																					
合 計		6件	15回	1,179人																																					
<p>取組実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業の実施回数</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td></td> <td>50回</td> <td>56回</td> <td>112.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td>50回</td> <td>48回</td> <td>96.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>50回</td> <td>45回</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td>50回</td> <td>33回</td> <td>66.0%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>50回</td> <td>15回</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年度は、コロナ禍の影響で回数・参加人数とも目標を下回ったものの、震災復興芸術文化事業を通して実績を積んだアウトリーチ事業など、今後とも展開できる素地を整えることができた。 コロナ禍が解消され、複合文化施設が閉館し当該事業の主会場となれば、さらなる文化芸術振興が図られるものと期待できる。</p>								事業の実施回数		成果指標		達成率	区分		目標値	実績等	H28		50回	56回	112.0%	H29		50回	48回	96.0%	H30		50回	45回	90.0%	R1		50回	33回	66.0%	R2		50回	15回	30.0%
事業の実施回数		成果指標		達成率																																					
区分		目標値	実績等																																						
H28		50回	56回	112.0%																																					
H29		50回	48回	96.0%																																					
H30		50回	45回	90.0%																																					
R1		50回	33回	66.0%																																					
R2		50回	15回	30.0%																																					
<p>成果に係る評価</p> <p>本事業の推進により市民の文化芸術活動への参加を促し、心の豊かさの育成に寄与してきたことは評価できるが、仮設住宅解消など、当初の目的であった被災者を対象とした事業が縮小となった。また、各種事業の開催準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大型事業が中止あるいは延期となったことにより、開催回数や参加人数も大きく減少した。 今後も、新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視しながら、事業を進めていく必要がある。</p>																																									
(単位：円)																																									
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																				
	14,300,000		12,392,749		国(県)支出金	地方債	その他 一般財源																																		
						12,392,749																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																				
	6 項	社会教育費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																																				
	14 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																				
実施計画掲載ページ		P207	中 事 業	震災復興芸術文化事業費																																							
事業コード		004-101-004-00515	事 業 名	市民の文化芸術活動に対するサポート事業〔復興基金〕																																							
<p>市民の心の拠り所となる文化芸術の復興は、真の復興に繋がるという考えから、旧1市6町の伝統文化の継承、文化活動の振興、文化創造の推進、市民の文化芸術の向上を図ることを目的として、文化芸術活動を実施する石巻市文化協会への補助金を交付し、活動をサポートし、運営をバックアップする。</p>																																											
<p>取組実績</p> <p>1 石巻市文化協会の運営の支援 以下の目的により設立した石巻市文化協会の運営を支援した。 (1) 地域の芸術文化の発展を助長するとともに、活動を通じて地域文化の振興と向上に寄与する。 (2) 芸術文化団体相互の連絡調整を図る。 (3) 内外の優れた芸術団体の交流。 (4) 歴史・伝統・文化を活かした街づくりの推進に寄与する。</p> <p>2 石巻市文化協会の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設立年月日</th> <th>設立趣意</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市文化協会</td> <td>平成17年6月18日</td> <td>石巻圏の伝統文化の継承・文化活動の振興・文化創造の推進・市民の芸術文化の向上</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 令和元年会員現況 (令和2年3月現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>団体数</th> <th>会員数</th> <th>地区</th> <th>団体数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻文化協会</td> <td>57団体</td> <td>1,591人</td> <td>河北文化協会</td> <td>29団体</td> <td>252人</td> </tr> <tr> <td>雄勝文化協会</td> <td>9団体</td> <td>93人</td> <td>河南文化協会</td> <td>28団体</td> <td>380人</td> </tr> <tr> <td>桃生文化協会</td> <td>22団体</td> <td>286人</td> <td>北上文化協会</td> <td>8団体</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿文化協会</td> <td>5団体</td> <td>78人</td> <td>計</td> <td>158団体</td> <td>2,721人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 事業 石巻市文化協会の会報『日高見』の発行や書面による定期総会などを行い、会員相互の交流を図った。また、合同文化祭等を実施することで、準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各種事業は中止となった。</p>								名称	設立年月日	設立趣意	石巻市文化協会	平成17年6月18日	石巻圏の伝統文化の継承・文化活動の振興・文化創造の推進・市民の芸術文化の向上	地区	団体数	会員数	地区	団体数	会員数	石巻文化協会	57団体	1,591人	河北文化協会	29団体	252人	雄勝文化協会	9団体	93人	河南文化協会	28団体	380人	桃生文化協会	22団体	286人	北上文化協会	8団体	41人	牡鹿文化協会	5団体	78人	計	158団体	2,721人
名称	設立年月日	設立趣意																																									
石巻市文化協会	平成17年6月18日	石巻圏の伝統文化の継承・文化活動の振興・文化創造の推進・市民の芸術文化の向上																																									
地区	団体数	会員数	地区	団体数	会員数																																						
石巻文化協会	57団体	1,591人	河北文化協会	29団体	252人																																						
雄勝文化協会	9団体	93人	河南文化協会	28団体	380人																																						
桃生文化協会	22団体	286人	北上文化協会	8団体	41人																																						
牡鹿文化協会	5団体	78人	計	158団体	2,721人																																						
<p>成果</p> <p>石巻市文化協会の運営を支援することで、石巻圏域の芸術文化活動、芸術文化の発展を推進し、適正かつ円滑な実施が図られ、芸術文化の普及、振興と向上に寄与することができる。 コロナ禍の影響により、予定されていた多くの事業が中止となった。</p>																																											
<p>成果に係る評価</p> <p>団体数、会員数及び会員の高齢化と後継者不足という課題がある。文化協会の所属にとらわれず、積極的な文化芸術活動を展開している団体に働きかけて交流を図り、本市の文化芸術の振興・向上のために文化協会の役割の周知に努め、加盟団体及び会員数を増やす努力が必要となる。 コロナ禍の影響が懸念される。</p>																																											
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																						
	1,645,000		1,645,000		国(県)支出金	地方債	その他 一般財源																																				
						1,645,000																																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																																																					
	6 項	社会教育費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																																																																																					
	14 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																																																																					
実施計画掲載ページ	P207		中 事 業	齋藤氏庭園修復整備事業費																																																																																								
事業コード	004-101-003-00510		事 業 名	国指定名勝齋藤氏庭園復旧事業																																																																																								
目的及び事業内容	国指定名勝として永く保存活用を図るために、宮城県北部連続地震及び東日本大震災によって損傷した庭園・建物の復旧事業を実施する。																																																																																											
取組実績	齋藤氏庭園保存修理工事を実施した。																																																																																											
	1 前土蔵・後土蔵に関する工事 (1) 半壊体修理（左官工事、大屋根棟積、雑工事等）																																																																																											
2 広間に関する工事 (1) 床組前面改修	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建物名</th> <th colspan="6">年 度</th> <th rowspan="2">工事費計 (千円)</th> </tr> <tr> <th>開始</th> <th>開始～H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前土蔵</td> <td>H26～</td> <td>216,600</td> <td>25,560</td> <td>37,700</td> <td>40,400</td> <td>繰越</td> <td>320,260</td> </tr> <tr> <td>後土蔵</td> <td>H26～</td> <td>179,080</td> <td>18,160</td> <td>42,900</td> <td>57,400</td> <td>繰越</td> <td>297,540</td> </tr> <tr> <td>味噌蔵</td> <td>H29～</td> <td>19,200</td> <td>22,460</td> <td>24,800</td> <td>完了</td> <td></td> <td>66,460</td> </tr> <tr> <td>前倉庫</td> <td>R1～</td> <td></td> <td></td> <td>19,000</td> <td>完了</td> <td></td> <td>19,000</td> </tr> <tr> <td>後倉庫</td> <td>R1～</td> <td></td> <td></td> <td>4,300</td> <td>完了</td> <td></td> <td>4,300</td> </tr> <tr> <td>住 宅</td> <td>H27～</td> <td>91,829</td> <td>60,180</td> <td>完了</td> <td></td> <td></td> <td>152,009</td> </tr> <tr> <td>広 間</td> <td>H29～</td> <td>1,241</td> <td></td> <td></td> <td>21,800</td> <td>完了</td> <td>23,041</td> </tr> <tr> <td>木小屋</td> <td>R2～</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4,400</td> <td>完了</td> <td>4,400</td> </tr> <tr> <td>中 門</td> <td>R2～</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4,638</td> <td>繰越</td> <td>4,638</td> </tr> </tbody> </table>						建物名	年 度						工事費計 (千円)	開始	開始～H29	H30	R1	R2	R3	前土蔵	H26～	216,600	25,560	37,700	40,400	繰越	320,260	後土蔵	H26～	179,080	18,160	42,900	57,400	繰越	297,540	味噌蔵	H29～	19,200	22,460	24,800	完了		66,460	前倉庫	R1～			19,000	完了		19,000	後倉庫	R1～			4,300	完了		4,300	住 宅	H27～	91,829	60,180	完了			152,009	広 間	H29～	1,241			21,800	完了	23,041	木小屋	R2～				4,400	完了	4,400	中 門	R2～				4,638	繰越	4,638
	建物名	年 度						工事費計 (千円)																																																																																				
開始		開始～H29	H30	R1	R2	R3																																																																																						
前土蔵	H26～	216,600	25,560	37,700	40,400	繰越	320,260																																																																																					
後土蔵	H26～	179,080	18,160	42,900	57,400	繰越	297,540																																																																																					
味噌蔵	H29～	19,200	22,460	24,800	完了		66,460																																																																																					
前倉庫	R1～			19,000	完了		19,000																																																																																					
後倉庫	R1～			4,300	完了		4,300																																																																																					
住 宅	H27～	91,829	60,180	完了			152,009																																																																																					
広 間	H29～	1,241			21,800	完了	23,041																																																																																					
木小屋	R2～				4,400	完了	4,400																																																																																					
中 門	R2～				4,638	繰越	4,638																																																																																					
3 木小屋に関する工事 (1) 外壁部分修理																																																																																												
4 中門に関する工事 (1) 外壁部分修理																																																																																												
※H23～H25に調査・応急修理を実施（133,624千円）																																																																																												
成 果	令和2年度は令和元年度に引き続き、前土蔵・後土蔵の解体修復工事を実施した。工事の一環として土蔵の土壁塗り及び斑直しを実施した。また、広間に関しては、床組の前面改修工事を実施した。更に木小屋及び中門の外壁部分修復を実施した。																																																																																											
成果に係る評価	令和2年度工事のうち、広間の床組全面改修工事と中門外壁の部分修理は、年度内に終了することができたが、平成30年度より引き続き補修工事を行っている前土蔵と後土蔵については、コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や天候不順で工期が延長になった。更に地震が続いたことにより、修復が終了した中門と前土蔵に被害が生じたことから、国や県と協議し、再修理することになり、更に工事期間延長が生じた。																																																																																											
(単位：円)																																																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																						
	129,058,000	53,506,197				53,506,197																																																																																						

予算科目	10 11 款	教育費 災害復旧費	総合計画	第 章	復興計画	( )																								
	6 3 項	社会教育費 文教施設災害復旧費		第 節		( )																								
	14 1 目	東日本大震災関係費 社会教育施設災害復旧費		( )		( )																								
実施計画掲載ページ			中 事 業	複合文化施設整備事業																										
事業コード			事 業 名	複合文化施設整備事業〔復興基金〕																										
目的及び事業内容	東日本大震災により被災し解体した石巻文化センターと石巻市民会館の再建にあたり、博物館機能と文化ホール機能を併せ持つ複合文化施設として建設し、石巻市の芸術文化活動の拠点整備を図る。																													
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>複合文化施設建設工事（本体工事）を実施 工事期間 H30.9.8～R3.1.29 工事の進捗 実施出来高 100%（R3.3末現在） あわせて複合文化施設建設電気設備・機械設備・舞台設備工事を実施</li> <li>複合文化施設展示工事に着手 工事期間 R1.6.8～R3.3.31 工事の場所 石巻市複合文化施設内石巻市博物館常設・企画展示室 工事内容 建築工事（展示造作工事、グラフィック工事、造形工事） 電気設備工事（電灯設備工事、映像・音響ハード工事、映像・音響ソフト工事）</li> <li>石巻市複合文化施設管理運営計画（ホールゾーン・生涯学習ゾーン）、同（博物館ゾーン）の策定</li> <li>石巻市複合文化施設条例の制定</li> <li>指定管理者の指定 指定期間 R2.4.1～R7.3.31（5年間）</li> <li>愛称の決定（まきあーとテラス） R2.7</li> <li>災害査定（展示・備品）を受検 R2.12</li> <li>ネーミングライツ・パートナーの決定 R3.1</li> <li>本体工事完了・引渡し R3.1</li> <li>石巻市複合文化施設使用料規則・管理規則等の関係規則の制定 R3.3</li> <li>展示工事完了 R3.3</li> </ul>																													
	成 果	<p>令和2年度は、施設の愛称の決定、ネーミングライツ・パートナーの決定、施設に係る規則の制定を行い、開館に向けて施設整備の進捗が図られた。また、本体工事については、令和3年1月末に完了し引き渡しを受けた。展示工事についても令和3年3月末に完了し、当初の予定通り事業を完了することができた。</p> <p>【本体工事・展示工事の進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>%</td> <td>60</td> <td>70</td> <td>80</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>%</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>75</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>%</td> <td>91.7</td> <td>85.7</td> <td>93.8</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>							単位	H29	H30	R1	R2	目標値	%	60	70	80	100	実績	%	55	60	75	100	達成率	%	91.7	85.7	93.8
	単位	H29	H30	R1	R2																									
目標値	%	60	70	80	100																									
実績	%	55	60	75	100																									
達成率	%	91.7	85.7	93.8	100																									
成果に係る評価	施設の開館に向けて、愛称・ネーミングライツの導入、規則等の整備を実施し、また、工事についても予定通り完了した。令和3年3月28日に開館記念式典及び開館記念公演の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。振替公演等を検討するとともに、施設の開館を広く周知するために開館記念事業の実施を進める必要がある。																													
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	8,464,842,240	8,458,917,500	1,255,823,000	3,126,579,000	1,810,411,000	2,266,104,500																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																																														
	7 項	保健体育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																																														
	3 目	学校給食費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																																																														
実施計画掲載ページ		P 24	中 事 業	学校給食センター運営費、賄材料費																																																																	
事業コード	002-001-002-00243	事 業 名	学校給食センター運営事業																																																																		
目的及び事業内容	<p>児童生徒に豊かで栄養バランスのとれた学校給食を提供し、心身の健全な育成に資する。子どもたちに学校給食を通じて望ましい食生活・食習慣の基盤形成を促すとともに、豊かな人間関係を構築する機会を提供する。</p> <p>地場産物を使用し地域の特色を生かした学校給食を提供することにより、地域の産業や食文化に対する理解を深め、郷土を愛し尊重する心を育む。</p>																																																																				
取 組 実 績	<p>学校給食実施状況（令和3年3月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校・園数</th> <th>児童・生徒・園児数</th> <th>給食形態</th> <th>調理場方式</th> <th>給食実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>33校</td> <td>6,307人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>19校</td> <td>3,322人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>2園</td> <td>103人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率	小学校	33校	6,307人	完全給食	共同調理場方式	100%	中学校	19校	3,322人	完全給食	共同調理場方式	100%	幼稚園	2園	103人	完全給食	共同調理場方式	100%																																					
	区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率																																																															
	小学校	33校	6,307人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																															
中学校	19校	3,322人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																
幼稚園	2園	103人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">センター名</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">幼稚園</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>対象校数</th> <th>児童数</th> <th>対象校数</th> <th>生徒数</th> <th>対象園数</th> <th>園児数</th> <th>対象校・園数</th> <th>児童・生徒・園児数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住吉学校給食センター</td> <td>3校</td> <td>770人</td> <td>3校</td> <td>693人</td> <td></td> <td></td> <td>6校</td> <td>1,463人</td> </tr> <tr> <td>東学校給食センター</td> <td>16校</td> <td>3,706人</td> <td>9校</td> <td>1,708人</td> <td></td> <td></td> <td>25校</td> <td>5,414人</td> </tr> <tr> <td>河北学校給食センター</td> <td>8校</td> <td>824人</td> <td>5校</td> <td>449人</td> <td>2園</td> <td>103人</td> <td>15校・園</td> <td>1,376人</td> </tr> <tr> <td>河南学校給食センター</td> <td>6校</td> <td>1,007人</td> <td>2校</td> <td>472人</td> <td></td> <td></td> <td>8校</td> <td>1,479人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>33校</td> <td>6,307人</td> <td>19校</td> <td>3,322人</td> <td>2園</td> <td>103人</td> <td>54校・園</td> <td>9,732人</td> </tr> </tbody> </table>								センター名	小学校		中学校		幼稚園		計		対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数	住吉学校給食センター	3校	770人	3校	693人			6校	1,463人	東学校給食センター	16校	3,706人	9校	1,708人			25校	5,414人	河北学校給食センター	8校	824人	5校	449人	2園	103人	15校・園	1,376人	河南学校給食センター	6校	1,007人	2校	472人			8校	1,479人	計	33校	6,307人	19校	3,322人	2園	103人	54校・園	9,732人
センター名	小学校		中学校		幼稚園		計																																																														
	対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数																																																													
住吉学校給食センター	3校	770人	3校	693人			6校	1,463人																																																													
東学校給食センター	16校	3,706人	9校	1,708人			25校	5,414人																																																													
河北学校給食センター	8校	824人	5校	449人	2園	103人	15校・園	1,376人																																																													
河南学校給食センター	6校	1,007人	2校	472人			8校	1,479人																																																													
計	33校	6,307人	19校	3,322人	2園	103人	54校・園	9,732人																																																													
<p>1 学校給食に鰯肉等の地場産物を取り入れ、郷土食や行事食を提供することができた。</p> <p>2 アレルギー対応給食について、対応品目を2品から15品に拡大し、令和元年度当初から提供を行っている。</p> <p>3 滞納対策を強化するため、滞納者に対し市長と学校長連名により共同催告を実施した。</p>																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">現年度分</th> <th colspan="3">過年度分</th> </tr> <tr> <th>滞納学校数</th> <th>滞納者数</th> <th>滞納繰越額</th> <th>滞納学校数</th> <th>滞納者数</th> <th>滞納繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>13校</td> <td>59人</td> <td>2,121,671円</td> <td>35校</td> <td>349人</td> <td>29,188,905円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>15校</td> <td>55人</td> <td>1,726,355円</td> <td>35校</td> <td>352人</td> <td>29,545,412円</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>2校</td> <td>△ 4人</td> <td>△ 395,316円</td> <td>0校</td> <td>3人</td> <td>356,507円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※滞納者数は保護者の人数</p>								年度	現年度分			過年度分			滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額	R1	13校	59人	2,121,671円	35校	349人	29,188,905円	R2	15校	55人	1,726,355円	35校	352人	29,545,412円	比較増減	2校	△ 4人	△ 395,316円	0校	3人	356,507円																												
年度	現年度分			過年度分																																																																	
	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額																																																															
R1	13校	59人	2,121,671円	35校	349人	29,188,905円																																																															
R2	15校	55人	1,726,355円	35校	352人	29,545,412円																																																															
比較増減	2校	△ 4人	△ 395,316円	0校	3人	356,507円																																																															

成 果

1 地場産物や郷土食等を学校給食に取り入れることで、地域の産業や伝統、食文化に対する理解と関心を深めることができた。

2 過年度学校給食費に未納がある保護者に対し、市長と学校長連名により催告書を送付した。その結果、3/19時点において、送付者41人のうち16人から1,007,247円の納付があった。

3 市労働組合と住吉、河北、河南学校給食センターの令和3年度民間委託実施について確認書の取り交わしを行い、プロポーザル方式により委託業者を選定し、委託契約を締結した。

成果に係る評価

1 学校給食に地場産物や郷土食等を取り入れる取り組みは、児童生徒から好評であり、今後も継続したい。

2 滞納整理は継続的な取り組みが重要であることから、継続可能な配置体制に向け、組織強化を図る必要がある。

3 住吉、河北、河南学校給食センターの調理等業務の民間委託については、令和3年4月からの実施に向けて民間企業に委託することができた。東学校給食センターについても検討を行い、関係機関と協議を進めていく。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,015,813,000	979,001,623			485,117,468	493,884,155

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )																																				
	7 項	保健体育費		第 節			( )																																				
	4 目	体育館費		( )			( )																																				
実施計画掲載ページ			中 事 業	体育館管理費																																							
事業コード		事 業 名	石巻市総合体育館管理運営事業																																								
目的及び事業内容	<p>市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。</p>																																										
取 組 実 績	<p>指定管理者による管理運営を実施した。(平成24年度より継続)</p> <p>1 指定管理者による施設運営事業</p> <p>(1) 指定管理者 特定非営利法人石巻市スポーツ協会</p> <p>(2) 指定管理料 40,501,674円 ※コロナ対策事業費501,674円含</p> <p>(3) 指定期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日(5年間)</p> <p>2 施設管理運営事業</p> <p>(1) 利用者のサービス向上</p> <p>ア 行事予定や大会開催、各種イベント等について、本会のホームページをはじめ、市報、市のホームページ及び市の掲示板への掲載、記者クラブ等を活用して情報発信を行った。</p> <p>(2) スポーツ振興事業の展開</p> <p>ア いしのまき市民スポーツフェスタ</p> <p>イ いしのまきキッズ交流大会兼石巻市スポーツ少年団交流大会</p> <p>ウ キッズバラエティスポーツ教室</p> <p>エ 体育館スポーツ教室</p>																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標項目</th> <th>スポーツフェスタ</th> <th>小学生リレマソン いしのまきキッズ交流</th> <th>キッズバラエティ</th> <th>体育館教室</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td rowspan="3">参加者数</td> <td>96人</td> <td>353人</td> <td>1,131人</td> <td>2,396人</td> <td>3,976人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>103人</td> <td>中止</td> <td>899人</td> <td>2,494人</td> <td>3,496人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>112人</td> <td>中止</td> <td>677人</td> <td>1,851人</td> <td>2,640人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	指標項目	スポーツフェスタ	小学生リレマソン いしのまきキッズ交流	キッズバラエティ	体育館教室	計	H30	参加者数	96人	353人	1,131人	2,396人	3,976人	R1	103人	中止	899人	2,494人	3,496人	R2	112人	中止	677人	1,851人	2,640人									
	年度	指標項目	スポーツフェスタ	小学生リレマソン いしのまきキッズ交流	キッズバラエティ	体育館教室	計																																				
H30	参加者数	96人	353人	1,131人	2,396人	3,976人																																					
R1		103人	中止	899人	2,494人	3,496人																																					
R2		112人	中止	677人	1,851人	2,640人																																					
<p>3 利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人利用者数</td> <td>26,180人</td> <td>24,564人</td> <td>33,066人</td> <td>24,130人</td> <td>13,342人</td> </tr> <tr> <td>回数券利用者数</td> <td>7,216人</td> <td>6,090人</td> <td>8,417人</td> <td>12,252人</td> <td>10,441人</td> </tr> <tr> <td>貸切利用者数</td> <td>59,246人</td> <td>41,350人</td> <td>46,788人</td> <td>48,055人</td> <td>22,700人</td> </tr> <tr> <td>教室参加者数</td> <td>13,485人</td> <td>12,239人</td> <td>12,791人</td> <td>11,099人</td> <td>7,832人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>106,127人</td> <td>84,243人</td> <td>101,062人</td> <td>95,536人</td> <td>54,315人</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	H28	H29	H30	R1	R2	個人利用者数	26,180人	24,564人	33,066人	24,130人	13,342人	回数券利用者数	7,216人	6,090人	8,417人	12,252人	10,441人	貸切利用者数	59,246人	41,350人	46,788人	48,055人	22,700人	教室参加者数	13,485人	12,239人	12,791人	11,099人	7,832人	合計	106,127人	84,243人	101,062人	95,536人	54,315人
区 分	H28	H29	H30	R1	R2																																						
個人利用者数	26,180人	24,564人	33,066人	24,130人	13,342人																																						
回数券利用者数	7,216人	6,090人	8,417人	12,252人	10,441人																																						
貸切利用者数	59,246人	41,350人	46,788人	48,055人	22,700人																																						
教室参加者数	13,485人	12,239人	12,791人	11,099人	7,832人																																						
合計	106,127人	84,243人	101,062人	95,536人	54,315人																																						

成 果

令和2年4月から2か月間新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休館としたが、利用再開後は、指定管理者が主体的にスポーツ活動や各種スポーツイベントに対する施設の提供、スポーツ振興事業の展開、地域に貢献できる施設として運営したことによって、スポーツ振興が図られた。

成果に係る評価

新型コロナウイルス感染症の影響による施設の臨時休館などがあり、施設利用者が前年度に比して減少となった。屋内施設という性格上、密を生む環境が利用者から危惧され敬遠されたことも要因と考えられる。また、各種団体主催による大会の開催中止も影響している。

このような状況はコロナ禍での一過性のもと考えられ、アフターコロナ期における新しい生活様式のもと、スポーツ需要が再度高まることが期待される。また本市のスポーツ振興の拠点となる施設のため、本事業を継続する必要がある。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	40,502,000	40,501,674				40,501,674



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	7 項	保健体育費		第 節			( )	
	5 目	総合運動公園費		( )			( )	
実施計画掲載ページ			中 事 業	総合運動公園管理費				
事業コード			事 業 名	石巻市総合運動公園管理運営事業				
目的及び事業内容		石巻市総合運動公園（セイホクパーク）はスポーツの普及振興を図り、もって市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上に資するため、施設の効率的かつ適正な管理運営を実施する。						
取 組 実 績	令和2年度より指定管理者による管理運営を実施した。							
	1 指定管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 特定非営利法人石巻市スポーツ協会 (2) 指定管理料 153,668,078円 ※コロナ対策事業費3,668,078円 (3) 指定期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日(5年間) 2 施設管理運営事業 (1) 利用者のサービス向上 ア 行事予定や大会開催、各種イベント等について、ホームページをはじめ、市報及び市の掲示板への掲載、記者クラブへの投げ込み等を活用して情報発信を行った。また、トレーニングセンターに関してはインスタグラムの活用も行き、情報発信に努めた。 (2) 快適な施設環境の提供 ア 施設の改修による利用者の安全確保を図った。 3 利用者の推移 ※参考：R1は直営							
		区 分		R1	R2			
		市民球場		17,275人	18,378人			
		フットボール場		5,353人	2,667人			
		ふれあいグラウンド		4,354人	1,528人			
		フットサルコート		5,621人	7,163人			
		フットボールフィールド第1		25,283人	18,315人			
		フットボールフィールド第2		12,996人	11,506人			
		多目的フィールド		1,345人	4,590人			
		テニスコート		8,696人	8,838人			
		南ブロックシャワー室		195人	54人			
		南ブロック更衣室		4,714人	7,191人			
		施設外来園者		63,328人	117,099人			
		トレーニングセンター		18,124人	9,024人			
		合計		167,284人	206,353人			
成 果		令和2年4月から2か月間新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため有料利用施設等の貸出を中止としたが、利用再開後は指定管理者が主体的にスポーツ活動や各種スポーツイベントに対する施設の提供、人的協力を行い地域に貢献できる施設として運営した。また、令和元年度より供用開始した子ども広場の認知度が向上したことなどが要因となり、休日には多くの家族が来園するなど、全体で20万人を超える利用があった。						
成果に係る評価		新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用中止期間などがあったものの、地域を代表するスポーツの活動拠点として利用人数の増加に寄与した。 一方で、指定管理者としてのスポーツ芝の維持管理面での不備があり育成状況が悪化したことから、今後は指定管理者や利用団体等と情報共有し、連絡を密にしながら適切な管理に努めていく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	153,669,000	153,668,078	3,668,078				150,000,000	